農業試驗所圖書室印

臺灣總督府

農業試驗所報告

第八十號

苧麻害蟲ニ關スル調査報告

臺灣總督府農業試驗所

昭和十七年四月

臺灣總督府

農業試驗所報告

第八十號

苧麻害蟲ニ關スル調査報告

臺灣總督府農業試驗所

昭和十七年四月

蓖麻子油ハ潤滑油トシテ特殊性ヲ持ツテ居ル、現在之ニ匹敵スル他ノ物料ガ無イデモナイガ多量ニ低廉ニ而シテ容易ニ生産セラルル迄ハ蓖麻ノ栽培ハ絶對ニ重要デアル。況ンヤ蓖麻及蓖麻子油ノ用途ハ尙ホ他ニモ存スルニ於テ然リトスル。而シテ蓖麻栽培ノ安全ヲ期スル爲ニハ他ノ作物ト同樣病蟲害ノ防除ヲ不可缺トスルガ其中害蟲ノ各種類ニ就テ標徵、生態、分布、防除法等ヲ硏究調査シテ記述シタノガ本報告デアル。

昭和十七年三月

臺灣總督府農業試驗所長

農學博士　澁谷紀三郎

臺灣總督府農業試驗所報告　第八十號

莄麻害蟲ニ關スル調査報告

目　次

緒　言……1
莄麻害蟲各論……2
1. たいわんおほこほろぎ……2
2. たいわんおんぶばつた……3
3. たいわんくだまきもどき……4
4. おほつゆむし……4
5. たいわんつゆむし……5
6. たいわんしろあり(ひめしろあり)……5
7. くろかたかひがらむし……6
8. みかんあぶらむし……6
9. みどりひめよこばひ……6
10. つまぐろおほよこばひ……7
11. みどりぐんばいうんか……7
12. つまきへりかめむし……7
13. きまだらかめむし……8
14. あをかめむし……8
15. ぐんじやうかめむし……9
16. わたのきほりが(わたのはまき)……9
17. きいろまいこが……10
18. わたとがりほそが……10
19. こかくもんはまき……11
20. ちやはまき……11
21. とびいろまだらめいが……12
22. みすぢきいろめいが……13
23. もものめいが……13
24. はいいろうすべにつづりが……14
25. こーひーごまふぼくとう……14
26. おほみのが……15
27. くろてんいらが……16

28. あをいらが……17
29. たいわんいらが……18
30. きいろかれは(あをかれは)……18
31. みかんこえだしやく……19
32. くすえだしやく……19
33. ひらやまかのこ……20
34. きすぢたいわんかのこ……21
35. まへあかひとり……21
36. はすもんよたう……21
37. たまなやが……23
38. みつてんあしぶと……24
39. ほそをびあしぶと……24
40. るりもんくちば……25
41. いちぢくぎんうはば……25
42. みつてんみどりりんが……26
43. まへぐろまひまひ……26
44. こしろもんどくが……27
45. みかんどくが……28
46. ももどくが……29
47. はぐろきどくが……30
48. たいわんきどくが……30
49. しんじゆさん……31
50. かばたては……32
51. おほすなむぐり……33
52. おほはむしだまし……36
53. あをこふきざうむし……36
54. しなちやいろこがね……36
55. たいわんちやいろこがね……37
56. たかさごびろうどかみきり……37
57. わたかみきり……38
58. ひまばだに……39
主要參考文獻……40
海外ニ於ケル蓖麻害蟲目錄……41
圖版及圖版說明

蓖麻害蟲ニ關スル調査報告

技師　三輪勇四郎
技手　楚南仁博

緒言

蓖麻ハ別名とうごまト稱シ *Ricinus communis* LINNÉ ナル學名ヲ有スル植物デアル。熱帶ヨリ溫帶ニ亘リ廣ク栽培セラレテキルガ其ノ原產地ハ北東アフリカノ熱帶地デアルト稱セラレテキル。臺灣ニハ相當古クカラ野生シテキタモノヽ如ク臺灣府誌※ニハ草麻子トシテ名稱ノミ揭載セラレテキル、而シテ其ノ繁殖地域ハ山野デナク人里近クデアルコトカラ見レバ土着種デナク島外カラ輸入セラレタモノト想像サレルガ臺灣府誌ノ初版ハ康熙33年(西曆1694年)ニ出來タノデアルカラ蓖麻ナル植物ハ今ヨリ248年以前旣ニ臺灣ニ存シテキタモノデアラウ事ハ想像ニ難クナイ。現在臺灣ニ於テ外國種トシテ栽培セラレテ居ル蓖麻ノ輸入系統ハ次ノ如キモノデアル卽チ農業試驗所ニ於テハ印度種ハ明治41年11月、東京(トンキン)種ハ大正8年、爪哇種ハ大正10年5月ニ輸入サレ、又一方明治42年旣ニ時ノ斗六廳ニテハ爪哇種ノ栽培セラレテキタト言フ記錄ガアル。又現在優良種ト認メラレテキル佐久間種ハ大正4年ニ佐久間總督ガ島內ニ於テ採種サレ之ヲ時ノ府農事試驗場(現農業試驗所)ニ送ラレタノヲ基本トシテ改良育成シタモノデアル。蓖麻栽培ノ目的ハ種子ヨリ得ラレル蓖麻子油ガ其ノ主眼デアル。蓖麻子油ハ醫藥、潤滑劑、高級石鹼及香油ノ原料、印肉用、爆藥用、蠅取紙ノ原料等其他廣ク使用セラレテ居ルガ、一方又エリー蠶卽蓖麻蠶 (*Philosamia cynthia ricini* BOISDUVAL) ノ飼料トシテ其ノ葉ガ利用セラレテキル。此ノ蓖麻蠶ハ昭和13年2月印度ヨリ輸入シ當試驗所ニ於テモ纖維資源ノ一翼ニ充テンガ爲メ試驗研究中デアル。卽チ幼蟲ヲ蓖麻ノ葉ヲ以テ飼養シ、其ノ繭ノ絹絲ヨリ羊毛代用品所謂擬毛ヲ製產スルノデアル。以上ノ如ク本島ノ蓖麻栽培ハ國策上重要ナモノデアツテ府當局ニ於テモ特ニ重要農產物增產項目ニ加ヘ其ノ栽培擴張ヲ獎勵シテキル現狀デアル。從ツテ其ノ害蟲ニ對シテハ特ニ注意ヲ拂ヒ可及的被害ヲ防除シ蟲害ニ依ツテ起ル所ノ減收ヲ防ガナケレバナラナイ。而乍臺灣ニ於ケル蓖麻ハ他ノ新作物ト異ナリ上述ノ如ク旣ニ入殖シテ248年以上モ經過シ野生ノ狀態ニ於テ蕃殖ヲ續ケテキタモノデアリ且ツ週年存在スル植物デアルカラ之ヲ喰害スル昆蟲ノ種類モ亦極メテ多イ。彼樣ナ植物ヲ集團的ニ栽培スル場合、是等ノ害蟲ニ取ツテハ極メテ良キ蕃殖場ヲ提供セラレタ事ニナリ、時トシテ氣象其他ノ環境條件ガ好適ナ場合ニハ大發生ニヨル被害ノ慘狀目モアテラレヌ場合ガ屢々起リ得ルノデアル。例ヘバみどりひめよこばひ、みつてんあしぶと又ハたいわんしろあり等ノ如キハ大發生ノ實例ガアル。サテ臺灣ニ於ケル蓖麻ノ害蟲トシテ現

※ 臺灣府誌重修卷七、二十二枚(康熙五十一年發行ニ揭載セラル寫本)。初版ハ見ル事ガ出來ナカツタガ之ニモ揭載セラレテ居ル事ハ臺灣總督府圖書館所藏ノ抄錄ニ依ツテ確認シタ。

在迄ニ判明シタモノ50餘種ニ及ンデキルガ是等ノ中ニハ特ニ甚大ナル害ヲ及ボシ蓖麻作上特ニ其ノ防除ニ注意ヲ要スベキモノガ少ナカラズアル。本報告ニ於テハ是等害蟲ノ箇々ニ就キ其ノ標徵、生態、分布竝ニ防除法ニ就キ記述シタ、何レモ蓖麻栽培圃場ニ於テ觀察採集シタモノ又ハ蓖麻ヲ飼料トシテ飼育觀察シタモノガ大部分デアルガ中ニハ臺灣重農作物ノ害蟲トシテ屢々調査記錄ノ公ニセラレタモノモ無イデハナイ。而乍蓖麻作ヲ主眼トシタ害蟲ノText-book或ハGuide-bookト言フ意味ニ於イテ標徵ノ記載ヲ全種ニ亙ツテ掲ゲタノデアル。本報告ヲ直接利用セラレル栽培家ノ利便ヲ考慮シタ結果デアル。同時ニ我々ハ世界ニ於ケル蓖麻ノ主產地ト其等ノ地ニ於ケル主要害蟲ノ調査記錄ヲ掲ゲタガ之ニ依テ蓖麻害蟲ノ種類ニ對スル一般概念ヲ與ヘルト共ニ海外ヨリ侵入ノ虞レアル種類ニ對スル防遏ノ資料タラシメントスルモノデアル。

本報告上梓スルニ當リ特ニ農業試驗所長澁谷紀三郎博士ノ慫慂ニ對シ甚深ノ謝意ヲ表シ尙調査中ニ於ケル素木得一博士ノ指導ヲ深謝シ、併セテ種々助力ニ預ツタ高野秀三博士、岸田久吉、高橋良一博士、稻村宗三、山保禮助、楠田計、水戶野武夫、赤坂靜雄、新井睦夫ノ各位ニ向ツテ衷心謝意ヲ表スルモノデアル。

蓖麻害蟲各論

1. たいわんおほこほろぎ ***Brachytrupes portentosus*** LICHTENSTEIN

所　屬　直翅目　こほろぎ科

標　徵　成蟲ハ本邦ニ於ケル最大ノこほろぎニシテ體ハ暗褐色、頭ノ下半、胸側、肢、腹部、前翅ノ前緣部ハ黃褐色。頭ハ前胸ヨリモ大。觸角ハ鞭狀ニシテ體長ヨリモ少シク長ク、腿節ハ肥大シテ太ク脛節ヨリモ長イ、雌ノ產卵管ハ極メテ短ク長サ5mm內外デアル體長ハ40mm內外ニ達ス。卵ハ淡黃色ニシテ表面ハ平滑、圓筒形ニシテ一側ニ少シク彎曲シ兩端丸味ヲ帶ブ。長サ 4.5mm、幅 1.5mm アリ、卵塊トシテ母蟲ノ巢孔內ニ產下サレル。幼蟲ハ成蟲ニ酷似スルモ其異ル點ハ色彩ガ褐色ナルコト、翅ヲ有シナイコトデ充分成長シタ幼蟲ノ前翅芽ノ一部ハ後翅芽ニ被ハレ且後者ヨリモ短ク後胸背ヲ僅ニ越ヘ、後翅芽ハ前翅芽ヨリモ長ク第3腹背節ヲ僅ニ越エル。體長 38mm 內外デアル。

生　態　年1回ノ世代ヲ果ネ、幼蟲態ニテ越年シ、南部ニ於テハ5月中旬、北部ニテハ6月下旬ヨリ成蟲トナリ、北部デハ7月下旬マデニ全部成蟲トナル。成蟲ハ南部デハ10月下旬マデ北部デハ9月下旬迄ニ殆ド死滅スル。卵期ハ約30日間デ幼蟲期間ハ約10箇月、成蟲期間ハ北部デハ2—3箇月、南部デハ4—5箇月デアル。成蟲及幼蟲ハ共ニ晝間ハ土中ニ孔ヲ深ク掘ツテ其ノ中ニ隱レ、孔口ハ普通1箇デアルガ往々稍々離レテ他ニ1口ヲ有スルコトガアル孔口ハ砂ヲ盛ツテ塞ギ、夜間出テ殆ドアラユル畑作物ヲ咬嚙シ之ニ大害ヲ與ヘル。幼少ナル苗ハ根切蟲ノ如ク地表上ノ根際ヨリ喰切リ、喰切ルコトノ出來ナイモノハソレニ攀登ツテ小枝又ハ葉柄ヲ喰切テ自己ノ巢ニ運搬シテ喰餌トスル。成蟲ノ巢孔ノ長サハ土質ニヨツテ著シク異ナリ、重粘埴土ニテハ平均60cm、

砂地ニテハ平均100cmデ,最長ノ記錄ハ重粘埴土ニテハ110cm,砂地ニテハ170cmデアル。
巢孔ニハ1巢ニ1頭ヲ原則トスルガ成蟲ニナルト雌雄1對同居シテ居ル場合ガアリ,稀ニ雄1雌2ガ同居シテヰルコトモアル。卵ハ巢ノ底部近クニ隧道ヲ穿ツテ卵室ヲ設ケ之ニ5～52粒(15例ノ內)ヲ卵塊トシテ產下シ,土ヲ以テ巢孔トノ間ヲ塞イデ居ル。孵化シタ幼蟲ハ2～"日巢孔ニアツテ後,巢外ニ出テ新ニ巢孔ヲ建設スル。幼蟲ハ冬季休眠スル樣ナコトハナク盛ンニ喰害スル。

分　布　臺灣,澎湖島,火燒島,海南島,支那(厦門),印度,錫蘭,ビルマ,馬來半島,爪哇。

防除法　驅除法トシテ一般ニ注水法ガ廣ク行ハレテヰルガ又毒殺法トシテ甘藷ヲ細長ク又ハ賽ノ目ニ切リ之ニ砒石(赤信又ハ白信ト稱ス)ヲ附着セシメ箸デ挾ンデ巢孔內ニ入レテ誘致シ毒殺スル事モアルガ,然シ[猫イラズ]ヲ竹ノ新芽ニ附ケテ毒餌トシテ誘殺スルコトガ簡單デ效果モ亦多イカラ此方法ヲ推奬スル。以下是等ニ就テ說明スル。

1. 注水法　巢孔ノ盛砂ヲ除キ,巢孔ニ石油ノ數滴ヲ滴下シテ後,水ヲ注入スルト暫時ニシテ蟲ハ孔口マデ匍匐シテ來テ死ヌ,此ノ方法ハ多量ノ水ヲ要スルコトガアリ又充分ニ監督シナイト使用人夫ガ石油ヲ多量使用スルノデ經濟的ノ良法トハ云ヒ難イ。

2. 砒石(赤心,赤信,白心或,白信)毒殺法　毒藥デアツテ一般ニハ販賣シナイガ既述ノ如キ方法ヲ以テ行ハレテヰル。

3. 猫イラズ毒殺法　竹ノ新芽ヲ拔キ取リ其基部ニ本劑ノ少量ヲ附着セシメテ之ヲ巢孔內ニ入レテロヲ塞閉スルトキハ夜間之ヲ食シテ中毒シテ死ヌ。此ノ方法ハ簡便ニシテ效果ガ多イ。

4.[クロールピクリン]殺蟲法　[クロールピクリン]ヲ小形硝子瓶ニ入レ,別ニ脫脂綿ヲ準備シ置キ其少量ヲ[ピンセツト]ニ挾ンデ藥液ニ浸シ,之ヲ巢孔內ニ入レテ孔口ヲ塞閉スル。本劑ハ催淚性ノ毒瓦斯ヲ發生スルカラ取扱上注意ヲ要スル。

2. たいわんをんぶばつた ***Atractomorpha ambigua*** BOLIVAR

所　屬　直翅目　ばつた科

標　徵　成蟲　體綠色又ハ褐色ヲ呈シ頭ハ圓錐形ニシテ長ク突出シ前胸背ヨリモ少シク長イ。頭頂ノ突出部ハ幅ノ2倍ノ長サアリ,觸角ハ多少劍狀。前胸背ハ平滑,後緣ハ鈍ク角張ル。中央ノ縱隆起線ハ明瞭ニ認メラレ外緣ハ赤色ニシテ白色ノ小顆粒ヲ布列シ前翅ハ長クシテ先端ハ銳イ,腹背及後翅ハ赤色ヲ呈スル。體長(翅端マデ)雌40mm內外,雄27mm內外デアル。卵　卵ハ卵塊トシテ地中ニ產下サレル,卵塊ハ圓筒形デ上端ハ扁平,下端ハ丸味ヲ帶ビ軟弱ナ海綿質ノ膠質物ニテ包マレテヰル。卵ハ暗黃褐色又ハ暗褐色ニシテ長ク兩端尖リ網目狀ノ彫刻ヲ密布シ下端近クニ多數ノ縱裂隙短線ガアル。長徑4mm,幅1mmデアル。1卵塊ハ50粒內外デアル。幼蟲　成蟲ニ似テヰルガ翅ヲ缺クコトニヨツテ一見シテ區別スルコトガ出來ル。

生　態　年2回ノ世代ヲ累ヌル如ク,一般ニ第1回ノ成蟲ハ5月下旬頃現ハレ第2

回目ノ成蟲ハ10月上旬頃ヨリ現ハレ成蟲,卵,幼蟲,等ニテ越年シ,卵ハ冬季ニテモ隨時孵化スル。甚ダ雜食性デアツテ9～10月ニ蓖麻ノ幼小ノモノニ來集シテ葉ヲ盛ンニ喰シ大害ヲ及スコトガアル。又甘藷,白菜,チシヤ,茄子,ホウレンサウ,甘藍,紫蘇,其他各種野菜類ノ葉ヲ喰害スル。雌雄體ノ大キサヲ著シク異ニシ,雄ハ雌ニ比シ甚ダ小形,且ツ雌ノ背面ニ乘ツテ交尾シテ居ル場合ガ多イ。性質ハ割合ニ鈍イ。卵ハ卵塊トシテ地中ニ産下サレル。

分　布　臺灣,支那。

防除法　性質比較的鈍イカラ素手捕殺スルカ又ハ捕蟲網ニテ捕殺スル。發生甚シイ時ハ砒酸鉛又ハ砒酸石灰ノ溶液ヲ撒布スルコト。

3. たいわんくだまきもどき ***Sympaestria truncato-lobata*** BRUNNER von WATTENWYL(第二圖版第5圖)

所　屬　直翅目　きりぎりす科

標　徵　成蟲　大形ニシテ全體綠色,頭頂突起ハ短太ニシテ觸角溝ノ内側緣端ヲ越エ,前胸背ハ大ニシテ扁平,側緣ハ直線ヲナシ,後緣ハ前緣ヨリモ廣ク,後方ハ三角形ニ突出シ,前緣ハ少シク彎凹ス。前翅ハ幅廣ク木ノ葉狀ノ模樣ヲ有シ,翅端ハ丸味ヲ帶ビ,後翅ハ前翅ヨリモ長ク後方ニ突出スル。體長70mm內外デアル。

生　態　成蟲ハ夜間稀ニ蓖麻ノ葉ニ孔ヲ穿ツテ喰害スルガ,其ノ害ハ甚ダ輕少デアル。雌ハ柑橘,楓等ノ枝梢ニ産卵ノ爲メニ裂傷ヲ與ヘ其ノ爲メ枝梢ヲ枯死セシメルコトガアルガ,蓖麻ノ莖ニハ産卵ハシナイ樣デアル。

分　布　臺灣,支那。

防除法　稀ニ發見サレル程度デアルカラ發見ノ度ニ捕殺スレバヨイ。被害多キ時ハ砒素劑撒布ヲ行フ。

4. おほつゆむし ***Elimaea punctifera*** WALKER

所　屬　直翅目　きりぎりす科

標　徵　成蟲　體ハ細長,濃綠色ニシテ頭頂突起及顏面突起ハ短クシテ觸角溝內側緣ヨリ短イ。前胸背ハ細ク多少丸味ヲ有シ,後緣ハ前緣ヨリ廣ク,後方ハ丸く彎曲シ,前緣ハ殆ド直線デアル。表面ニハ小黑點ヲ撒布シ,中央ニ1條ノ縱溝アリ,前翅ハ細長ニシテ金屬樣光澤ガアリ,上緣ハ赤褐色ヲ呈シ翅脈ハ方形ノ網目狀ヲナス。後翅ハ前翅ヨリ長ク後方ニ突出スル。體長50mm內外(翅端迄)デアル。

生　態　幼蟲成蟲共ニ晝間ハ蓖麻ノ葉ノ裏面又ハ表面ニ靜止シ夜間蓖麻ノ葉ニ孔ヲ穿ツテ喰害スルガ,其ノ害ハ甚ダ稀デ且ツ至ツテ輕少デ殆ド考慮スル程ノモノデナイ。

分　布　臺灣,印度,ビルマ,マラツカ,爪哇。

防除法　稀ニ喰害スル程度デアルカラ,幼蟲及成蟲ヲ發見ノ度ニ捕殺スレバヨイ。

5. たいわんつゆむし *Hemielimaea formosana* SHIRAKI

所　屬　直翅目　きりぎりす科

標　徵　成蟲　前種おほつゆむしニ甚ダ似テ居ルガ次ノ諸點ニヨツテ區別スルコトガ出來ル。前胸背及前翅內緣、各肢ノ腿節ノ末端、脛節ノ兩端及跗節第1～3節ハ濃褐色又ハ黑褐色ヲ呈スル前脛節ノ聽器ハ內側ノミ瓣ヲ有スル(前種ニテハ兩側ニ瓣ガアル)、前翅後徑脈ノ支脈ハ3本デアル(前種ニテハ1本)、體長50mm內外(翅端迄)。

生　態　幼蟲成蟲共ニ晝間ハ蓖麻ノ葉ノ裏面又ハ表面ニ靜止シ、夜間蓖麻ノ葉ヲ喰スルコトハ前種ト同樣デアル。而シテ其害モ亦前種同樣甚ダ稀デ且ツ至ツテ輕少デ殆ド考慮スル程ノモノデナイ。

分　布　臺灣。

防除法　前種ニ準ズル。

6. たいわんしろあり(ひめしろあり) *Odontotermes formosanus* SHIRAKI

所　屬　等翅目　こうせいしろあり科

標　徵　成蟲ノ中、羽蟻ハ臺灣ニ於ケル最大ノモノデ、體ハ黑褐色、觸角、頭楯、上唇、口器ハ淡褐色、觸角ハ19節ヨリ成リ、翅ハ大キク體長ノ2.5倍デ暗褐色、脉モ亦暗褐色デアル。體長9mm內外デアル。雌ハ腹部第7節ノ腹板ガ大デアルコトニヨツテ雄ト區別スル事ガ出來ル。女王ハ翅ヲ缺キ頭及胸部ハ黑褐色、腹部ニハ帶黃褐色ノ斑點ヲ撒布シ腹部ノ背板及腹板ハ小形トナリ黑褐色ヲ呈スル。體長30～50mmデアル。卵ハ乳白色ニシテ楕圓形ヲ呈スル。兵蟻　頭ハ黃褐色、楕圓形デアルガ其前端ハ尖ル。上顎ハ內側ニ齒ヲ具フ。觸角ハ16節ヨリナル。體長4.5mm內外。職蟻　頭ハ黃褐色デ球形、觸角ハ17節ヨリ成リ、腹部ハ白色ニシテ暗褐色ノ斑紋ガアル。體長3.5mm內外デアル。

生　態　集團生活ヲ行ヒ、羽蟻(有翅ノ雌雄)ハ5～9月ノ降雨中ノ夕刻ニ巢ヨリ群ヲナシテ飛出スル。飛翔後地上ニ降下シテ翅ヲ剝落シ雌雄相求メテ土中ニ入リ穴居シ、1週間內外ニシテ產卵ヲ初メ、卵ハ3～4週間ニシテ孵化スルガ幼蟲ハ專ラ職蟻ト兵蟻トヨリナリ、職蟻ハ長ジテ食ヲ求メ卵ノ運搬及親蟲及幼蟲等ノ養育及巢の建設等ノ勞働ニ從事シ、兵蟻ハ、外敵ニ具フ、巢ハ地下30cm以下1～2mノ所ニ營マレルガ最深部3m以上ニ及ブモノモアル。巢ニハ哺育巢ト本居巢トガアツテ、哺育巢ニハ幼蟲及歩蛹存シ又菌ガ培養セラルル。巢ハ坑道ヲ以テ連絡シ其末端ハ加害植物ニ達スル。土中ノ根ヲ喰害シ又地上ニアリテ加害植物ノ表面ハ粘土ヲ以テ隧道ヲ作リ其中ヲ往來シテ外皮及木質部ヲ食害スルガ時ニ大害ヲ及ボス事ガアル。

分　布　臺灣、八重山、南支那。

防除法　(1)被害植物ニヨツテ細路ヲ發見シ、ソレニテ禾本科植物ノ穗稈又ハ細イ針金ヲ通ジテ幹路ヲ搜索シ、幹路ヨリ二硫化炭素500g又ハ[サイアノガス]A[ダスト]200gヲ噴霧器デ注入スル。

(2)樹木ノ周圍ニ砒酸鉛液、砒酸石灰液又ハ亞砒酸液等ヲ撒布スル。

7. くろかたかひがらむし *Saissetia nigra* NIETNER

所　属　半翅目　かひがらむし科

標　徴　雌成蟲　體ハ黑褐色ニシテ少シク光澤ガアリ、半球形デ稍楕圓形、長徑3mm內外。未熟成虫　淡黃綠色ニシテ扁平、背面ノ中央ニ1條ノ縱隆起線ト更ニ龜甲狀ノ不明瞭ノ隆起線トヲ有シ、前緣ニ2個ノ黑色點、後方近クノ中央ニ圓形ノ肛門ガアル。長徑3mm內外デアル。

生　態　稀ニ蓖麻ノ葉ノ裏面及莖ニ寄生スルコトガアルガ蓖麻ニ對シテハ從來其害ハ至ツテ輕微デアル。本種ハ元來極メテ雜食性デ柑橘「バナ、」棉「カンナ」其他多數ノ植物ヲ加害シ、時ニ是等ノ作物ニ大害ヲ及スコトガアル。

分　布　臺灣、日本內地ノ外アジヤ、濠洲及南北「アメリカ」ニ廣ク分布ス。

防除法　現在ノ處、藥劑ヲ撒布スル程發生ヲ見タ事ガナイカラ發見次第潰殺スル程度ニシテヨイ。松脂合劑ノ撒布ハ蓖麻ニ藥害ヲ起スカラ避ケナケレバナラヌ。

8. こみかんあぶらむし *Toxoptera aurantii* BOYER

所　属　半翅目　あぶらむし科

標　徴　成蟲　體ハ黑褐色又ハ黑色ニシテ光澤ガアリ、額瘤ノ內側ハ少シク突出シ、角狀管ハ先端ニ行ニ從ヒ次第ニ細マリ、角狀管附近ノ體表ニ網目狀紋ガアル、有翅形ニアツテハ前翅第3斜脈ガ2叉ニ分岐スル。體長1.2mm內外。

生　態　茶、柑橘、くちなし其他多數ノ植物ニ寄生シ、殊ニ茶樹ニハ往々著シキ害ヲ與ヘルコトガアルガ蓖麻ニ於テハ其害甚ダ稀デ新芽ニ寄生シタノヲ見タノミデアル。

分　布　臺灣、世界ノ熱帶及亞熱帶ニ廣ク分布ス。

防除法　デリス乾根60gニ對シ水20lノ割合デ浸出液ヲ造リ(生根ノ場合ハ100gニシ水20l)其ノ液ヲ撒布スル。其他、除蟲菊粉40～80g、石鹼40～80g、水20lノ液、或ハ硫酸ニコチ1500倍液(水20lニ石鹼100g加用)ヲ撒布シテモ良イ。

9. みどりひめよこばひ *Chlorita formosana* PAOLI

所　属　半翅目　よこばひ科　異名 *Chlorita flavescens* FAB. (Part) うすばひめよこばひ、こみどりよこばひ、茶浮塵子。

標　徴　成蟲　全體淡綠色ニシテ頭、額及前胸背ハ淡黃綠色ヲ呈シ、前翅ハ半透明デ僅ニ黃色ヲ帶ビ無紋デアル。體長3mm內外。卵　白色又ハ淡綠色ニシテ圓筒形、1側ニ彎曲スル長徑1mm。幼虫　淡黃綠色、孵化當時ハ透明、複眼ハ赤色ヲ呈スル。成長スルト體稍濃色トナル。體長2.5mm內外。

生　態　年10世代ヲ累ネ、年中各形態ノモノガ存ス、成蟲幼蟲共ニ葉ノ裏ニアツテ養分ヲ吸收シ、往々大害ヲ及ボスコトガアル。本種ノ害ヲ著シク受ケタ葉ハ捲縮シテ樹勢大ニ衰ヘ一見病害ノ如キ感ヲ呈スルガ、葉ノ裏ヲ檢スルカ又ハ樹ヲ震動セシムル時ハ本種ノ成蟲多數飛逃スルコトニヨツテ其ノ加害ナルコトヲ認メル事ガ出來ル。本種ハ蓖麻ノ他多數ノ植物ヲ害スルガ殊ニ茶樹ノ害蟲トシテ有名デアル。卵ハ葉脈ノ組織內ニ產下サレ、7日內外ニシテ孵化シ、幼蟲ハ7日內外デ成蟲トナル。1世代ノ長

サハ14日内外デアルガ氣候ノ狀態ニヨリ20～23日ヲ要スルコトガアル。

分　布　臺灣、日本内地。

防除法　本種ノ害ノ大トナルノハ樹ガ充分ニ成長シタ頃デアツテ幼若ノ時ニ大害スルコトハ稀デアル。こみかんあぶらむしト同一藥劑ヲ撒布シテ驅除スル、殊ニデリス劑ノ使用ヲ可トスル。

10. つまぐろおほよこばひ *Cicadella ferruginea* FABRICIUS

所　屬　半翅目　よこばひ科

標　徴　成蟲ハ大形ノ横這デアツテ頭ハ淡黄色、胸部及前翅ハ淡綠色、前翅ノ先端ハ黑色ヲ呈スル。口吻、顔ノ2點、額ノ1點、頭頂ノ1點、2個ノ單眼、前胸背ノ3點、小楯板ノ1點、後翅、腹部及胸部下面ハ黑色ヲ呈スル。體長13mm内外。幼蟲ノ體ハ淡黄綠色ニシテ無翅デアル。

生　態　成蟲幼蟲共ニ葉ノ裏面ニアツテ養分ヲ吸收スルガ、其害ハ極メテ輕少ニシテ考慮スル程ノモノデナイ。幼蟲成蟲共ニ多少集合性ヲ持ツテ居ルガ、多クノ場合單獨デアル。非常ニ敏活デ近付クバ横走スルカ又ハ飛去ル性質ニ富ンデ居ル。甚ダ雜食性デ柑橘、茶樹、棉、其他多數ノ植物ヲ加害スルガ、何レノ作物デモ大害ノ記錄ハナイ。

分　布　臺灣、日本内地、朝鮮、支那、馬來半島及群島、印度、其他熱帶アジヤニ廣ク分布ス。

防除法　みどりひめよこばひニ準ズル。

11. みどりぐんばひうんか *Tambinia debilis* STÅL

所　屬　半翅目　ぐんばひうんか科　異名ぐんばひうんか、みどりひらたうんか。

標　徴　成蟲ノ體及前翅ハ淡綠色、頭及胸背ハ淡褐色、額ハ圓ク前方ニ突出シ、其長サハ頭幅ト等長、頭及前、中胸背ニハ3條ノ青綠色ノ隆起線ヲ具フ。前翅ハ半透明ニシテ小顆粒ヲ撒布シ、翅端ノ1/3ハ網目狀ヲナス。體長6mm内外(翅端マデ)。幼蟲ハ淡綠色ニシテ扁平、複眼ハ暗赤色、尾端ニ數個ノ綿狀ノ長毛ヲ有シ、扇子ノ骨ノ如ク開閉スル。

生　態　成蟲幼蟲共ニ葉ノ裏面ニアツテ養分ヲ吸收シテ加害スルガ、其個體數少ナキガ爲メ其害ハ考慮スル程ノモノデナイ。極メテ雜食性デ萞麻ノ他、茶樹、柑橘、樟、茄子、棉、規那、珈琲樹、桑等ヲモ害スル。

分　布　臺灣、日本内地、南支那、印度。

防除法　甚ダ雜食性デアルガ大發生シタコトガナイカラ、藥劑ヲ撒布シテ驅除スル程ノモノデハナイト思ハレル。若シ藥劑ヲ撒布スルトスレバみどりひめよこばひニ準ズレバヨイ。

12. つまきへりかめむし *Hygia opaca* UHLER

所　屬　半翅目　へりかめむし科

標　徴　成蟲ハ黑褐色、針狀ノ剛毛ヲ密生シ、頭頂ハ三角形ニ短ク突出シ、觸角ハ4節ニシテ黑褐色、第4節ハ基部ヲ除キ黄褐色、第1節ハ肥大シ、第2節最モ長ク、第4節ハ紡

錐狀ニシテ第3節ト等長,前胸背ノ中央ニ1條ノ横溝ヲ有スル。半翅鞘ハ通常腹端ニ達シナイ。革質部ノ末端ノ中央ニ黃褐色ノ1個ノ小點ガアリ,接合板ハ露出シ,各節ノ後緣ハ黃褐色。體ノ下面及肢ハ黑褐色,腹部氣門ノ內方ニ眞黑色ノ點ガアル,各轉節及跗節ハ黃褐色デアル。體長10mm內外。

生　態　6~7月ノ頃,蓖麻ノ果實ニ幼蟲及成蟲ガ群棲シテ汁液ヲ吸收シテ加害スル。交尾シテ居ルモノガ多イ。性ハ割合ニ鈍イ,通風惡シキ人家裏ノ雜草繁茂シテ居ル中ノ蓖麻ニ發生スルガ其害ハ甚ダ輕少デアル。本蟲ハ蓖麻ノ他,山野ノ雜草ニ群棲スル。

分　布　臺灣,日本內地,支那。

防除法　雜草ノ繁茂シタ中ニアル蓖麻ノミニ見ラレルカラ,下草ヲ除去シテ通風ヲヨクスレバ本蟲ハ自カラ少クナル。

13. きまだらかめむし ***Erthesina fullo*** THUNBERG

所　屬　半翅目　かめむし科　異名きしもふりかめむし。

標　徵　成蟲ハ體黑色デ胸背,小楯板及半翅鞘ニハ黃色ノ斑點ヲ有シ,頭ノ正中線側緣及前胸背ノ正中線ハ黃色,觸角ハ5節ニシテ黑色,第5節ノ基部ハ淡褐色,接合板ノ各節ノ中央ハ黃色,前肢脛節ノ末端ノ外側ニハ翼狀扁平部ヲ有スル。各脛節ノ中央ニハ廣キ黃色帶ガアル。體長24mm內外。

生　態　年4~5回ノ世代ヲ累ル如ク,卵ハ葉裏ニ20~30粒並列シテ產下サレル。成蟲幼蟲共ニ蓖麻上ニ居ルガ主トシテ莖幹ニ口吻ヲ挿入シテ汁液ヲ吸收シテ加害スル,蟲數ガ少ク且ツ其害ハ目ニ見ヘル程度ノ標徵ヲ現ハサナイカラ殆ド考慮ニ值シナイ。成蟲ハ割合ニ活潑,ヨク飛翔シ强イ惡臭ヲ放ツ。極メテ普通ニ見受ラルル種デ,たいわんせんだん,相思樹等ニ多イ。

分　布　臺灣,支那,印度,錫蘭,ビルマ,比律賓,爪哇,スマトラ其他東洋區熱帶地域ニ廣ク分布スル。

防除法　上記ノ如ク稀ニ見受ケラレル害蟲デアルカラ成蟲幼蟲ハ發見次第共ニ之ヲ捕殺スル程度ニテ充分デアル。

14. あをかめむし ***Nezana viridula*** LINNÉ

所　屬　半翅目　かめむし科

標　徵　成蟲ハ全體光澤ノナイ鮮綠色,複眼ハ黑色,單眼ハ赤色,觸角ハ5節デ綠色,第3節ノ末端及第4~5節ノ大部分ハ赤褐色,小楯板ノ基部ニ黃褐色ノ3個ノ小點ガアル。或ル個體ニテハ頭ノ前半及前胸背ノ前緣,橙黃色ノモノガアル。之ヲ var. *torquata* FABRICIUS ト云フ。體長15mm內外。卵ハ壺狀ニシテ40~80粒ヲ稍菱形ニ並列シテ產下サレ淡綠色,卵頂ハ平ニシテ其ノ周緣ハ鋸齒狀ヲナス。孵化近クニナルト卵內ノ赤色ノ幼蟲ガ少シク透視サレル。高サ1mm。幼蟲ハ幼小ノモノハ黑色,腹部ハ赤褐色ニシテ黃褐色ノ斑點ヲ有シ成長シタモノハ胸部淡綠色ニ變ズル。

生　態　蓖麻デハ時々葉及花梗ニテ成蟲及幼蟲ヲ見受ケルガ,其害ハ至ツテ輕少ニ

シテ考慮スル程ノモノデハナイ。莨麻ノ他、綠肥作物其他ノ豆科作物ニ多ク見受ケラレ又水稻ノ穗ニ大群棲シテ大害スルコトモアル。年5~6回ノ世代ヲ累ネ、10月中旬以降ニ孵化シタモノハ翌年1月上旬ニ成蟲トナル。夏季ニハ35日内外ニシテ卵ヨリ成蟲トナル。卵期ハ5日内外、幼蟲期ハ30日内外デアル。

分　布　臺灣、支那、馬來半島及諸島、印度、アフリカ等ニ廣ク分布スル。

防除法　綠肥作物ニ大害スルコトガアルガ莨麻ニテハ考慮スル程ノ害蟲デナイカラ、發見ト共ニ成蟲及幼蟲ヲ捕殺スル程度ニテ充分デアル。

15. ぐんじやうかめむし ***Dalpada Smaragdina*** WALKER

所　屬　半翅目　かめむし科　異名*Amasenoides virescens* SHIRAKI

標　徵　成蟲ノ體及半翅鞘ハ青銅色ニシテ光澤ガアル。點刻ヲ密布シ、頭ハ突出シ、先端ハ截斷狀ヲナシテ縱裂ガアリ、腹背部ハ黑色、體下及肢ハ淡褐色、腹部ノ兩側ハ青銅色ヲ呈スル。體長17mm内外。

生　態　成蟲ハ莨麻、桑及茶樹等デ時々見受ケ汁液ヲ吸收シテ加害スル被害程度ハ極メテ輕少デアル。

防除法　成蟲幼蟲ヲ發見ト共ニ捕殺スル程度ニテ充分デアル

分　布　臺灣。

16. わたのきほりが(わたのはまき) ***Acria gossypiella*** SHIRAKI

所　屬　鱗翅目　きほりが科

標　徵　成蟲ハ小形ノ蛾ニシテ前翅前緣ノ中央部ハ長ク刳ラレ、體及翅ハ灰褐色、前翅中央ニ1黑點ガアリ、外緣近クニ1條ノ彎曲シタ褐色横線ガアル。前緣ノ刳ラレタ部分及外緣ハ褐色、緣毛ハ太クシテ長ク灰褐色、後翅ハ廣ク淡褐色ニシテ無紋。前翅ノ長サ8mm内外。幼蟲ハ體甚ダ細長ニシテ淡青綠色、頭ハ水平ニシテ淡黃色、單眼ハ5個デ黑色、頭楯及上唇ハ白色、其兩側ハ褐色、上顎ハ赤褐色、胸部ハ淡黃綠色、腹部ハ青綠色、胸部及腹部ノ背面ニハ淡黃綠色ノ太イ縱帶ガアリ、各環節ノ後緣ハ淡黃綠色ヲ呈スル。尾脚ハ後方ニ長ク伸出シ腹部第10節ノ背面ニハ5本ノ剛毛ガアリ、内2本ハ長ク後方ニ出デ他ノ2本ハ下方ニ垂レル。體長約18mm内外。體幅約2mm内外。蛹ハ淡黃色デ稍々扁平、頭ハ突出シナイ。翅ハ腹部第5節ノ半ニ達シ、觸角ハ翅ト等長、胸部ハ幅廣ク體長ノ約半アリ、尾端ニハ鈎狀ノ尾刺ヲ多數有スル。體長7mm内外。

生　態　葉ノ裏面ニアツテ中肋ニ沿ヒ白色ノ絹糸ヲ以テ網ヲ張リ其中ニアツテ頭及胸ヲ網外ニ出シテ葉ヲ喰害シ、性至ツテ活潑デアル。老熟スルト新ニ中肋ニ沿ヒ薄キ網ヲ張リ其内ニテ蛹化スル、蛹ハ網上ヨリ透視スルコトガ出來ル。甚ダ尠ナイ害蟲デアツテ稀ニ見受ケラレル程度デアル。莨麻ノ他、棉及茶樹ノ葉ヲモ喰害スル。

分　布　臺灣。

防除法　上記ノ如ク其ノ害ハ甚ダ稀デアルノデ藥劑ヲ以テ特ニ驅除スル程ノモノデナイカラ幼蟲ハ發見次第捕殺スル程度ニテ充分デアル。

17. きいろまひこが ***Stathmopda theoris*** MEYRICK

所　属　鱗翅目　まひこが科

異　名　*Oecophora sp.* たいわんわたみが、

標　徵　成蟲ハ小形ノ蛾デアツテ頭ハ黄褐色ニシテ光澤アリ、胸背ハ黄色、前翅ノ基部$^2/_5$ハ黄色、他ハ暗褐色、後翅ハ劍狀ニシテ暗褐色ヲ呈スル。前翅ノ長サ4mm內外。幼蟲ハ全ク黑色ニシ　粗毛ヲ有スル。體長10mm內外。

生　態　幼蟲ハ蓖麻ノ果實ノ收穫末期又ハ樹上ニ於テ成熟乾燥又ハ早期枯死乾燥シタ果實ニ花梗ヨリ絹糸ヲ張ツテ各果ヲ綴リ其中ニ數疋同居シテ加害スル、老熟スルト其處ニテ結繭蛹化スル。往々大害ヲ及ボスコトガアル、印度ニテハCholam,「タマリンド」、ひまわり、棉等ノ乾燥シタ果實及花又ハ枯死乾燥シタ枝梢等ヲ害スルコトガ報告セラレテ居ル。本島ニテハ蓖麻ノ他、棉ノ外皮「カカオ」ノ花「アボカード」ノ花等ヲ害スル。本種ノ幼蟲ハとびいろまだらめいが及わたのとがりほそが等ノ幼蟲ト混ジテ喰害スル事ガ多イ。

分　布　臺灣、本州(南半)、九州、四國、印度。

防除法　1. 砒酸鉛液又ハ砒酸石灰液等ヲ撒布スルコト。

2. デリス劑、除蟲菊劑又ハ「ニコチン」劑等ヲ撒布スルコト。

18. わたとがりほそが ***Anatrachyntis simplex*** WALSINGHAM

所　属　鱗翅目　かざりばが科

異　名　*Pyroderces simplex* WALS., *Stagmalophora coriacella* SNELLEN わたのほそこくが

標　徵　成蟲　小形ナル蛾デ、觸角ハ前翅ノ$^2/_3$ノ長サヲ有シ白色ト黑色トノ横斑ヨリナリ、下唇鬚ハ長クシテ上方ニ彎曲シ末端近クハ黑色ニシテ其ノ中央ハ白色ニテ横切ラル、翅ハ赤褐、基部ノ縱線、中央部及外緣ハ白色ヲ混ジタル黑色鱗毛ヲ有シ緣毛ハ長クシテ翅頂上半ハ赤褐色、下半ハ暗褐色ヲ呈ス。後翅ハ細クシテ暗褐色、緣毛ハ長クシテ暗褐色ヲ呈スル。前翅ノ長サ6mm內外。幼蟲　淡褐色ニシテ頭ハ黄褐色、胸部第1節ノ硬皮板ハ褐色又ハ暗褐色、腹部第9節ノ硬皮板ハ褐色、胸部第2節以下ニハ赤褐ノ横帶ガアリ白色毛ヲ粗生シ、脚ハ體ト同色デアル。體長7mm內外。蛹、全體褐色、頭ハ扁平ニシテ小皺ヲ有シ頭頂ハ突出シナイ、下顎ハ翅ノ半ヲ越ヘ前、中肢ハ下顎ヨリ短ク觸角ハ下顎ヨリ遙カニ長ク翅端近クニ達シ、翅ハ腹部第6節ノ中央ニ達スル。腹背ニハ横皺多ク氣門ハ圓錐狀ニ突出シ、腹端ハ圓ク。尾刺ヲ缺ク、體長4mm內外。

生　態　幼蟲ハ花梗ヨリ花房、果實ニ薄キ絹糸ヲ張ツテ蟲糞及喰滓等ヲ附着セシメテ、其ノ中ニアツテ花房及果實ノ表皮等ヲ食害スル。本種ハとびいろまだらめいが及きいろまひこが等ト混ジテ喰害スル。棉ノ末期ニ於テソレノ多數ガ果實ニ喰入セルモノヲ見受ケルコトガアリ。又枇杷ノ花苞ヲモ喰害スル。印度ニテハ棉ノ蒴果ノ他、棉ノ芽「オクラ」、樹豆(*Cajanus indicus*)ノ莢、梨ノ落果シタルモノ、いぬびわノ1種 Gular (*Ficus glomerata*) ノ落果、腐朽シタ竹幹、じふろくささげ(*Vigna catjang*) ノ乾燥シタ芽、小麥ノ花等ニ

ばくが (*Sitotroga cerealella*) ノ幼蟲ト共棲スル。又玉蜀黍ノ穗軸,蓖麻, Cholam (*Andropogon Sarghum*) ノ穗等ニほそつゞりが (*Stenachroia elongella*) ノ幼蟲ノ張ツタ網ノ中ニ共棲スル等ノ報告ガアル。

分　布　臺灣,印度,ビルマ,爪哇,マウリシアス,東及西亞弗利加,埃及等ニ廣ク分布スル。

防除法　前種ニ準ズル。

19. こかくもんはまき ***Adoxophyes privatana*** WALKER

所　屬　鱗翅目　はまきが科

標　徵　成蟲ノ體及前翅ハ淡褐色,2個ノ幅廣キ褐色ノ斜帶ガアツテ中央ノモノハ內緣近クニ於テ叉狀ヲナスモノガ多イ,基部ニハ不明瞭ノ褐色斜帶ガアル。雄ニアツテハ基部近クノ前緣ニ褶ヲ有スル。後翅ハ黃褐色デ外緣近クハ濃色デアル。前翅ノ長サ7~8mm內外。卵　產卵當時ハ淡綠色デアルガ後淡黃色トナル。卵粒ハ楕圓形デ魚鱗狀ニ重ネテ產下サレ,卵塊ノ形狀ハ一定デナク,楕圓形,不等四邊形又ハ側方ニ突出シタ楕圓形等デアル。幼蟲　鮮綠色,頭ハ橙黃色,胸部及腹部ノ各環節ニ2列ニ並列シテ居ル8個ノ小疣狀隆起ガアツテ之ヨリ黃白色ノ細毛1本ヲ出ス。體長20mm內外。蛹黃褐色,腹背ノ第2~6節ノ前緣近クニ各1條ノ鋸齒狀橫列ヲ有シ腹端ニハ鉤狀ノ數本ノ尾刺ガアル。體長10mm內外。

生　態　年8~9回ノ世代ヲ累ネ,年中各時代ノモノガ存スル。1世代ノ長サハ夏季ニテ30日內外,冬季ニテ90日內外デアル。卵期ハ夏季6日,冬季16日,幼蟲期ハ夏季14日,冬期50日內外,蛹期ハ夏季5日,冬季10日內外デアル。卵ハ葉ノ裏面ニ一塊トシテ魚鱗狀ニ產下サレ,幼蟲ハ葉ノ一端ヲ捲イテ喰害シ,老熟スルト其中ニテ蛹化スル,蓖麻ニアツテハ稀ニ喰害ノミデアルカラ特別注意スル可キ害蟲デハナイ。茶及柑橘苗ニアツテ往々大害ヲ受ケルコトガアル。

分　布　臺灣,日本內地,朝鮮,支那,印度,セイロン,ビルマ,ニユウギニヤ等ニ廣ク分布スル。

防除法　1. 蓖麻ニハ特ニ大害ヲスル事ハナイカラ驅除スル程ノモノデナイ。幼蟲ハ發見次第捕殺スレバヨイ。若シ其ノ害ノ大ナル時ハ砒酸鉛液又ハ砒酸石灰液ヲ撒布スルガヨイ。

20. ちやはまき ***Homona coffearia*** NIETNER

所　屬　鱗翅目　はまきが科

異　名　*Homona menciana* WALKER

標　徵　成蟲(雌)　前翅ハ黃褐色,濃褐色ノ波狀短線ヲ密布シ,翅頂ノ紋及不明瞭ノ斜走スル幅廣キ中線ハ灰褐色,後翅ハ黃色又ハ暗黃色デアル。前翅ノ長サハ15mm內外。(雄)前翅ハ黃褐色又ハ暗黃褐色デ基部ニ濃色半月形ノ折返シアリ。翅頂ノ紋及斜狀ヲナセル幅廣キ中線ハ濃色,前緣ノ中央ニ1黑點アリ,後翅ハ黃色又ハ暗黃色デアル。前翅ノ長サ10mm內外。卵　楕圓形デ扁平,魚鱗狀ニ重ネテ楕圓形ニ葉ノ表面ニ產下サレ

ル､產卵當時ハ淡綠色デアルガ､時日ヲ經過スルト淡黃色ニ變ズル｡ 卵塊ノ長サ9mm内外｡ 幅3mm内外｡ 幼蟲 體ハ淡黃綠色､頭ハ黃褐色デ暗褐色ノ雲狀ノ不規則ナル斑紋ヲ存シ､第1節ノ硬皮板ハ黃褐色デアル｡ 體長24mm内外｡ 蛹 赤褐色､翅ハ腹部第3節ノ後緣ニ達ス､腹背ニハ鋸齒狀ノ2橫隆起線アリ､尾刺ハ鉤狀ヲナス｡ 體長13mm内外｡

生 態 年ニ6～7回ノ世代ヲ累ネ､年中各時代ノモノガ存スル､卵期ハ夏季ニテ7日内外､冬季ニテ20日内外､幼蟲期ハ夏期ニテ20日内外､冬季ニテ60日内外､蛹期ハ夏季ニテ7日内外､冬期ニテ14日内外デ､1世代ノ長サハ夏季ニテ30日内外､冬季ニテ90日内外デアル｡ 幼蟲ハ茶樹ノ數葉ヲ捲イテ大害スルコトガアルガ､蓖麻ニテハ葉緣ヲ捲イテ喰害シ稀ニ大害スルコトガアル､老熟スルト加害シタ捲葉内ニテ薄イ繭ヲ張ツテ蛹化スル｡ 蓖麻ノ他､柑橘其他多數ノ植物ノ葉ヲ害スル｡

分 布 臺灣､日本内地､支那､印度､爪哇､ボルネオ､セレベス､チモール､バチアン､モルツカ等ニ廣ク分布スル｡

防除法 前種ニ準ズル｡

21. とびいろまだらめいが ***Cryptoblabes aliena*** SWEZEY

所 屬 鱗翅目 めいが科

標 徵 成蟲ハ小形ノ蛾デアツテ､體ハ暗褐色､前翅ハ暗褐色ニシテ赤褐色ト光澤アル灰白色ノ鱗毛ヲ混ジ殊ニ下半分ハ赤褐色鱗毛ガ密デアル｡ 後翅ハ灰褐色ニシテ透明､翅脈及周緣ハ暗褐色デアル｡ 前翅ノ長サ7mm内外｡ 幼蟲 體ノ中央ハ太ク､前後兩端ハ稍細イ､黑褐色又ハ暗赤褐色ニシテ黑褐色ノモノニアツテハ背線及側線ハ太ク暗黃色ヲ呈シ､背面ニハ不明瞭ナル6條ノ淡黃褐色ノ縱條ガアリ､内2條ハ亞背線ニアツテ稍明瞭デアル｡ 胸脚ハ暗黃色デアル｡ 暗赤色ノモノニアツテハ頭ハ暗黃褐色､胸部第1節ノ硬皮板ハ黑色デ､體ニハ6條ノ不明瞭ナル灰白色ノ縱線ヲ具フ｡ 體長10mm内外｡ 蛹 淡褐色ニシテ細長､頭ハ圓ク突出シナイ｡ 胸部及腹部背面ニハ點刻ヲ撒布シ､觸角､下顎及後肢ハ翅端ニ達スル｡ 尾刺ハ管狀突起部ノ末端ニアツテ鉤狀ヲナス｡ 體長6 mm内外｡

生 態 幼蟲ハ蓖麻ノ花梗ヨリ花房及果實ニ絹糸ヲ以テ隧道ヲ作リ之ニ蟲糞､花瓣､花ノ枯レタモノ其他屑類ヲ附着セシメ､其ノ中ニアツテ喰害シ､往々大害ヲ及ボスコトガアル｡ 幼蟲老熟スルト其ノ中ニテ結繭蛹化スル､本種ハ果實ノ外皮ヲ喰スルノミニシテ青果實中ニ侵入シタノヲ未ダ見タコトガナイ､蓖麻ノ他､珈琲ノ花房及果實ヲモ喰害スル｡ 本種ハ一色技師ガ布哇ヨリ採集サレ同地ニテ同定シテ持チ歸ラレター疋ノ標本ト全ク一致シ又SWEZEYノ原記載ニモ一致スルノデ之ヲ使用スルコトニシタSW-EZEYニ依ルト布哇ニテハ蓖麻及珈琲樹ノ頂頭､花莟若シクハ種子､棉ノ種子､甘蔗ノ捲葉ノ基部ヲ喰害シ又玉蜀黍ニ於テハCorn-hopper (*Peregrinus maidis*) ノ加害葉ニ多數發見サレ､Algaroba,｢オレンヂ｣､桑､｢ランタナ｣等ニテモ發見サレ､蚜蟲､粉介殼蟲等ニモ網ヲ張ツテ喰害スル｡ 本種ハ｢セイロン｣產ノ *Cryptoblabes ephestialis* HAMPSON (J. B. Nat. Hist., XV, 1903,

p. 32) ＝類似シテ居ルガ前翅＝銀色横線ヲ缺クコトニヨツテ異ナル、因＝*ephestialis* ハ印度ヨリ蓖麻ノ害蟲トシテ報告セラレテ居ル。本種ノ幼蟲ハわたとがりほそが及きいろまいこがノ幼蟲ト混シテ喰害スルコトガ多イ。

分　布　臺灣、布哇。

防除法　前種＝準ズル。

22. みすぢきいろ　めいが ***Pyrausta celatalis*** WALKER

所　屬　鱗翅目　めいが科

異　名　*Pyrausta ochrealis* WILEMAN

標　徴　成蟲　體及翅ハ黄色、前翅ノ内、中及外横線ハ黒色＝シテ波狀ヲナシ中室端＝1個ノ黒點ガアリ、後翅＝ハ黒色波狀ノ中及横線ヲ有スル。前翅ノ長サ10mm内外。

生　態　幼蟲ハ蓖麻ノ葉ノ先端ヲ捲イテ之ヲ喰害スルガ、甚ダ稀＝發見サレル害蟲デアル。

分　布　臺灣、日本内地、印度、錫蘭、ボルネオ。

防除法　上記ノ如ク甚ダ稀＝發見サレルモノデアルカラ殆ド驅除ヲ要スル程ノモノデナイ。

23. もものめいが ***Dichocrocis punctiferalis*** GUÉNÉE

所　屬　鱗翅目　めいが科

標　徴　成蟲　體及翅ハ鮮黄色、胸部及腹部背面＝ハ黒色點ヲ撒布シ雄ノ尾毛ハ黒色、前翅＝ハ5列、後翅＝ハ2列ノ黒點ヲ撒布ス。是等黒點中、前翅前縁室＝3個、中室＝1～2個、中室端＝1個アリ。前翅ノ長サ12mm内外。幼蟲　頭ハ赤褐色、胴部ハ淡赤色、又ハ淡赤褐色＝シテ黒色ノ顆粒狀點ヲ撒布シ之＝短剛毛ヲ生ス。胸脚ノ附着部ハ肥大スル。體長15mm内外。

生　態　本島＝ハ甚ダ稀ナ害蟲ノ如ク從ツテ其害モ現在＝テハ殆ンド考慮スル程ノモノデナイ。卵ハ果溝又ハ樹皮ノ割目等＝産下サレ赤色又ハ黄色デアル。幼蟲ハ花房及果實＝絹糸ヲ張リ之＝蟲糞ヲ附着セシメテ其ノ中＝アツテ花房ヲ喰シ又果實＝喰入シテ種子ヲ喰シ或ハ莖内＝喰入ツテ加害スル。老熟スルト喰痕内＝テ結繭蛹化スル。蓖麻ノ他「バラミツ」、茘枝、龍眼等ノ花房及果實ヲ喰害スル。亞細亞ノ南部、東部及濠洲＝廣ク分布シ、印度＝テハ蓖麻ノ莖及其果實ノ大害蟲トシテ知ラレ、其他南洋デハ薑黄ノ莖、薑ノ莖及地下莖、蕃石榴ノ果實、「マンゴー」ノ花、Cholam、梨、「カカオ」、「チーク」、「カポツク」Rambutan, Cardamon 等ノ芽及果實ヲ害シ、内地＝テハ桃、梨、苹果、李、杏、枇杷、無花果、石榴、栗、向日葵、米栜、五葉松、唐檜、藤等ノ果實及芽ノ害蟲トシテ報告サレテ居ル。

分　布　臺灣、日本内地、支那、其他亞細亞ノ東部及南部、濠洲。

防除法　上記ノ如ク本種ハ印度デハ蓖麻ノ大害蟲デアルガ本島＝テハ甚ダ稀ナ害蟲デアツテ殆ド其害ガナイト云フテモヨイ位デ、從ツテ現在＝アツテハ驅除ノ必要ガナイ。而シ若シ發生シタ場合ハきいろまいこがト同様ナ方法ヲ以テ驅除スレバヨイ。

24. はいいろうすべにつづりが ***Tirathaba rufivena*** WALKER

所　属　鱗翅目　めいが科

異　名　*Mucialla rufivena* WALKER

標　徴　成蟲　體及前翅ハ灰褐色,前翅ニハ赤色鱗毛ヲ撒布スルガ殊ニ下半部ハ密デアル。中室及中室端ニ各1個ノ大ナル黒紋ヲ有シ外縁線ハ黒色ニシテ縁毛ハ灰褐色基半部ハ暗褐色デアル。後翅ハ黄褐色ニシテ外縁ハ少シク暗色ヲ帶ブ。前翅ノ長サ13mm内外。幼蟲　黒色ニシテ頭ハ赤褐色,前頭ニ1個ノ黒點アリ,胸部第1節ハ黄褐色,ヲ呈シ。第2節以下ハ全ク黒色ニシテ横皺多ク各節ニ8個ノ黒點アツテ亞背線ニ2個,氣門上線及氣門下線ニ各1個ノ黒點アツテコレヨリ各1本ノ黒色短毛ヲ出ス,胸脚ハ黄褐色,腹脚ハ白色,腹部第1～2節及第7～9節ノ腹面ニハ各4個ノ黒點横ニ並ブ。體長15mm内外。

生　態　幼蟲ハ蓖麻ノ果實内ニ喰入シテ種子ヲ喰害シ外部ニ蟲糞ヲ排泄スルガ其害ハ輕少デアル。老熟スルト果實ノ外皮ニ蟲糞ヲ綴リ合セテ繭ヲ營ミ其中ニテ蛹化スル。

分　布　本種ハ臺灣ノ他,セイロン,ボルネオ,ニユウギニヤ等ニ分布スル。

防除法　1. 砒酸鉛又ハ砒酸石灰液ヲ果實ニ撒布シテ其喰入ヲ豫防スル。2. 果實ノ收穫後蟲害ノモノヲ選出シテ,之ヲ燻蒸若シクハ燒却シテ驅除スルコト。

25. こーひーごまふぼくとう ***Zeuzera coffeae*** NIETNER

所　属　鱗翅目　ぼくとう蛾科

標　徴　成蟲　中形ノ蛾デ全體白色,胸背ニ3對,前翅ニ多數ノ青藍色ノ點紋ヲ撒布シ,後翅ニハ中央ニ數個ノ暗褐色點紋存在シ,外縁ニハ各脈上ニ1個ノ青藍色點ガアル。雌ハ觸角糸狀デ腹部ハ肥大シ前翅ノ點紋ハ雄ニ比シ大デアル。雄ハ觸角ノ基半部羽狀デ後半ハ糸狀ヲ呈ス。前翅ハ著シク細クナリ點紋ハ細ク線狀ヲナシテヰル。前翅ノ長サ雌22mm内外。雄15mm内外。幼蟲　赤褐色デ胸部第1節ト腹部第9～10節ノ硬皮板ハ黒色ヲ呈シテヰル。體長30mm内外。蛹赤褐色,腹部第2～7節ノ背面ニ2個,第8節ノ背面ニ1個ノ鋸齒狀ノ横隆起線ガアル尾刺ハ尾端ノ下側ニ10個アツテ短イ刺狀突起ヲナシ,互ニ離レテ存在ス。體長27mm内外アリ。

生　態　幼蟲ハ蓖麻ノ土際近クノ莖内ニ喰入リ隧道ヲ穿テ喰害スルノデ枯死スルコトガアル。被害部ニハ太イ圓形ノ穴ヲ外部ニ1個設ケ此處ヨリ圓筒形ノ蟲糞ヲ排出スル。蓖麻ニ於テハ本島デハ極メテ稀デアル。茶樹,棉,珈琲樹,蕃石榴,龍眼樹,蓮霧,楊桃,「セイロンオリーブ」,荔枝,輌蕃荔枝,桃,梨,枇杷,「アボカード」,胡桃,黄枇,「テフロシヤ」,「クロタラリヤ」はそばしやりんばい,「カユプテ」,櫻,「レモン」,「カカオ」,「デリス」等ノ枝幹ニ喰入リ大害ヲ與ヘルコトガアル。幼蟲老熟スルト喰痕中ニテ蛹化シ羽化スルトキハ蛹體ノ半ヲ外部ニ出ス。臺北地方デハ成蟲ハ4～5月ト9～10月トノ2回現出シ卵ハ樹皮下ニ産附ス

ル。幼蟲ハ殆ド周年存在シテ加害スル。本種ハ1861年ニNIETNERニヨツテ錫蘭ニテ珈琲樹ノ害蟲トシテ發表セラレタノガ嚆矢デ其後,印度,ビルマ,爪哇等ニテ蓖麻,「カカオ」,茶樹,規那樹,「コカ樹」,棉,「カポツク」,「アボカード」,梨,木藍,薔薇,「チーク」,「マホガニー」,*Cedrela*, Sandalwood, *Casuarina*, Damar (*Agathis*) 等ガ報ジラレテ居ル。臺灣ニテハ明治44年ニ素木技師ガ臺灣害蟲目錄第42頁ニこーひーごまふぼくとう(*Zeuzera coffeae*)トシ梨其他濶葉樹ノ害蟲トシテ掲載サレノガ,大正2年ニ臺灣總督府農事試驗場特別報告第五號第382頁ニごまふぼくとう(*Zeuzera pyrina*)ト訂正サレ,牧茂市郎氏ハ大正4年ニ臺灣總督府殖産局林業試驗場特別報告第一號第50頁第9圖版第26～28圖ニ同一名ヲ以テ珈琲樹,棉,茶樹,其他種々ノ濶葉樹ノ害蟲トシテ報告サレタ,大正5年ニ素木技師ハ英國博物館ニテ研究ノ結果本種ハ*pyrina*デナク*coffeae*デアルコトガ判明シタノデ之ヲ訂正シ和名ヲこーひーごまふぼくとうト改稱セラレタ。

分　布　臺灣,支那,印度,錫蘭,爪哇。

防除法　1. 被害孔ニ二硫化炭又ハ「クロールピクリン」ニ脫脂綿ノ小片ヲ浸漬シテ之ヲ「ピンセツト」ヲ以テ孔口ヨリ挿入シテ粘土ヲ以テ閉塞スルコト。2. 被害孔ニ百部根又ハ「マツチ」ノ軸木ニ猫いらずヲ附着セシメテ之ヲ挿入スルコト。3. 被害枝ヲ切取リ燒却スルコト。4. 被害孔ニ針金ヲ挿入シテ幼蟲ヲ引出シテ殺スコト,針金ノ先端ニ逆鉤ヲ設ケルト便利デアル。

26. おほみのが *Clania pryeri* LEECH

所　屬　鱗翅目　みのが科

異　名　*Clania variegata* HAMPSON (*nec* SNELLEN), *C. formosicola* STRAND, *C. variegata formosicola* (STRAND), *Cryptothela formosicola* (STRAND)

極メテ普通ニ見ラルル大形ノみのむしデアツテ甚ダ雜食性デ往々相思樹,樟,「アカシヤ」等ニ異常大發生シテ葉ヲ喰シ大害ヲ及ボスコトガアル。又蓖麻,茶及柑橘等ニモ大害ヲ與ヘル,幼蟲ノ巢嚢ハ袋類,金入,「ハンドバツク」其他ノ工藝品ニ廣ク利用サレ所謂みのむし細工トシテ市内ノ店頭デ販賣サレ大ニ賞讃サレテ居ル。本種ハ從來*Clania variegata*トシテ使用サレテ居タガSTRANDニヨリ*formosicola*トシテ訂正サレ,又屬名ハ1929年ニDALLA TORRE, STRANDニヨリ*Cryptothela*トサレタガ*Cryptothela*ト*Clania*ノ先取權ニ就イテハ尙疑問ガアルノデ,余等ハ從來通リ*Clania*ヲ使用スルコトニシタ。

標　徵　成蟲ハ雌雄形態ヲ著シク異ニスル,雄ハ中形ノ暗褐色ノ蛾デ少シク褐色ヲ呈シ。前翅翅脈ハ黑色,中室先端近ク第3.脈間室及第5～8脈間室ニハ透明紋ガアル。前翅ノ長サ14～18mm。雌,蛆狀デ軟ク,幼蟲ノ嚢內ニアツテ淡黃色,頭ハ小形,幾丁質ニシテ圓錐形淡褐色ヲ呈ス。觸角及口器ハ退化シ尾節及其前節ニハ黃金色毛塊ヲ廻ラス,尾端ノ3節ハ細ク尾狀ニ圓筒形ヲナス。體長25mm內外。卵　白色デ微小,幼蟲ノ嚢內ノ蛹殼內ニ300～800粒産下サレ其ノ表面ハ親蟲ノ尾毛ヲ以テ被ハレテキル。直徑

0.3mm内外. 幼蟲 頭ハ赤褐色ニシテ無紋,胸部ハ黒褐色ニシテ5條ノ白色縦線ヲ有シ中央線ノモノ細ク且ツ短クシテ後胸背ニ達シナイ。腹部ハ全ク黒色デアル。體長50~70mm。蛹 幼蟲ノ巣嚢内ニアツテ雌雄共形ヲ異ニスル。雄ハ黒紫色,翅ハ腹部第2節後縁ニ達シ,腹部各節ニハ縮緬狀ノ横皺ガアルガ後縁ニハ之ヲ缺ク,各節ノ前縁ニハ1列ノ鋸齒狀ノ小刺ヲ具フ。腹部末端ニハ2個ノ大ナル尾刺ヲ有ス。體長20mm内外。雌,圓筒形デ兩端圓ク赤褐色,翅ヲ缺キ各節ニハ縮緬狀ノ横皺ガ多イ。頭ハ不明,尾端ニハ3個ノ小刺ガアル。體長30mm内外。

生 態 本島ニ於ケル大形ノみのむしデ且ツ日常至ル所ニ於テ見受ケル極メテ普通ナ害蟲デアル。年1回又ハ2回ノ世代ヲ行ヒ,第1回ハ2~3月ニ羽化産卵シ第2回ノモノハ9月ニ羽化産卵スル。雌ハ幼蟲ノ巣嚢内ニアツテ雄ノ飛來ヲ待ツテ交尾産卵スル。然シ雌ハ蛹殻内ニアルノデ雄ハ雌ノ嚢ノ下端ノ口ヨリ腹部ヲ挿入シ且ツ蛹殻内ノ雌ノ尾端ニマデ達セシメテ交尾ガ行ハル,此ノ際雄ハ腹部基部マデ嚢内ニ挿入シテ居ル。卵ハ雌ノ蛹殻内ニ300~800粒産下サレ共上面ハ母蛾ノ尾毛ヲ持テ被ハレテ居ル。卵ハ30日内外デ孵化シ,幼蟲ハ嚢ノ下方ノ口ヨリ這ヒ出テ絹糸ヲ吐出シテ懸垂シ,風ニ吹カレテ分散スル,孵化シタ幼蟲ハ腹部ヲ上方ニ擡ゲテ歩行シ,枯葉又ハ樹皮ノ表面ヲ嚙リテ絹糸ヲ以テ之ヲ綴ツテ環ヲ作リ之ニ頭ヲ入レテ環ヲ體ニ帶ビ,而シテ後之ニ枯葉又ハ樹枝等ノ表面ヲ嚙ツタモノヲ附着セシメテ嚢ヲ作ル。孵化當時ノ幼蟲ハ體ヲ下方ニシ嚢ノ尾端ヲ上方ニシテ葉表ヲ匍匐スルガ成長スルト嚢ヲ下方ニシテ懸垂シテ加害スル。長ズルニ從ヒ嚢ノ大ヲ增シ葉縁ヨリ食シツツ小枝及葉ヲ喰ヒ切リ之ヲ着スル。老熟スルト枝幹ニ移リ嚢ノ上端ヲ之ニ固ク附着セシメテ懸垂シ,嚢内ニテ體ヲ下方ニ轉倒シテ蛹化スル,雄ハ羽化ノ際嚢ノ下方ノ口ヨリ蛹體ノ半ヲ脫出ス。雄ハ燈火ニ飛來スル。本種ハ蓖麻ノ他相思樹,樟,「アカシヤデフレンス」,茶樹等ニ大發生シテ大害スルコトガアル。天敵,しろをびくろひめばち *Philopsyche sauteri* CUSHMAN (*nec Exeristes albicincta* CAMERON) ガ幼蟲ニ寄生シテ相當ノ效果ヲ收メテ居ル。

分 布 臺灣,日本内地,朝鮮,支那。

防除法 1.幼蟲ヲ捕殺スルコト。2.砒酸鉛液又ハ砒酸石灰液ヲ撒布スル。3.幼蟲嚢ノ利用法,數年前ヨリ蓑蟲細工ナルモノ流行シ本種ノ巣嚢ヲ以テ「ハンドバツグ」,草履ノ表等ヲ製作シテ臺灣特產トシテ販賣サレテ居ルカラ驅除ノ傍共巣嚢ヲ之ニ利用スルコトハ有利デアル。而シテ蓑蟲細工ニ使用サレルノハ蓖麻,樟,茶樹等ノモノヨリモ相思樹ノ葉ヲ喰害シタモノガ模樣良ロシキトノコトデ之ガ歡迎サレル。

27. くろてんいらが *Tosea sinensis* WALKER

所 屬 鱗翅目 いらが科

略 名 あかほしいらが

標 徵 成蟲 體及翅ハ暗褐色,前翅ハ少シク灰白色ヲ帶ビ光澤アリ,外横線ハ濃色

シテ斜線ヲナシ彎曲シナイ。此線ニ接シ内側ニ灰白色ノ太キ線ガアル。翅頂附近ハ灰白色ヲ呈ス。前翅轉節及同經節ノ各末端ニハ白色又ハ黄色點ヲ具フ。雄ニアツテハ前翅中室端ニ黒色ノ1點ヲ有スルガ雌ニアツテハ之ヲ缺ク。前翅ノ長サ17〜20mm。卵、楕圓形扁平ニシテ淡綠色、長徑0.5mm内外。幼蟲　鮮綠色デ楕圓形、背面ハ隆起シ、體側ニ刺毛ヲ叢生スル肉狀突起ヲ水平ニ出ス。背線ハ白色デ青綠色線ニヨツテ緣取ラル。此線ノ兩側ニ、シ凹陷部ニ8個ノ小赤色點ヲ羅列シ、内5節目ノモノ最大デアル。氣門ハ赤色ヲ呈スル體長3mm内外。繭ハ短楕圓形デ褐色ニシテ表面ニ黒色ノ絹糸ヲ網目狀ニ附着スル。長徑15mm内外。

生　態　從前本島デハ幼蟲ノ體側ニ赤色點ガアルノデあかほしいらがト稱シテ居タガ松村傳士ハ成蟲ノ翅ニ黒點ガアルノデくろてんいらがト呼バレタ昆蟲ノ名稱ハ成蟲ノ特徵ヲ以テ呼ブヲ原則トサレテ居ルノデくろてんいらがト稱スル樣ニナツタ。年4回ノ世代ヲ行フ如ク幼蟲ハ5〜11月ニ多イ。常ニ葉ニアツテ葉緣ヨリ喰シ、單獨性デ老熟スルト土中ニ入ツテ結繭蛹化スル幼蟲期間ハ約2ケ月デ蛹期間ハ夏季ニ於テ1ケ月内外デアル。第1回ノ蛾ハ4〜5月ニ現ハレ葉面ニ1粒宛産下サレル。幼蟲ハ甚ダ普通ニ見受ケラレルガ其害ハ輕小デ未ダ大發生シタコトヲ聞カナイ、蓖麻ノ他茶樹、柑橘、相思樹等ノ葉ヲ喰害シ、蛹ニテ越年スル。

分　布　臺灣、朝鮮、支那、ボルネオ、比律賓、爪哇、印度。

防除法　1. 幼蟲ハ其ノ類ガ少ナイカラ藥劑ヲ撒布シテ殺ス程ノコトハナイ。發見次第捕殺スルコト。2. 今マデ大發生シタコトハナイガ、若シ大發生シタ場合ハ砒酸鉛又ハ砒酸石灰液ヲ撒布スルカ或ハデリス液ヲ撒布スルガヨイ。

28. アヲイラガ *Parasa consocia* WALKER

所　屬　鱗翅目　イラガ科

標　徵　成蟲　頭、胸及前翅ハ綠色、胸背ノ中央ニハ1條ノ褐色縱線ガアリ、腹背ハ淡黄色デ光澤ガアル。前翅ノ基部ハ褐色、外緣ハ幅廣キ淡黄色デ褐色點ヲ撒布シ、内外側ハ褐色線ヲ以テ緣取ラル、後翅ハ淡黄色、外緣ハ淡褐色、前翅ノ長サ18mm内外。幼蟲　淡黄綠色、長楕圓形、背面ハ隆起シ體ノ各節ニハ各4個ノ肉質突起アツテ之ヨリ剛刺ヲ菊花狀ニ出ス。背線ハ濃藍色、亞背線ニハ淡藍色ノ斑紋ガ有リ、頭ハ黄白色ニシテ2個ノ藍色紋ヲ有シ、胸部第1節ノ中央ニ藍色ノ1紋ヲ具フ。尾端ノ4個ノ肉質突起ハ藍色、第5〜10節ノ肉質突起ハ赤色デアル。體長25mm内外。繭ハ俵狀淡褐色、表面ニ黒色ノ刺毛ヲ附着ス。長徑15mm内外。

生　態　年2〜3回ノ世代ヲ行ヒ、幼蟲期間及蛹期間ハ夏期ニテ各60日内外ヲ要スル。卵ハ葉ノ裏面ニ1粒宛産下サレ幼蟲ハ葉ノ表裏ニアツテ葉緣ヨリ喰シ、單獨性デ老熟スルト葉上又ハ樹幹ノ土際ニテ結繭スル。幼蟲ハ5〜11月ニ多ク見ラレルガ未ダ大發生シタコトヲ聞カナイ。蛹ニテ越年スル、蓖麻ノ他茶樹、柑橘、梨、柿、相思樹、ナンキンハゼ等ノ葉ヲ喰スル。

分　布　臺灣,日本內地,朝鮮,支那,滿洲,アムール。

防除法　前種ニ準ズル。

29. たいわんいらが ***Natada conjuncta*** WALKER

所　屬　鱗翅目　いらが科

標　徵　成蟲ノ體及前翅ハ暗紫褐色ニシテ天鵞絨狀ノ光澤アリ,頭ハ橙黃色,前翅基部ニ黑褐色ノ幅廣キ橫帶ヲ有シ,外緣近クニ太キ黑褐色ノ天鵞絨狀鱗毛ヨリナルく字形橫帶アツテ共ノ折曲部ハ細ク兩端ハ三角形ニ太シ,而シテ三角部ハ橙黃色ノ光澤アリ。中室ノ末端ニ1黑點ガアル。後翅ハ暗褐色。前翅ノ長サ13mm內外。幼蟲及蛹ノ記載ヲ缺ク。

生　態　本種ハ屏東ニ於テ山保禮助氏ガ蓖麻ノ葉ニテ採集シテ飼育羽化セシメタモノデ,成蟲ハ臺北ニテモ時々採集サレルガ,余等ハ未ダ本種ヲ飼育シタコトガナイ。蓖麻ニテハ幼蟲ガ僅ニ見受ケラレル程度デアルカラ共害モ甚ダ輕少デアツテ考慮スル程ノモノデナイ。

分　布　臺灣,朝鮮,支那,アムール,泰國,印度支那,印度。

防除法　くろてんいらがニ準ズル。

30. きいろかれは, ***Trabala vishnou*** LEFEBVRE

所　屬　鱗翅目　かれはが科

異　名　あをかれは *Crinocraspeda guttata* MATSUMURA

標　徵　成蟲ハ雌雄色彩及形狀ヲ異ニスル。雌,黃褐色,前翅ノ前緣,基部近クノ大紋,中室ノ紋,外橫線ノ點紋ハ褐色,中央線ハ淡綠色デ不明瞭ノモノガアル。後翅ニハ褐色ノ中央線ト點線ヨリナル外橫線ガアリ,腹部ノ末端ニハ黃褐色ノ長キ總毛ガアル。前翅ノ長サ45mm內外。雄,淡綠色,前翅ノ內橫線及外橫線ハ淡褐色デ共內側ハ白色,後翅ノ內緣ハ白色,中央線ハ點線ヨリ淡褐色デアル。前翅ノ長サ28mm內外。卵ハ灰黃色デ殆ド球形直徑2mm內外。卵ハ5～30粒ヲ2列ニ且ツ一重ニ產下サレ表面ニハ黃褐色ノ長毛ヲ被ハレ恰モ毛蟲ノ如キ感ガスル。幼蟲,第1齡ノ幼蟲ハ頭ハ赤色,體ハ黑色ト黃色トノ橫帶ヲ交互ニ有シ黃白色及黑色ノ長毛ヲ密生スル。充分成長シタモノデハ灰白色(雄)又ハ暗黃色(雌)ノ長毛ヲ密生シ頭ハ黃色,暗褐色ノ斑紋ヲ有シ,胸部第1節ニハ黑色ノ長キ角狀毛總ヲ具フ。腹部第2節以下ノ背面ニハ4個ノ太キ黑點ガアリ之ヨリ黑色剛毛ヲ射出ス。體側ニハ長キ總狀毛束ヲ有ス。體長70～90mm。繭,黃褐色又ハ暗褐色ニシテ樹枝上ニ營ミ,長楕圓形ニシテ兩端突リ背面ハ鞍狀ニ隆起ス。表面ニハ黑色ノ剛刺毛ヲ密ニ附着スル。長サ40～80mm。蛹,黑褐色又ハ赤褐色,翅ハ第4腹節末端ニ達シ體ハ楕圓形ニシテ點刻ヲ散布シ腹部ハ太ク末端ハ圓ク尾刺ハ極メテ短イ。體長22～30mm。

生　態　本島デハ從前雄ノ色彩ニヨリあをかれはト稱シタガ松村博士ノ雌ノ色彩ヲ採ツタきいろかれはノ發表ガ1年先キデアルカラ先取權ニヨリきいろかれはト呼

ブヲ穩當ト思考ス。年3回ノ世代ヲ行ヒ成蟲ノ第1回ハ5月、第2回7～8月,第3回ハ11～12月ニ現ハレ,卵期ハ20日,幼蟲期ハ55～75日、蛹期ハ15～30日デ幼蟲ニテ越年スル。卵ハ葉表ニ5～30粒ヲ2列ニ且ツ一重ニ產下サレ表面ニハ母蛾ノ黃褐色の長毛ヲ以テ被ハレ一見毛蟲ノ如キ觀ガアル。孵化シタ幼蟲ハ葉裏又ハ葉表ニアツテ葉ヲ喰シ之ニ觸ルレバ跳躍シテ落下スル性ガアル。老熟スルト樹幹又ハ樹枝ニ結繭スル。往々異常大發生シ大害ヲ與ヘルコトガアル。蓖麻ノ他,木麻黃,規那樹,さるすべり,檨仁,楓,あかめかしは,相思樹,蕃石榴かんこのき,つるそば,おほばき等ノ葉ヲ喰スル。

分　布　臺灣,支那,印度,錫蘭,ビルマ,爪哇。

防除法　1. 幼蟲,繭及卵ヲ捕殺スルコト。2. 砒酸鉛又ハ砒酸石灰液ヲ撒布スルカ又ハ「デリス液ヲ撒布スルコト。

31. みかんこえだしやく ***Hyposidra talaca*** WALKER

所　屬　鱗翅目　しやくが科

標　徵　成蟲ノ體及翅ハ暗褐色又ハ暗赤褐色ニシテ前翅ノ翅頂ハ著シク突出シ少シク外方ニ彎曲スル。外緣ハ多少S字形ヲナシ雄ニアツテハ外緣ノ上側圓ク深ク刳ラル。後翅外緣ノ中央部ハ少シク突出スル。前翅ノ長サ15～25 mm。幼蟲,幼少ノトキハ黑色ト白色ノ交互ノ横帶ヲ有スルガ成長スルト暗紫褐色ニ變シ黃褐色ノ斑點ヲ散布シ且ツ腹部第1～4節ノ後緣近クニ各1對ノ黃色ノ紋アリ體長25～30 mm。蛹,赤褐色ニシテ頭ハ圓ク,翅ハ第4腹節ノ後緣ニ達シ觸角ハ翅ト同長,腹部ニハ點刻ヲ密布シ第4節ノ後緣ノ兩側及第5節ノ前緣ノ兩側ニハ銳イ横隆起線ガアリ,第5節ノモノハ2重線トナリ且共ノ前緣ニハ多數ノ縱溝ガアル。尾刺ハ3刺ヨリナリ中央ノモノ太クシテ長ク先端ハ2叉シ,兩側ノモノハ極メテ小形デアル。體長15 mm内外。

生　態　年5～6回ノ世代ヲ行ヒ幼蟲ハ單獨性デ葉緣ヨリ喰スル。極メテ普通ニ存スルガ,體個數甚少ナク未タ大害シタコトガナイ。老熟スルト土中ニ入ツテ蛹化スル。甚ダ雜食性デアツテ蓖麻ノ他,茶樹,柑橘,甘藷,「マンゴー」,茘枝及白茶等ノ葉ヲ喰害スル。

分　布　臺灣,印度,錫蘭,アンダマン,ビルマ,爪哇,ボルネオ,セレベス,比律賓。

防除法　從來大發生シタコトガナイカラ,幼蟲ヲ發見シタラ之ヲ捕殺スル程度デ充分デアルガ,若シ幼蟲ヲ多數發見シテ藥劑ヲ分布シヤウトスルトキハ,「デリス」根液ニ石鹼ヲ加用シタモノカ砒酸鉛又ハ砒酸石灰液等ヲ撒布スルガヨイ。

32. くすえだしやく ***Boarmia acaciaria*** BOISDUVAL

所　屬　鱗翅目　しやくが科

標　徵　成蟲ノ體ハ淡褐色ニシテ黑色鱗毛ヲ混ジ,雌ノ觸角ハ羽狀ニシテ先端ノ1/3ハ糸狀ヲナシ雄ハ全體糸狀デアル。腹部第1節ニ白色帶アリ。前翅ハ黃褐色,基部及翅端ノ1/3ハ淡褐色ニシテ黑色鱗毛ヲ混ジ,中室端ニ前緣ニ接スル淡褐色ノ大紋ガアル。内,中及後横線ハ明ニシテ黑色波狀ヲナス。後翅ハ白色,翅端ノ半ハ淡褐色ニシテ黑色

鱗毛ヲ混シ、中室端ニ不明ナル淡褐色紋アリ。中及後横線ハ明ニシテ黒色波狀ヲナス。裏面ハ4翅共灰白色ニシテ中室端ニ黒色紋ヲ有シ翅端ノ$1/3$ハ黒褐色デアル。前翅ノ長サ20～25 mm。卵黄綠色デアルガ孵化前ニナルト淡黄色トナル。砲彈狀ヲ呈シ、網目狀ノ隆起線又ハ小顆粒隆起ヲ密布スル。長サ0.5 mm。幼蟲、青綠色、暗褐色、暗綠色又ハ綠褐色等デアツテ青綠色ノモノニアリテハ頭ハ暗紫褐色、淡黄色ノ八字形大紋アリ頭楯ハ頭頂ノ$2/3$ノ長サアツテ灰白色點ガアリ、胴部ハ肥太シ圓筒形第5節ノ背面ニ1對ノ赤褐色ノ短キ角狀突起ヲ具ヘ、第5節及第11節ノ前半ニ暗紫褐色ニシテ不明瞭ナル灰白色點ヲ散布スル帶狀紋ガアリ、第11節ノモノニハ更ニ明瞭ナル2個ノ黄色點ガアル。各節ノ前緣及後緣ニハ不明瞭ナル2～3個ノ黄色點ガアル。體長40 mm内外。蛹、赤褐色ニシテ頭ハ圓ク、翅ハ第4腹節ノ後緣ニ達シ觸角ハ翅ト同長、胸背及腹部ニハ點刻ヲ密布シ第5節ノ前緣ノ兩側ニ短キ二重ノ横隆起線ガアリ、線ト線トノ間ニハ數個ノ凹點ヲ有ス。尾刺ハ1個ニシテ肥太シ扁平、先端ハ2叉ヲナシ、鋭シ。體長20 mm内外。

生　態　年數回ノ世代ヲ累ネ、幼蟲ハ葉ヲ喰害スルガ、未ダ大害シタコトガナイ。老熟スルト土中ニ入ツテ蛹化スル。冬季ニ於ケル蛹期間ハ43～60日ヲ要スル。蓖麻ノ他、茶樹、樟等ノ葉ヲ喰害スル。

分　布　臺灣、支那、印度、錫蘭、ビルマ、爪哇、ボルネオ、濠洲、ニユウギニヤ、西及南亞弗利加。

防除法　前種ニ準ズル。

33. ひらやまかのこが ***Syntomis germana hirayamae*** MATSUMURA

所　屬　鱗翅目　かのこが科

標　徵　成蟲、黒色、觸角ノ先端ハ白色、額ハ橙黄色、頸ハ黒色、中及後胸背ノ大紋ハ橙黄色、腹背ニハ8個ノ橙黄色帶アリ。前翅ニ5個ノ透明紋ヲ具ヘ、後翅ノ基部ニ透明紋アリ。前翅ノ長サ14～20 mm。本種ハきすぢたいわんかのこ (*S. perixanthia* HAMPSON) ニ甚ダ似テ居ルガ、きすぢたいわんかのこデハ頸ハ赤黄色、中胸ノ中央ハ黒色デ兩側ノ肩板ハ橙黄色、後胸背ノ前後兩端ニ各2個ノ橙黄色紋ヲ有スコトニヨツテ區別出來ル。又内地ニ產スルきはだかのこ (*S. germana mandarinia* BUTLER) トハ後翅第2脈ノ下側ニ於テ透明紋ガ著シク刳ラレテ居ルコトニヨツテ區別サレル。卵、淡黄色デ球形直徑1 mm内外。幼蟲、黒褐色ニシテ頭ハ赤褐色、體ニハ4對ノ疣狀隆起ガアツテ之ヨリ白色ノ短キ剛毛ヲ放射狀ニ出ス。體長25 mm内外。蛹、黄色、多數ノ黒點ヲ散布シ、翅ハ黒色條紋アリ。觸角、下唇及後肢ハ翅ト略同長、尾端ニハ多數ノ短キ鉤狀ノ尾刺ヲ具フ。體長15 mm内外。

生　態　年數回ノ世代ヲ累ネ、幼蟲ハ單獨性デ葉ノ裏面ニアツテ葉緣ヨリ喰害スル老熟スルト葉裏ニ絹糸ヲ網狀ニ張ツテ其上ニテ蛹化シ10日内外ニシテ羽化スル。成蟲ハ晝間飛翔シ花上ニ集リ交尾シテ居ルモノガ多イ。性不活潑デ卵ハ葉裏ニ卵塊トシテ數10粒ヲ1重に列ベ不正形ニ產下セラレル。蓖麻ニアリテハ稀ニ發見サレル程度デアルカラ其害ハ至ツテ少イ。蓖麻ノ他茶樹及柑橘等ヲ害スル。

分　布　臺灣、日本內地、朝鮮、アムール、ウスリー、中西及南支那、安南。

防除法　至ツテ少イ害蟲デアルカラ發見ト同時ニ捕殺スル。デリス劑、除蟲菊劑、ニコチン劑等ノ撒布モヨイ。

34. きすぢたいわんかのこ *Syntomis perixanthia* HAMPSON

所　屬　鱗翅目　かのこが科

標　徵　成蟲、黑色、觸角ノ先端ハ白色、額、頸及肩板ハ橙黃色、中胸背ハ黑色、腹背ニハ5個ノ橙黃色帶アリ。前翅ニ6個ノ透明紋ヲ具ヘ、後翅ノ基部ニ透明紋ガアル。前翅ノ長サ14～20 mm。本種ハひらやまかのこ (*S. germana hirayamae* MATS.) ニ似テ居ルガ、頸板ガ橙黃色デ中胸背ガ黑色デアルコトニヨツテ容易ニ區別スルコトガ出來ル。卵、幼蟲及蛹ハひらやまかのこニ似テ區別困難デアル。

生　態　ひらやまかのこト殆ド同樣デアル。蓖麻ノ他茶樹、柑橘及蕃石榴等ノ葉ヲ喰害スル。

分　布　臺灣、紅頭嶼、西及中支那。

防除法　前種ニ準ズル。

35. まへあかひとり *Amasacta lactinea* CRAMER

所　屬　鱗翅目　ひとりが科

標　徵　成蟲ノ頭、胸、腹部下面及翅ハ白色デ頭及前胸背ノ各後緣、前翅前緣ハ美麗ナル赤色、腹背ハ黃色デ各環節ノ前緣及側方ハ黑色デアル。前翅ノ長サ25 mm 內外。卵球形ニシテ淡黃色、直徑 1 mm 內外。百數十粒ヲ莖上又ハ葉上ニ1重ニ列ベテ楕圓形ニ產下スル。幼蟲、體ハ黑色、黑色ノ長毛ヲ密ニ叢生シ、背面ニハ褐色毛ヲ僅ニ混ジ、氣門ハ橙、脚ハ赤色デアル。體長45 mm 內外。蛹、黑褐色デ少シク紫色ヲ帶ビ腹背黃色、腹ノ基部ハ著シク縊レル、體長20 mm 內外。

生　態　年5回ノ世代ヲ累ネ、幼蟲ニテ越年スル。第1回ノ蛾ハ4月下旬ニ現ハレ第2回以下ハ6. 8. 10及12月ニ現ハル、卵ハ約5日內外ニシテ孵化シ、孵化シタ幼蟲ハ主トシテ葉裏ニアツテ葉ノ表面ノ表皮ヲ殘シテ喰スルガ、成長スルト主脈ノミヲ殘シテ葉片全部ヲ喰ス、活潑ニシテ甚ダ雜食性デ蓖麻ノ他各種蔬菜類ヲ害スル。蓖麻ニアツテハ苗時代ニ葉ヲ喰害スルガ共害ハ大ナルコトハナイ。老熟スルト地上ヲ盛ンニ步行シ、土塊、落葉等ノ下ニ袋狀ノ繭ヲ營ミ共表面ニ黑色ノ體毛ヲ多數附着セシメル。幼蟲期ハ夏季ニテ40日內外。蛹期ハ夏季ニテ12～13日デアル。

分　布　臺灣、日本內地、朝鮮、西及南支那、印度、セイロン、ビルマ、比律賓、爪哇、スマトラ、ニューギニヤ、濠洲。

防除法　蓖麻ニアツテハ共害ハ甚ダ稀デアツテ殆ド考慮スル程ノモノデナイ。孵化當時ノ幼蟲ハ葉ノ裏面ニ群棲シテ居ルカラ之ヲ葉ト共ニ摘取リ踏殺スコト。

36. はすもんよたう *Prodenia litura* FABRICIUS

所　屬　鱗翅目　やが科

標　徴　成蟲ハ中形ノ蛾デアル、體及前翅ハ黃褐色ニシテ黑褐色ヲ混ジ、前翅ノ中央ニハ白色又ハ灰白色ノ1條ノ幅廣イ斜帶ガアリ其他細線、雲狀紋等ガアル。後翅ハ白色デ半透明、淡紫色ノ光澤アリ周緣ハ暗褐色ヲ程シテヰル。前翅ノ長サ15～17mm。卵ハ暗黃色ノ鱗毛ニテ被ハレタ、帶狀又ハ長楕圓形ノ卵塊トシテ產附サレ、淡綠色、饅頭狀デ光澤ガアル。直徑0.5mm内外。幼蟲ハ頭部ヨリ胴部第3環節マデハ次第ニ太クナリ。第3環節以下ハ殆ド同大デアル。幼齡幼蟲ハ淡綠色デ第3～4節ノ中間ニ黑色橫紋ガアル。老齡幼蟲ハ色彩ノ變化多ク暗褐色、黑褐色、淡綠色ニ灰色ヲ帶ビタモノ等ガアル。而シ其特徵トシテ次ノ諸點ニヨツテ他種ト區別スルコトガ出來ル。頭ニ八形ノ白線ヲ有シ、第2～3節ノ背面ニ各1對ノ白色點及ビ第10～11節ノ背面ニ各1對ノ黑色ノ方形紋ヲ有スル。體長40mm内外。蛹ノ體ハ肥大シ圓錐形赤褐色ニシテ光澤ガアリ、尾端ニ2箇ノ刺狀突起ヲ有スル。體長40mm内外。

生　態　俗ニ夜盜蟲ト稱シ、蓖麻ノ他各種蔬菜、綠肥作物、煙草等ノ葉ヲ喰シ大害スル。特ニ高雄州下ニアツテハ田菁ニ異常大發生シテ大害ヲ及ボスコトガアル。又「パインアツプル」ガ綠肥畑ノ近クニアルトキ綠肥畑ニ發生シタ本幼蟲ガ「パインアツプル」ノ果實ヲ喰害シテ病菌ノ害ノ如キ奇形果實トナルコトガアル。本種ニ似タモノニたまなやが一名根切蟲ト稱スルモノガアルガ之ハ蟲眼鏡デ其ノ皮膚ヲ見ルト多數ノ小顆粒狀突起ヲ有シテ居ルガはすもんよたうニアツテハ其皮膚面平滑デアルカラ容易ニ區別スル事ガ出來ル。尙又たまなやがノ幼蟲ハ手掌内ニ握ルト暫時スルト逃ゲヤウトシテ指間ヲ咬ムガはすもんよたうニアツテハ咬ムコトハナイカラ之ニヨツテモ區別スル事が出來ル。卵ハ卵塊トシテ葉ノ表裏面ノ何レニモ產下サレ、卵塊面ニハ暗黃色ノ鱗毛ヲ覆フテ居ル。孵化シタ幼蟲ハ初メ卵ノ產下サレタ葉面ニ群棲シ反對面ノ表皮ヲ殘シテ喰スルガ成長スルト葉面ニ穴ヲ穿ツテ喰シ、第4齡以後トナルト主トシテ晝間ハ隱レ、夜間喰害スル、潜伏場所ハ土中、葉間、落葉下等デアルガ、葱ニアツテハ葉ニ穴ヲ穿チ其葉洞内ニ隱レル。性質ハ概シテ活潑デナイガ貪食デ且ツ極メテ雜食性デ90餘種ノ植物ヲ加害スルノデ殆ド本種ノ害ヲ受ケナイ作物ハナイト云フテモヨイ。幼蟲ハ老熟スルト土中3～9cmノ所ニ潜入シテ土窩ヲ作リ粗絹ヲ吐出シテ其中デ蛹化スル。成蟲ハ晝間ハ隱レ夜間出テ交尾產卵スル。年中各時代ノモノガ存シ、特ニ冬眠夏眠ノ現象ハ起コサナイガ、冬季ノ蛹期ハ殊ニ長ク平均52日間デ夏期ノ約6.5倍デアル。年8世代ヲ累ネ、卵期ハ冬期デ10日間、夏期デ3～4日間、幼蟲期ハ冬季53日間、夏期13日間、蛹期ハ冬季52日間、夏季8日間デアル。1世代ノ長サ卽チ卵ヨリ成蟲トナルマデノ日數ハ夏季30日内外。冬季110日内外デアル。幼蟲ハ5回ノ脫皮ヲ行ヒ、成蟲ノ壽命ハ1週間内外デアル。1匹ノ雌ノ總產卵數ハ平均974粒、最多1607粒、最少401粒デアル。本種ハ埃及ニテハ棉ノ大害蟲トシテ有名デ被害ノ甚ダシキ時ハ50%以上ノ損害ヲ蒙ルコトガアリ。印度、比律賓、爪哇ニテハ煙草、蓖麻、稻ノ害蟲トシテ著名デアル。

分　布　臺灣、日本内地、朝鮮、支那其他、亞細亞、阿弗利加、濠洲等ニ廣ク分布スル。

防除法　1.卵ノ捕殺ヲ行フコト.採卵ハ本蟲驅除上最モ效果的ニシテ埃及ノ棉栽培地ニハ之ヲ廣ク實施シテキル。 2.砒酸鉛又ハ砒酸石灰80〜120gヲ水20lニ溶解シタ液ヲ撒布スルコト.尚之ニ展着劑トシテ「カゼイン」石灰ヲ適宜加用スルヲ可トス。本劑ヲ撒布スレバ幼蟲ヲ毒殺スルガ一部幼蟲ハ之ヲ嫌忌シテ喰ハナイデ他ヘ逃亡スルカラ大發生ノトキハ此點ニ充分注意シ豫メ無被害圃場ヘノ移動ニ備ヘルコト。 3.幼蟲ノ幼齡ノモノハ葉ノ表面又ハ裏面ニ群棲シテ居ルカラ葉ト共ニ摘取リ殺スコト.成熟幼蟲ハ晝間ハ葉ノ間.根際ノ土塊ノ下.落葉下等ニ隱レテ居ルカラ之ヲ搜索シテ殺スコト。 4.蛹ハ土中ニ存スルカラ掘起シテ殺スコト。 5.中齡以上ノ幼蟲ハ移動シテ被害圃場ヨリ隣リノ無被害圃場ヘ侵入スルカラ.大發生ノトキハ被害圃ノ周圍ヲ幅及深サ各30cm内外ニ掘リ.掘上ゲタ土ハ被害地側ニ堆積シ無被害ノ地側斷面ハ垂直カ又ハ反對側ニ傾斜セシムルモノトス。更ニ此溝内ニ21〜24cmノ小穴ヲ掘リ置ケバ幼蟲ノ移動ノ際明溝ニ落下シ溝底匍匐中更ニ小穴ニ落チ遂ニ這ヒ出ルコトガ出來ナイカラ.其效果一層大デアル。 6.接觸劑デハ幼齡幼蟲ヲ殺スコトガ出ルガ.中齡以後ノモノハ中々殺スコトガ出來ナイカラ之ノ撒布ハ差控カヘタ方ガヨイ。

37. たまなやが *Agrotis ypsilon* ROTTENBURG

所　屬　鱗翅目　やが科

異　名　*Rhyacia ypsilon* ROTTENBURG

標　徵　成蟲ノ頭部ハ暗褐色.頸板ノ基部近クニ紫褐色ノ幅廣キ横紋ガアル。腹部ハ灰色.前翅ハ狹ク.黑褐色.外縁近クハ灰褐色.楔狀部ハ小形ニシテ黑線ヨリナリ.環狀紋ハ黑色卵形上半ハ不明.腎狀紋ハ黑色牙狀ニシテ鋭ク亞外縁線ノ2箇ノ黑色牙狀紋ト相對スル。後翅ハ白色半透明.翅脈及周縁ハ暗色.前翅ノ長サ20mm内外。卵ハ淡綠色.饅頭狀デ縱横ニ多數ノ細隆起線ガアル。直徑1mm内外。幼蟲ノ幼少時ハ黄綠色デアルガ.成長スルト黑褐色トナリ頭ハ暗褐色又ハ暗黄褐デアル。各環節ニハ多數ノ黑色微小ノ顆粒狀突起ヲ密布シ.氣門ハ黑色.體側及體ノ下面ハ暗黄灰色デアル。體長40mm内外。蛹ハ赤褐色.下顎ハ後肢ト中肢トノ中間ニ達シ.翅ハ後肢ト同長.中肢ハ後肢ヨリモ僅ニ短ク前肢ハ翅ノ半ニ達スル。尾刺ハ2本ヨリナル。體長22mm内外。

生　態　一般ニ根切蟲ト稱セラレ.各時代ノモノ年中存スルガ年6〜7回ノ世代ヲ累ネル樣デアル。卵ハ7〜20日ニシテ孵化シ.幼蟲ハ30日内外.蛹ハ15〜30日デ成蟲トナル。卵ハ食草ノ根邊.落葉又ハ地表等ニ1粒宛點々産下サレ.幼蟲ハ日中ハ隱レ夜間出テ盛ンニ喰害スル。甚ダ雜食性デ各種蔬菜.煙草.棉.「デリス」.蓖麻等ノ幼苗ニ大害スル。蓖麻ニテハ幼苗時代ニ莖ヲ喰切ラレルガ.成長シタ樹デハ殆ド其害ハナイ。老熟スルト地中ニテ蛹化スル。成蟲ハ晝間ハ隱レ夜間活動シ.燈火又ハ糖蜜ニ誘引サレル。

分　布　臺灣.日本内地.朝鮮.樺太.支那.其他南米ヲ除キ廣ク世界ニ分布スル。

防除法　1.幼蟲ハ晝間ハ土中ニ隱レ夜間出テ喰害スルカラ.夜間懷中電燈ヲ照シテ圃場ヲ巡視シ加害シツヽアル幼蟲ヲ捕殺スル。 2.早朝幼蟲ノ潜伏所ヲ搜索シテ捕殺

スル。3.被害甚ダシキハ砒酸鉛又ハ砒酸石灰液ヲ撒布スル。4.糖蜜ヲ以テ成蟲ヲ誘殺スル。

38. みつてんあしぶと ***Achaea janata*** LINNÉ

所　屬　鱗翅目　やが科

異　名　*Ophiusa melicerte* DRURY

標　徴　成蟲ノ頭胸部及前翅ハ淡褐色ニシテ前翅ニハ褐色ノ2横帶ガアリ後翅ハ黑色中央ニハ白色ノ1横帶ヲ有シ外緣ニ3箇ノ白色紋ヲ具フ。前翅ノ長サ30 mm内外。卵ハ成蟲ノ體ニ比シ割合ニ小形デ淡青綠色デ饅頭狀放射狀ノ隆起線ガアツテ頂點ノ周圍ニハ隆起線ヲ缺キ隆起線ノ基部近クニハ數箇ノ小顆粒狀突起ヲ有ス。直徑0.7mm。幼蟲ハしやくとりむし狀ノ步行ヲナス。體ハ褐色頭ハ黑色デ4箇ノ大キナ黃色點ガアツテ第4節ノ背面ノ間ニハ黑色點ガアツテ且ツ3箇ノ黃色點ヲ具ヘテ居ル。第11節ノ背上ニハ2箇ノ小突起ガアル。體長64 mm内外。蛹ハ暗褐色デ白色粉ヲ以テ覆ハレ葉ヲ捲イテ其中デ蛹化スル。體長48 mm。

生　態　年6～7回ノ世代ヲ累ネ卵期間ハ夏季ニテ5日内外幼蟲期間ハ夏季ニテハ20日内外冬季ニテハ30日内外蛹期間ハ夏季ニテ10日内外冬季ニテ30日内外デアル。卵ハ夜間蓖葉ノ裏面ニ1粒宛點々産下サレ孵化シタ幼蟲ハ尺取蟲狀ノ步行ヲナシ葉緣ヨリ喰シ成長スルト主脈ノミヲ殘シテ喰害スル。老熟スルト葉ヲ捲イテ其中ニテ蛹化スル蛹ハ蛹化後2～3日ヲ經過スルト白粉ヲ分泌シテ體ヲ覆フ。本島ニテ大面積ニ大發生シタコトハ聞カナカツタガ赤坂靜雄ノ談ニヨルト昭和14年6月ニ臺東ニテ三甲步(地名)ノ蓖麻園ニ大發生シテ葉及幼梢ヲ喰ヒ盡シ之ヲ全滅セシメ更ニ同年7月再ビ同所ニ大發生シタガ此時ハ早期ニ發見シタノデ砒酸石灰液ヲ撒布シテ驅除スルコトガ出來タ。臺北デハ小面積ニ10～12月ニ亘リ多數發生シテ大害ヲ及ボスコトガアル。印度及爪哇等ニテハ蓖麻ノ大害蟲トシテ有名デアル。敵蟲トシテハ本島カラハ小繭蜂科ノ1種ガ發見サレテ居ルガ印度カラハ姬蜂科ノ *Paniscus ocellaris, Henicospilus sp.* 寄生蠅科ノ1種小繭蜂科ノ1種等ガ知ラレテ居ル。加害植物ハ臺灣デハ蓖麻ノ他「カカオ」ノ葉ヲ食シ印度カラハ蓖麻ノ他 *Euphorbia pilulifera,* なんきんはぜ茶樹等ガ報告サレテ居ル。

分　布　臺灣琉球諸島屋久島支那印度其他亞細亞ノ熱帶地濠洲及阿弗利加等ニ廣ク分布スル。

防除法　1.幼蟲及蛹ヲ捕殺スルコト。2.「デリス」劑「ニコチン」劑除蟲菊劑砒酸鉛又ハ砒酸石灰ノ溶液等ヲ撒布スルコト。

39. ほそをびあしぶと ***Parallelia arctotaenia*** GUENEÉ

所　屬　鱗翅目　やが科

異　名　*Ophiusa algira* LINNÉ

標　徴　成蟲ノ體及翅ハ黒褐色,前翅ノ中央ニ1箇ノ白色横帶ガアリ,其外方ニ前緣ヨリ斜走スル白色帶ガアル。後翅ノ中央ニハ1箇ノ白色横帶ヲ具フ。前翅ノ長サ20mm内外。幼蟲ハしやくとりむし狀ノ步行ヲナシ體ハ稍々細ク第1腹脚ハ他ヨリ著シク小形デアル,みつてんあしぶとノ幼蟲ニ似テ居ルガ體ハ小形デ細ク頭部ノ白色紋ハみつてんあしぶとデハ4個デアルガ本種デハ2箇デアルコトニヨリ區別スルコトガ出來ル。體長60mm内外。蛹ハみつてんあしぶとノ蛹ニ似テ居ルガ小形デアルコト,下唇鬚ノ基部近クガ縊レテ居ルコトニヨツテ區別スルコトガ出來ル。體長20mm内外

生　態　年6〜7回ノ世代ヲ累ネ,幼蟲ハしやくとり蟲狀ノ步行ヲナシ,屢々みつてんあしぶとノ幼蟲ト混棲スル,蓖麻ノ葉ヲ喰スル狀態ハ全クみつてんあしぶとト同樣デアル。老熟スルト葉ヲ捲イテ其中デ蛹化スル。被害ノ程度ハ箇體數少ナク從テ其害極メテ輕少デアル。蓖麻ノ他,薔薇及たいわんやなぎ等ノ葉ヲ喰スル。

分　布　臺灣,日本内地,朝鮮,支那其他亞細亞,阿弗利加,歐洲等ニ廣ク分布スル。

防除法　前者ニ準ズル。

40. るりもんくちば ***Ischyja manlia*** CRAMER

所　屬　鱗翅目　やが科

標　徴　成蟲ノ頭及胸ハ暗赤褐色,腹部ハ暗褐色,前翅ノ翅頂ハ突出シ,中央ニ暗褐色ノ1横線アリ,基部ノ$^2/_3$ハ暗赤褐色,翅頂ヨリ内方ニ向ヒ不明瞭ノ灰褐色ノ斜帶アリ,中室及中室端ニ各1箇ノ黄褐色紋ヲ有シ後者ハ大デアル。雄デハ中室下ニ黒色ノ1縦紋ヲ有スルガ雌デハ之ヲ缺ク,後翅ハ暗褐色,中央ニ紫藍色ノ太キ横帶ヲ具フ。前翅ノ長サ45mm内外。幼蟲ノ頭ハ黄褐色デ褐色點ヲ撒布シ,胴部ニハ黄褐色ニ不規則ナル短黒線ヲ有シ,第4〜6節及第10〜11節ノ背面ニ小突起ヲ有シ,第5節及4對ノ腹脚ハ黒色ニシテ少シク藍色ヲ呈ス。體長60mm内外。

生　態　幼蟲ハ葉ヲ喰スルガ甚ダ稀ニ發見サレル程度デアツテ,老熟スルト地中ニ入ツテ蛹化スル。蓖麻ノ他,荔枝ノ葉ヲモ喰害シ,錫蘭ニテハこばていし屬(*Terminalia*),くす屬(*Cinnamomum*)等ノ葉ヲ喰スル。

分　布　臺灣,支那,印度,錫蘭,ビルマ,アンダマン,比律賓,爪哇。

防除法　みつてんあしぶとニ準ズル。

41. いちぢくぎんうはば ***Phitometra chalcytes*** ESPER

所　屬　鱗翅目　やが科

異　名　*Phitometra eriosoma* DOUBLEDAY

標　徴　成蟲ノ頭及胸ハ灰褐色,腹部ハ黄褐色,前翅ハ暗褐色ニシテ紫褐色ノ光澤ヲ有シ,基半部ハ黒褐色ヲ呈シ,中室下ニ2箇ノ銀色紋ヲ有ス。後翅ハ暗黄褐色ニシテ外緣ハ屢々暗褐色ヲ呈スル。前翅ノ長サ15mm内外。幼蟲ハ圓柱狀ニシテ頭部細ク尾端太シ,しやくとりむし狀ヲ呈シ,2對ノ腹脚ヲ具フ。淡綠色ニシテ背面ハ濃色,背線ハ白色デアル。體長40mm内外。蛹ノ背面ハ黒色デ腹面ハ黄白色,頭ハ圓ク腹背ニ小皺ヲ有

シ腹面ハ平滑、鉤狀ノ尾刺ヲ有ス。體長30 mm內外。

生　態　年5～6回ノ世代ヲ累ネ、幼蟲ハ葉裏ニアツテ葉緣ヨリ之ヲ喰スルカ又ハ葉ニ穴ヲ穿ツテ喰害スルガ蓖麻ニハ稀ニ發見サレ且ツ其箇體數少ナイ爲メ其害ハ甚ダ輕少デアル。老熟スルト葉ノ裏面ニ白色ノ薄繭ヲ營ミ其ノ中ニテ蛹化スル。蓖麻ノ他各種蔬菜類、苧麻、薄荷、亞麻等ノ葉ヲ喰スルガ是等ニテモ其ノ害ハ尠ナイ。

分　布　臺灣、日本內地、朝鮮、支那其他亞細亞、歐洲、濠洲、ニユージーランド、布哇、マダガスカル、阿弗利加等ニ廣ク分布スル。

防除法　みつてんあしぶとニ準ズル。

42. みつてんみどりりんが ***Tyana ornata*** WILEMAN

所　屬　鱗翅目　やが科

標　徵　成蟲ノ頭及胸背ノ前半ハ灰褐色、胸背ノ後半及前翅ハ青綠色、腹部及肢ハ灰色、觸角ハ糸狀ニシテ灰褐色、前翅ノ基部ハ灰褐色、外緣ノ下半部ニハ上方ガ叉狀ヲ呈シテ居ル大ナル灰褐色紋アリ。中央ニ5箇ノ灰褐色ノ點紋アツテ內2箇ハ甚ダ小形ニシテ中室ノ中央ニアツテ斜ニ並列シ、3箇ハ中室端ノ下側ト內緣ノ間ニ斜ニ並列ス、前緣、內緣及緣毛ハ灰褐色、後翅ハ灰白色デアル。前翅ノ長サ15 mm內外。(幼蟲ノ記載ヲ缺ク)

生　態　幼蟲ハ蓖麻ノ葉ヲ喰害スルガ其害ハ甚ダ稀デ、僅ニ2頭ヲ發見シタノミニ過ギナイ。本種ハ臺灣固有種デアル。

分　布　臺灣。

防除法　みつてんあしぶとニ準ズル。

43. まへぐろまひまひ ***Lymantria xylina*** SWINHOE

所　屬　鱗翅目　どくが科

標　徵　成蟲ノ體及翅ハ灰白色デアルガ、雌雄其ノ斑紋ヲ異スル。雌ハ腹部肥太シ基半部ハ赤色、後半ハ灰褐色、前翅ノ中央ニ淡褐色ノ橫帶ヲ有ス。雄ハ頸ガ赤色デ前翅ノ中央ニ1條ノ淡褐色ノ波狀橫線ヲ具ヘ、後翅ノ前緣ハ幅廣キ暗褐色ヲ呈スル。前翅ノ長サ雌40 mm內外。雄25 mm內外。卵ハ楕圓形又ハ長楕圓形ノ丘狀ノ卵塊トシテ產附サレ、其ノ表面ハ橙黃色又ハ灰褐色ノ鱗毛ヲ以テ覆ハル。1箇ノ卵ハ饅頭狀デ淡褐色、直徑1 mm內外デ200～1,000粒ヲ1塊トシテ樹枝面ニ產附サレル。幼蟲ノ體ハ黃褐色ニシテ紫褐色竝ニ黑褐色ノ斑點ヲ密布シ一見全體紫褐色ヲ呈スル、頭ニハ黑色ノ八字形紋ガアリ、體ニハ數箇ノ疣狀突起ガアツテ黑色剛毛ト黃褐色ノ軟毛トヲ叢生スル。體長40～50 mm。蛹ハ圓錐形ニシテ赤褐色、前胸背ノ前緣ニハ2箇ノ黑色楕圓形ノ大紋ガアル。體長20～30 mm。

生　態　年1回ノ世代ヲ累ネ、成蟲ハ6～7月間ニ羽化シ直チニ交尾產卵スル。卵ハ加害植物ノ枝ノ表面ニ長サ30～36 mmニ棒狀ニ長ク卵塊トシテ產附サレ、其ノ表面ハ橙黃色又ハ灰褐色ノ鱗毛ヲ以テ覆レル。此ノ卵ハ翌年ノ4月ニ至リ孵化シ幼蟲ハ5月下旬ヨリ6月上旬ニ結繭蛹化スル。繭ハ極メテ簡單デ葉間、樹枝又ハ樹幹ノ凹所ニ

10數本ノ暗褐色ノ網ヲ絹糸ヲ以テ張リ其ノ中央ニ上ツテ恰モ「ブランコ」ニ乘ツタ樣ナ恰好ヲナシテ蛹化スル.蛹期間ハ12日内外デアル。幼蟲ハ葉ノ表面又ハ裏面ニアツテ葉ヲ喰害スルガ晝間ハ主トシテ休止シ夜間攝食スル。間々相思樹,木麻黃等ニ異常大發生シテ大害ヲナスコトガアルガ苧麻デハ未ダ大害シタコトヲ聞カナイ。以上ノ植物ノ他茶樹,たいわんやなぎ,おほはまぼう等ノ葉ヲ喰害スル。本種ハ臺灣産ニヨツテ初メテ記載サレタモノデアツテ *Lymantria nigricosta* MATSUMURA ハ本種ノ異名デアル。敵蟲トシテハぶらんこやどりばへ *Eutachina japonica* TOWNS ガ幼蟲ニ寄生スルガ其ノ效果ハ僅少デアル。又卵ニハ卵蜂科ノ1種ガ寄生シ相等ノ效果ヲ擧ゲテ居ル。

分　布　臺灣,琉球諸島,屋久島。

防除法　1. 6～7月ニ産卵サレタ卵塊ヲ捕殺スルコト。2.幼蟲ハ砒酸鉛又ハ砒酸石灰ノ溶液ヲ撒布スルコト。3.幼蟲及蛹ヲ捕殺スルコト。

44. こしろもんどくが ***Notolophus australis posticus*** WALKER

所　屬　鱗翅目　どくが科

C. SWINHOE ハ Annals and Magazine of Natural History, xi (9), 1923 ニ *Orgyia* 屬ヲ先取權ニヨリ *Notolophus* 屬トナシ、*Dasychira* 屬ヲ *Orgyia* 屬ニ變更シタ。河田黨ハ日本昆蟲圖鑑ニ之ヲ採用シタ。而シ我々ハ Review of Applied Entomology ノ記者ニ從ヒ *Dasychira* ヲ *Orgyia* トセズ從來通リ *Dasychia* ヲ使用シ、*Orgyia* ヲ *Notolophus* トシテ使用スルコトニシタ。又或ル學者ハ *Orgyia* ヲ *Notolophus* トセズ,從來通リ *Orgyia* ヲ使用シテ居ル卽我國デハ松村博士,外國デハ STRAND 及 BRYSK 等デアル。SWINHOE ハ *posticus* ヲ *australis* WALKER ノ異名トナシ BRYSK ハ之ヲ *australis* ノ亞種トナシタ。著者ハ BRYSK 氏ニ從ヒ之ヲ亞種トシテ扱フコトニシタ。

標　徵　成蟲ハ雌雄全ク形狀ヲ異ニスル。卽チ雄ハ翅ヲ有シ、雌ハ全ク翅ヲ缺ク。雄ハ頭,胸及前翅ハ帶黃褐色,腹部及後翅ハ暗褐色,前翅ニハ3條ノ暗色ノ波狀横線ヲ有シ中央ニ不明瞭ノ灰白色ノ1條ノ横帶ガアリ,中室端ニハ暗色ノ腎狀紋ヲ具フ。前翅ノ長サ13mm内外。雌ハ全ク翅ヲ欠キ,體ハ肥太シテ長楕圓形,暗褐色ノ糸狀ノ鱗毛ヲ以テ被ハレ繭上ニ靜止スル。體長17mm内外。卵ハ白色球狀デ平滑,直徑1mm内外。母蛾ノ繭上ニ平均382粒,最多720粒ヲ卵塊トシテ産附サレル。幼蟲ハ夏季及冬季ニヨツテ體色ヲ異ニスル。夏季ニハ頭及胸部第1節ハ赤色,體ハ淡赤黃色ニシテ多數ノ毛ヲ叢生シ,胸部第1節ヨリハ1對ノ長キ黑色ノ角狀總毛ヲ前側方ニ出シ,尾節ヨリハ1束ノ長キ褐色總毛ヲ後方ニ出ス,腹部第1～4節ノ背面ニハ各1束ノ黃色直立毛總ガアリ暗赤色,體1～2節ノ側方ニハ各1條ノ白色總毛ヲ側毛ニ出ス。冬季ニアツテハ頭ハリ腹部第ハ暗赤色,胸部ハ暗褐色ヲ呈スル。體長22～30mm。繭,灰白色,俵狀デ薄ク葉裏,樹枝,樹幹ノ凹所,屈折部ノ下部,支柱等ニ結繭シ,僅ニ體毛ヲ附着ス,外部ヨリ明ニ蟲體ヲ透視スルコトガ出來ル。蛹ハ雄ガ紡錘狀,淡黃綠色,白色ノ長毛ヲ密生シ少シク扁平デ腹部第1～3節ノ背面ニハ各1箇ノ鈎狀ヲナセル小刺ノ密群ヲ有スル。體長11mm内

外。雌ハ長楕圓形,淡黄色デ白色長毛ヲ密生シ,翅ハ極メテ短ク第2腹節ニ達スル。體長15 mm内外。

生　態　年8～9回ノ世代ヲ累ネ,年中各時代ノモノ存シ大發生シテ大害ヲ與ヘルコトガアル。幼蟲ノ被害ノ最モ甚ダシイ時期ハ臺北ニテハ3～5月デアツテ6～8月ニハ著シク減少スル。卵期間ハ冬季17～27日間,夏季6～13日デ幼蟲期間ハ冬季ハ雄24～55日間,雌30～61日間,夏季ハ雄13～22日間,雌8～22日間デアル。蛹期間ハ冬季ハ雄22～25日間,雌15～17日間,夏季ハ雄13～22日間,雌8～22日間デアル。卽チ卵ヨリ成蟲トナルマデノ長サハ冬季81～89日間,夏季26～33日間デアル。1個ノ卵塊ノ卵ハ一齊ニ孵化シナイデ,孵化シ初メテヨリ全卵ガ孵化スルニハ平均4日間ヲ要スル。孵化シタ幼蟲ハ群棲シテ葉ノ裏面ニアツテ表皮及葉肉ヲ食シテ葉ノ表面ノ表皮ヲ殘スガ,成長スルト離散シテ葉緣ヨリ喰シテ葉脈ノミヲ殘ス,雌雄ニヨツテ脫皮回數ヲ異ニシ雄ハ3回,雌ハ4回ノ脫皮ヲ行フ關係上雌ノ幼蟲ハ雄ノ幼蟲ヨリモ大形デアル。老熟スルト葉表ニアツテ葉ヲ2～3枚綴リ,又ハ枝,樹幹ノ凹ミ,屈折部ノ下面,支柱等ニ結繭スル。甚ダ雜食性デ蓖麻ノ他茶樹,柑橘,荳科植物共他多クノ有用作物及觀賞用植物ヲ害スル。

分　布　臺灣,琉球諸島,支那共他熱帶亞細亞及濠洲ニ廣ク分布スル。

防除法　1.繭上ノ卵塊ヲ捕殺スルコト。2.幼蟲ハ初齡マデハ群棲シテキルカラ,ソレヲ葉ト共ニ摘取リ殺スコト。3.「デリス」劑,除蟲菊劑,「ニコチン」劑又ハ砒素劑等ヲ撒布スル。

45. みかんどくが *Dasychira mendosa* HÜBNER

所　屬　鱗翅目　どくが科

異　名　*Olene mendosa* HÜBNER, *Orgyia mendosa* HÜBNER

本種ハ*Olene*屬トシテ長イ間使用サレテ居タガ*Dasychira*屬トシテ廣ク用ヒラレル樣ニナツタノデ本文デハ之ヲ採用スルコトニシタ。尙*Dasychira*屬ハSWINHOE (1923)ニヨリ*Orgyia*屬ニ變更サレ,河田黨モ日本昆蟲圖鑑ニ之ヲ襲用シテ居ルガ,我々ハSTRAND及BRYSKニ從ヒ從來ノマヽ之ヲ*Dasychira*屬トシテ使用スルコトニシタ(前節こしろもんどくがノ部參照)。

標　徵　成蟲ハ雌雄ノ形態ヲ異ニス。雄ノ頭及胸ハ淡褐色,腹部第2節背上ニハ黑褐色ノ直立毛塊ヲ有ス,前翅ハ灰褐色,基部近クニ黑褐色ノ弧狀橫帶ヲ具ヘ共ノ內側ニ黃褐色ノ圓形ノ大紋ガアル。後翅ハ淡黃色デ無紋。前翅ノ長サ13～15 mm内外。雌,頭及胸ハ淡褐色,腹部第2節ノ背上ニ黑褐色ノ直立毛塊ヲ有スルコトハ雄ト同樣デアル。雄ト異ナル點ハ體ハ大形ニシテ腹部太ク前翅ハ茶褐色デ頂端ハ長ク突出シ,外緣ハ少シク刳ラレ,前緣ノ$^2/_3$ハ灰白色,中央ノ基半部ニ黑褐色ノ縱帶ヲ具フ。前翅ノ長サ25 mm内外。卵ハ球形,上面ノ中央部少シク凹ミ,下半ハ白色デ上半ハ淡黃色,中央ノ凹所ノ周圍ハ白色デアル,直徑0.7 mm内外。幼蟲ノ頭ハ赤色,胴部ハ黑色デ灰白色ノ小點ヲ霜降リ狀ニ密布シ且ツ白色毛ヲ密生ス,各節ノ背面ニハ6箇ノ赤色點ヲ有ス。第1節ノ前側方ヨリハ1對,第8節ヨリハ1束ノ長キ角毛狀總ヲ出ス。第4～7節ノ背面ハ各1束ノ淡黃色ノ直立毛總ヲ,第4節ノ側面ヨリハ白色,第5節ノ側方ヨリ黑色毛總ヲ各1束宛側方ニ出ス。體長35 mm内外。繭ハ非常ニ薄ク淡黃色デ不規則ナル楕圓

形ヲ呈シ外面ニ黒色毛ヲ附着シ葉ノ表面ニ結繭スル。蛹ハ紡錘狀,黒褐色,胸背ニハ著シク短毛ヲ生シ,第2～4腹節ノ中央ニハ黄色ノ短刺ヲ密生スル。尾刺ハ鈎狀ヲナシテ居ル。體長13～20mm內外。

生　態　年8回ノ世代ヲ累ネ,年中各時代ノモノ存シ,幼蟲ハ年中加害スル。臺北デハ卵期間ハ4～5月デ11日間,5～7月デ4～7日間,幼蟲期ハ2～6月デ27～29日間,6～7月デ14～17日間デアツテ1世代ノ長サ4～8月デ34～46日間デアル。成蟲ハ日中ハ隱レ夕刻ヨリ活動ヲ始メ,樹枝上又ハ葉裏ニ200～300粒ノ卵ヲ不規則ニ1重ニ產下スル,孵化シタ幼蟲ハ初メ群棲スルガ成長スルト離散シテ葉ノ表面ニアツテ葉緣ニ沿フテ喰害シ老熟スルト葉間ニテ結繭スル未ダ大發生シテ大害シタコトヲ聞カナイ。幼蟲ハ雜食性デ蓖麻,茶樹,柑橘,相思樹,玉蜀黍,豇豆,棉,甘藷,さるすべり,くろたらりや,苧麻等ノ他多數ノ植物ヲ加害スル。

分　布　臺灣,支那,印度其他熱帶亞細亞及濠洲ニ分布スル。

防除法　前種ニ準ズル。

46. ももどくが *Pseudodura dasychiroides* STRAND

所　屬　鱗翅目　どくが科

幼蟲ハ體灰白色デ白色長毛ヲ密生シテ居ルノデ一見シテ他ト容易ニ區別スルコトガ出來ル。臺灣固有種デ且ツ本種ヲ以テ本屬ガ創設サレタモノデ現在本屬ニ入ルモノハ只本種一種ノミデアル。

標　徵　成蟲ハ雌雄色彩及形狀ヲ異ニス。雄ハみかんどくがニ極メテ似テルガ腹背ノ基部ニ直立セル毛塊ヲ缺クコト、前翅ノ基部(前中線)ニ前緣ヨリ後緣ニ達スル太イ黒色橫帶ヲ缺クコトニヨツテ區別スルコトガ出來ル。雄ノ體及翅ハ暗褐色,前翅ニハ黒褐色ノ橫短線ヲ粗ニ撒布シ其外側ニハ不明瞭ナル褐色點ヲ有ス,基部ニハ1箇ノ褐色ノ大形圓紋ヲ具ヘ其周圍ハ黒色,後翅ハ暗褐色デアル。前翅ノ長サ15mm內外。雌ノ體及翅ハ灰白色,腹部ハ肥太シ,前翅ハ細長ニシテ翅頂ハ突出シ,外緣ハ刳ラレテ居ナイ。翅頂ヨリ基部ニ達スル1條ノ暗褐色ノ縱帶ガアツテ,基部ハ濃色デアル。前翅ノ長サ23mm內外。卵ハ淡黄色,上面ハ淡黄褐色デ少シク凹ミ,盃狀ニ近ク上面ハ廣ク下面ハ次第ニ細イ,直徑1mm內外。幼蟲ハ白色長毛ヲ密生シ,頭ハ黄褐色,胴部ハ灰白色,第1節ニハ總狀毛ヲ前側方ニ出ス。第4～7節ノ背面ニハ黄褐色ノ直立毛束ヲ有シ,第4～6節ノ背面ハ黒色デアル。體長40mm內外。繭ハ二重ヨリナリ外側ノモノハ白色ニシテ甚ダ薄ク白毛ヲ附着シ,內側ノ繭ヲ透視スルコトガ出來ル。內側ノ繭ハ楕圓形ニシテ稍厚イ。蛹ハ紡錘狀ニシテ灰白色,腹部第1～3節ニハ黄白色ノ短毛塊ガ圓形ニ生シ尾刺ハ鈎狀ヲナシテ居ル。體長8mm內外

生　態　年7～8回ノ世代ヲ累ネ,年中各時代ノモノ存シ,幼蟲ハ年中加害スル,卵期ハ夏季ニテハ9～12日,冬期ニテ12日內外,幼蟲期ハ夏期ニテ30日內外,冬季ニテ60日內外。蛹期ハ夏季ニテ6日內外,冬季ニテ7日內外デアル。1世代ノ長サハ夏季ニテ50日,冬期ニテ80日內外デアル。羽化シタ雌ハ一般ニ飛翔シナイデ繭上ニ靜止シ雄ノ飛

來ヲ待ツテ交尾產卵スル,卵ハ繭ノ近クノ葉裏ニ平タク不規則ニ1箇所ニ400～500粒產下サレ孵化シタ幼蟲ハ初メ群棲シテ居ルガ間モナク離散スル,成長シダ幼蟲ハ常ニ葉裏ニアツテ葉縁ヨリ喰害スル,老熟スルト葉裏ニ結繭スル。未ダ大發生シタコトガナイ,常ニ見受ケラル丶普通種デアルガ個體少ナキ爲メ其ノ害ハ至ツテ輕少デアル。雜食性デ蓖麻ノ他,茶樹,柑橘,棉,紫蘇,其他多數ノ作物ヲ害スル。

分　布　臺灣。

防除法　こしろもんどくがニ準ズル。

47. はぐろきどくが *Porthesia scinthelans* WALKER

所　屬　鱗翅目　どくが科

異　名　へりみつもんどくが

幼蟲ハたいわんきどくがニ甚ダ似テ居ルガ背面ノ黃色縱帶內ニ赤色縱線ヲ缺クコトニヨツテ容易ニ區別スルコトガ出來ル。

標　徵　成蟲ノ頭ハ橙黃色,胸,腹及前翅ハ暗褐色デ腹部末端ハ黃色,前翅ニハ暗褐色鱗毛ヲ散布シ外縁ニハ橙黃色ノ大ナル3紋ヲ有スル,後翅ハ雄デハ暗褐色デ外縁ハ橙黃色,雌ハ全體橙黃色デアル。前翅ノ長サ15 mm內外。卵,淡黃色ニシテ球形直徑0.8 mm內外。幼蟲ノ頭ハ黑色,體ハ暗褐色ニシテ第5～9節ノ背面ノ中央ニ橙黃色ノ大キナ縱帶ガアリ,脚ノ基部近クニハ橙黃色ノ縱帶ト赤色ノ疣狀隆起ヲ有ス。體長30 mm內外。蛹ハ短大デ黃褐色,腹背ニハ黃褐色ノ絨氈樣毛ヲ密生シ且ツ2個ノ楕圓形隆起ヲ左右ニ並列シ,尾刺ハ鈎狀デ數本ヨリナル。體長12 mm內外。

生　態　年5～6回ノ世代ヲ累ネ幼蟲ハ單獨性デ葉面ニアツテ葉縁ヨリ喰シ,老熟スルト葉ノ間ニ暗褐色ノ繭ヲ營ミ其中ニテ蛹化スル,成蟲ハ葉面ニ卵塊ヲ紐狀ニ長ク產附シ其表面ハ黃色ノ鱗毛ヲ以テ被ハレル。幼蟲ハ雜食性デ蓖麻ノ他,茶樹,柑橘,棉,亞麻等ノ葉ヲ喰スルガ其害ハ至ツテ輕少デアル。昭和9年ノ6～7月ニ高雄州恒春郡恒春街及墾丁ニテ夜間成蟲ノ大群ガ燈火ニ飛來シ其鱗毛ノ爲メ人體ノ皮膚ニ著シク疼痛ヲ起サシメ困惑セシメタコトガアル。本種ハ我國デハ本島ノミニ產スルガ,熱帶亞細亞ニ廣ク分布シ,外國デハ蓖麻ノ他,「マンゴー」,「アンバリヘンプ」一名「ケフナ」(Gogu: *Hibiscus cannabinus*), Rubberflower,「バニラ」(Vanilla),「サンヘンプ」(Sun-hemp), 亞麻 (Linseed), 樹豆 (Redgram),「キヤベツ」,棉,「オクラ」,刺桐屬 (Dadap, *Erythrina lithosperma*),「カウピイ」(Cowpea), 大豆(Soy beans), あぶらきり (*Aleurites*), きんきじゆ (*Pithecolobius*), ふともも屬 (*Eugenia*) 田菁(つのくさねむ) (*Sesbania*), 等ノ多數ノ植物ガ判明シテ居ル。

分　布　臺灣,支那,印度,ビルマ其他熱帶亞細亞。

防除法　こしろもんどくがニ準ズル。

48. たいわんきどくが *Porthesia taiwana* SHIRAKI

所　屬　鱗翅目　どくが科

異　名　*Porthesia macrophura* STRAND

本種ハ臺灣產ニヨツテSTRANDガ *P. macrophura* トシテ發表サレタモノデアルガ,先取權ニヨツテ *taiwana* トスベキコトハ既ニ發表シタノデアルガ,BRYSKハ其目錄ニ之ヲ別種トシテ揭ゲテキルノハ誤リデアル。本種ハ臺灣ニテハ極メテ普通デ且ツ甚ダ雜食性デ多數ノ植物ガ知ラレ,蓖麻ニテハ往々異常大發生シテ大害ヲ及ボスコトガアル。幼蟲ハ葉ノ外花蕾及果實等ヲ好ンデ食シ,又其毛ハ甚ダ有毒デ是ガ人體ノ皮膚ニ附着スルト甚シイ疼痛ヲ感ジ且ツ腫レ上ル。

標　徵　成蟲ノ體及翅ハ全體黃色,前翅ノ中央ニハ不明瞭ナル2條ノ白色橫線ガアル。前翅ノ長サ12～16mm。卵ハ淡黃色デ球形,直徑0.8mm內外。20～80粒ヲ2列ニ紐狀ニ長ク產附サレ黃色ノ鱗毛ヲ以テ被ハレテ居ル。幼蟲ノ頭ハ褐色,胴部ハ黑色,胸背及體側ニ美麗ナル赤色點ヲ有シ,第6～10節ノ背面ニハ橙黃色ノ太キ縱帶ガアツテ共中央ニ1條ノ縱線ヲ有ス。體長24mm內外。蛹ハ短大デ紡錘狀,光澤アル淡黃色デ背面ノ中央ニハ赤色ノ1條ノ縱線ガアリ,尾刺ハ鈎狀ヲナシ數本ヨリナル。體長12mm內外。繭ハ黃褐色デ楕圓形,樹枝,葉間,樹幹等ノ間隙ニ營マレ,黃褐色ノ毛ヲ附着シテヰル。

生　態　年8～9回ノ世代ヲ累ネ,各時代ノモノ年中存シ,幼蟲ハ休眠スルコトナク年中加害スル。卵期ハ夏季ニテ3～10日,冬期ニテ10～19日,幼蟲期ハ夏季ニテ13～18日,冬季ニテ40～55日,蛹期ハ夏季ニテ8～10日,冬季ニテ15～19日デ1世代ノ長サハ夏季24～34日,冬期65～83日デアル。成蟲ハ夜間活動シテ交尾產卵スル。卵ハ葉ノ裏面ニ紐狀ニ長ク產下サレ黃色ノ鱗毛ヲ以テ被ハレテ居ル。孵化シタ幼蟲ハ葉裏ニ群棲シ,裏面ノ表皮ト葉肉ヲ食シ表面ノ表皮ノミヲ殘ス,3齡以後ニナルト離散シ葉緣ヨリ喰スルガ,又好ンデ花蕾及果實ヲ喰スル。幼蟲發生ノ最盛期ハ6月デ,往々大發生シテ大害ヲスルコトガアル。

分　布　臺灣,沖繩本島。

防除法　こしろもんどくがニ準ズル。

49. しんじゆさん ***Philosamia cynthia pryeri*** BUTLER

所　屬　鱗翅目　やままゆが科

標　徵　成蟲ノ體及翅ハ綠褐色,腹背ノ各節ニハ各5個ノ白色毛塊ヲ具フ,前翅ノ翅頂ハ突出シテ彎曲シ基部近クニく字形ノ白帶アリ,中央ニ不透明ノ弦月形紋ガアツテ上半ハ白色,下半ハ黃色其外方ニ赤色ヲ帶ビタ白色橫帶ガアリ,翅頂近クニ1個ノ眼狀紋ガアル。後翅ノ色彩ハ前翅ト稍似テ居ル。前翅ノ長サ60mm內外。卵,卵形デ淡黃色デアル。長徑2mm內外。幼蟲ハ淡綠色ニシテ白粉ヲ裝ヒ各節ニ6個ノ青色ヲ呈シタ肉狀突起ガアツテ其ノ先端ニ1～2個ノ短刺ト2～3本ノ剛毛ガアル。頭及脚ハ黃色,脚ノ基部ハ青色。體長70mm內外。蛹ハ赤褐色ニシテ下顎ハ前肢腿節ヨリモ短ク觸角ハ前肢腿節ト同長,胸部及腹部ニハ縮緬狀ノ橫皺ガ多ク,腹部ニハ點刻ヲ缺キ,尾端ハ急ニ細クナリ顆粒狀突起ヲ撒布シ其末端密デアル,尾刺ヲ缺ク。體長22～28mm。

生　態　年3回ノ發生デ第1回ノ蛾ハ4月上中旬,第2回ノ蛾ハ6月下旬頃ヨリ7

月上旬第3回ノ蛾ハ9月中下旬ヨリ10月上旬ニ出ル。第3回ノ幼蟲ハ11月ニ結繭シテ蛹ニテ越年スル.幼蟲ハ幼齢ノトキハ群棲シテ葉緣ヨリ喰シ,成長スルト分散シテ單獨性トナリ葉柄ノミヲ殘シテ葉ヲ喰スルガ未ダ大發生シタコトガナク且ツ其個體モ僅少デ稀ニ發見サレル程度デアルカラ從ツテ全體的カラ見テ其害ハ殆ンド考慮スル程ノモノデナイ。幼蟲老熟スルト葉ヲ捲イテ黃褐色又ハ暗褐色ノ楕圓形ノ繭ヲ營ミ懸垂シテ其中ニテ蛹化スル。蓖麻ノ他なんきんはぜ,しまさるすべり,ぬるで等ノ葉ヲ喰スル。昭和13年2月23日ニ當農業試驗所ニテハ絹糸ヲ得ル目的ヲ以テ印度ヨリ蓖麻蠶 (Eri silk worm: *Philosamia cynthia ricini* BOISDUVAL) ノ輸入ニ始メテ成功シ,本島ニ於ケル新產業トシテ勃興スルニ至ツタ。

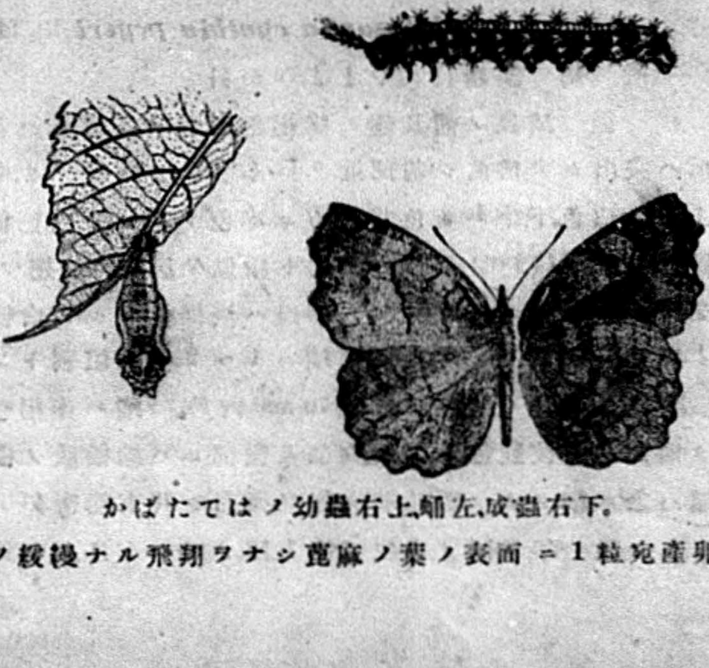
分　布　臺灣,日本內地,朝鮮,滿洲國,支那,印度其ノ他南亞細亞ニ廣ク分布スル。

防除法　1.幼蟲ハ稀ニ發見サレルカラ幼蟲及蛹ヲ發見次第捕殺スレバヨイ。

50. かばたては ***Ergolis ariadne pallidior*** FRUHSTORFER

所　屬　鱗翅目　たてはてふ科

標　徵　成蟲翅ハ赤褐色ニシテ4翅共ニ5條ノ波狀橫線ヲ有シ,翅頂近クノ前緣ニ1箇ノ白色點アリ,外緣ハ鋸齒狀ヲナシ緣紋ハ白色デアル。前翅ノ長サ30mm內外。卵淡綠色ニシテ卵形,頂端ハ扁平ニシテ平滑,側方ニハ點線ヨリナル紡射狀線ヲ有シ,之ニ多數ノ白色長毛ヲ生ズ。高サ1mm內外。幼蟲全體黑色ニシテ多數ノ黑色刺狀突起ヲ有シ,胸部第3節及腹部第1～7節ノ背面ニハ黃綠色ノ太キ1條ノ縱帶アリ此縱帶ヲ擴大鏡デ見ル時ハ各節1箇ノ圓紋ト4箇ノ橫紋トヨリナル.胸部ノ側方ニハ1條ノ黃綠色ノ縱帶ヲ有シ,腹部側方ニハ3條ノ黃綠色ノ斜線アリ頭ニハ小刺ヲ有スル1對ノ長キ刺狀突起アツテ,額ニハ黃色及黑色ノ多數ノ小刺ヲ具フ。胴部ノ小刺ヲ有スル刺狀突起ハ黑色ニシテ其基部ハ赤色ヲ呈スル.胸部第1節ニハ5對ノ小刺ノ無キ刺狀突起ガアリ,第2節以下ニハ小刺ヲ有スル3對ノ刺狀突起アリ,尾節ニハ小刺ヲ有スル1對ノ刺狀突起ヲ有ス。脚ハ體ト同色。體長30mm內外。蛹淡綠色ニシテ,胸部ハ稍扁平,翅ハ著シク隆起シ稍中央ニ於テ著シク縊レル,中胸背ノ中央及側方ハ隆起ス.體長22mm內外。



かばたてはノ幼蟲右上,蛹左,成蟲右下.

生　態　臺灣ニアツテ西部ニテハ中南部卽チ大安溪以南ニ棲息シ東部ニテハ花蓮港,臺東ノ兩廳下ニ產スル.臺北及新竹兩州下カラハ現在ノ處未ダ發見サレテ居ナイ樣デアル。成蟲ハ低ク且ツ緩慢ナル飛翔ヲナシ蓖麻ノ葉ノ表面ニ1粒宛產卵

シ幼蟲ハ葉ノ裏面ニアツテ葉ニ穴ヲ穿ツテ喰害スル。臺東地方ニアツテハ蓖麻ノ幼少時代ノ大害蟲デアルガ其他ノ地方ニアツテハ其害ハ少イ、老熟スルト葉裏ニ懸垂シテ蛹化スル年數回ノ世代ヲ行ヒ幼蟲ハ殆ンド周年見受ケラレル。幼蟲期間ハ夏期ニ於テ30日内外デアル。

分　布　臺灣南支那印度、ビルマ泰國錫蘭比律賓其ノ他馬來諸島。

防除法　1.成蟲ハ捕蟲網ニテ捕殺シ幼蟲及卵ハ赤手ニテ捕殺スルコト。2.除蟲菊劑、デリス劑砒酸鉛又ハ砒酸石灰液ヲ撒布シテ驅除及豫防ヲ行フコト。

51. おほすなむぐり *Gonocephalum pubens* MARSEUL (第三圖版第1～12圖)

所　屬　鞘翅目　ごみむしだまし科

異　名　すなごみむしだまし、おほすなもぐり

標　徵　成蟲體一樣ニ暗黑色ヲ呈スルガ觸角及肢ハ稍々赤褐色ヲ帶ブ。上面ハ顆粒ヲ撒布シ黃褐色ノ短毛ヲ粗生スル頭部ハ小形頭楯ノ前緣ハ深ク三角形ニ切レ込ミ眼ノ前方ニ於テ側方ニ著シク展張ス。前胸背ノ前緣ハ弧狀ニ刳ラレ前緣角著シク突出シ側緣ハ稍々彎曲シテ丸味ヲ帶ビ後緣ハ波狀ヲ呈ス。翅鞘ノ背面ニハ8個ノ縱條溝ヲ印シ其ノ中ニ粗大ノ點刻ヲ配ス。肢ハ鮫肌狀ノ粒刻ヲ被ル。體長11～12mm内外アリ。幼蟲體圓筒形ニシテ乳黃褐色ヲ呈シ光澤アリ頭部及胸環節ハ稍濃色體ノ後半ハ内臟透キテ暗色ヲ呈シ、尾節ハ黃白色前胸前緣各胸節及腹節ノ第7節ヨリ第8節迄ノ背板後緣ハ明ラカニ淡褐色ノ橫帶ヲ呈ス毛ハ黑褐色頭部ハ胸幅ヨリ稍々幅狹ク頭楯ト前額トノ縫合部ハ暗褐色ヲ呈ス。觸角ハ大顋ノ直後ヨリ出ズ第4節ハ微小ニシテ末端ニ1毛ヲ生ズ觸角ノ後方頰部ニハ長短ノ褐色毛ヲ生ズ前頭縫合線ハ顱頂縫合線ト共ニ稍々Y字形ヲ呈ス。前額ノ前緣頭楯ト接スル部ニ1對ノ毛ヲ生ズ頭楯ハ前方狹搾シ2對ノ毛ヲ生ズ上唇ハ頭楯ヨリ稍々廣ク上面中央ニ著シキ先太ノ1對ノ棘毛ト外緣ニハ之ヨリ稍々小サキ1對ノ剛毛ヲ有シ前緣ニ3對ノ毛ヲ生ズ大腮ハ短大ニシテ黑褐色ヲ呈シ側隆上ニ1對ノ棘ト2～3本ノ毛ヲ生ズ小腮ハ外葉端ニ2箇内葉内側ニ2列(各列7～8箇)ノ棘毛ヲ生ズ下唇ハ長形ニテ莖節ニ長毛2本ヲ生ジ下唇鬚ハ2節ヨリナリ第2節ハ甚ダ小ナリ。兩鬚間背面ニ2毛ヲ生ジ亞腮ハ後方幅廣ク、後緣直線狀ヲ呈シ長毛ヲ粗生セリ。胸節背板ノ中前胸ノソレハ最長大ニシテ中後胸ハ畧々同大ニシテ前胸ヨリ小ナリ前胸ニハ前後緣共廣キ濃色帶アリ、中後胸ニハ前緣ノモノヲ缺除ス。中胸側部前方ニ1對ノ氣門アリ。胸脚ハ前胸脚最長大ニシテ中後胸脚ハ之ヨリ遙カニ小ナリ基節ハ最大ニシテ細毛ヲ粗生ス。轉節ニハ下緣ニ2棘毛ヲ生ジ腿節ニハ其下緣ニ前胸脚ニ5本中胸脚ニ4本後胸脚ニ3本ノ棘毛ヲ生ジ脛節ニハ其下緣ニ各3棘毛ヲ生ジ跗節ハ爪狀ヲナシテ尖銳其基部ニ1～2本ノ棘毛ヲ生ズ、又腿節及脛節ノ側部ニモ各2棘毛ヲ生ゼリ。腹環節ハ9節ヨリナリ後方稍々細マリ末節ハ小形ニシテ三角形ヲ呈シ前緣環節ヘ著シク嵌レル。各節背板ハ側膜ニヨリテ腹板ト判然分タレ滑澤ニシテ無毛ナリ。尾節ハ後端V字形ニ尖リ外緣ニ20數箇ノ

棘毛ヲ生ジ、背腹面ニハ長毛ヲ粗生セリ、肛門ハ第9節下面ノ基部ニ近ク開口シ其部ニ1對ノ顯著ナ肉隆狀附屬器アリ。蛹、體黃白色ヲ呈シ眼部ハ淡紫色、羽化前ニハ褐色ヲ呈スルニ至ル。前胸背板ハ頗ル大形ニシテ背面隆起シ頭部ハ其ノ前下面ニ隱ル、頭楯前緣ハ頗ル深ク凹入シ上唇ハ三角形ヲ呈シテ細長シ、觸角ハ眼ノ前方ノ隆緣部ノ下面ヨリ發出シ前、中脚ノ後背部ニ横タハリ棍棒狀ヲ呈シ中脚端ニ達セリ。大腮ハ著大ニシテ末端褐色ヲ呈シ小腮鬚ハ末端膨大シテ稍々三角形ヲ呈セリ。脚ハ頗ル大形ニシテ腿節端ハ體ヨリ著シク外方ニ出デ前脛節ハ中腿節ノ基部ヲ殆ド蔽ヘリ。後脚ハ翅鞘下ニ隱レ腿節端、脛節基部及跗節ノ大部分ヲ現ハスニ過ギズ翅鞘端ハ尖リ表ニハ明カニ縱線ヲ印ス。後翅ハ殆ド翅鞘下ニ隱レ僅カニ末端ヲ現ハス過ギズ腹節ハ9節ヨリナリ。背板ハ第7節迄明ラカナレド第8節ハ頗ル小形、第9節端ニ1對ノ肉狀突起ヲ出ス。腹板ハ第7節三角形ニシテ大キク、第8節ハ頗ル小ナリ。腹部ノ第7節迄ノ側部ニハ葉片狀ノ突起アリ、之ニ2〜3本ノ毛ヲ生ズ、但第7節ノモノハ小ナリ。

生　態　(室內觀察)老熟シタ幼蟲ハ乳黃色ヲ呈シ、體彎曲セリ。土窩內ニ靜止ノ後期ニハ翅鞘部ヲ形成シテ胸部ハ膨大シ頭部ノ前額及顱頂縫合線ヨリ前、中、後胸ノ正中線裂ケテ蛹體ヲ脫出ス、脫皮ノ際ハ幼殼ノ內壁ヲ尾端ノ2突起物ニテツキテ自體蠕動シ前方ニ突キ進ミ此ノ間約5分ナリ。蛹化當時ハ白色ニシテ眞直ニ體ヲ伸シ氣門及尾端ノ突起端ノミ淡褐色ヲ呈ス。後2〜3分間ニシテ蛹固有ノ色彩ヲ呈スルニ至ル。幼蟲老熟期ハ凡ネ3月中旬ニシ4月ハ殆ド蛹化期ニテ5月ニ入リテ成蟲ノ羽化出現ヲ見ルヲ一般トス。1937年2月8日臺南州車路墘蔗園ニテ採集セル本種ノ幼蟲292頭ニ就キ同年3月15日調査セルニ蛹10、老熟幼蟲40、最終齡幼蟲238、未熟幼蟲4ナリキ、幼蟲ヲ採集シ之ヲ飼育シテ蛹ノ期間ヲ見タルニ15例平均化蛹前靜止期間4〜6日ヲ要シ蛹期間18〜21日ヲ要セリ。(圃場調査)本種ハ最初臺灣ニ於テ甘蔗ノ害蟲ト認メラレ其ノ發生被害地トシテ臺北、彰化、新化、車路墘、北港、安平、臺南、橋仔頭、高雄、鳳山、六塊、里港、屛東等ニ於ケル各蔗園ガ擧ゲラレル。幼蟲ハ腐植物質ヲ好ミ土中ニ潜入シテ生活ヲ爲シ甘蔗苗ノ芽及兩切口ヨリ喰入リ加害スル、成蟲ハ同ジ腐植物質ヲ常食トシ肥料トシテ施サレタばかすヲ食シ又落下シタ臺灣棟ノ果實等ヲ食スルモノガ多イ。甘蔗ノ外ますくめろん、西瓜等ノ根及地ニ接セル果皮等ニ加害シ、又馬鈴薯畑ニ發生シ地表直下ノ莖部ニ蝟集シ其ノ部分ヲ咬食加害スル(彰化市牛稠子字山脚、昭和14年1月31日)事ヲ認メ、一方玉咲つづらふぢノ圃場ニ發生シ新根嫩芽ヲ喰害シタ、之ハ隣接地ノ甘蔗收穫ト同時ニ被害ヲ見一株ニ蝟集セルモノ成蟲17頭ヲ算シタ(高雄州潮州郡竹田庄鳳山厝701ノ6、化學療法研究會高雄州農場、昭和14年12月3日)事ガ知ラレテキル。蓖麻ニ加害シタ實例ハ臺中州彰化郡線西庄溪ノ蓖麻栽培地域約7甲步ニ涉リ昭和13年1月大發生ヲ見タ。上記何レノ發生地ニ於テモ砂土乃至ハ砂壤土ノ地區ニシテ蓖麻栽培地ニ於テハ極端ナ砂地ニテ乾燥シテサラサラノ狀態デ從前ヨリ西瓜ノ栽培地デアリ、又附近ハ甘蔗園モ少ナカラズアル、該地ハ調査當日正午(1月19日)ノ氣温32°C、濕度66%、土壤ノPH6.3ニテ地上ヨリ1.5寸位迄ハ完全ニ乾燥シソレ以下ニ於テハ濕度ハ略飽和狀

態ニアリ此ノ部分ニハ該蟲ハ認メラレズ何レモ地表近キ乾燥セル部分ニ在リ幼苗ノ被害部ハ主トシテ地表以下2寸内外ナリ。充分成長セル株ニハ殆ド被害ノ影響ナシ。

分布　臺灣,日本内地,印度。

防除法　おほすなむぐりノ被害ハ多ク砂土乃至砂壤土ノ地域ニ其ノ發生ヲ見ル成蟲ハ堆肥或ハ腐植物質ニ集リ産卵シ幼蟲ハ之ニ依リテ成育ス。土中ノ含有濕度ハ之ガ生存力ヲ左右シ極端ナ乾濕ハ此ノ者ノ生存ニ不適當ナ狀態デ斯ル場合該蟲ハ其地域ノ作物ノ莖根ニ蝟集逃避シテ自然作物ハ加害ヲ受ケル事トナル濕度ガ適當ニテ又有機質ニ富ンダ土地ナラバ被害ハ殆ド見ル可キモノナシト考ヘラレル。從ツテ灌漑不能ノ地域ハ此ノ點ニヨク留意スル必要ガアル。發生シテカラノ驅除ヨリモ時前ニ土質,施肥,隣接地ノ作物,氣象ノ點ニヨク留意シテ栽植スレバ加害ハサシテ恐ル可キモノデナイ。

(附記)　臺灣ニ於ケルすなむぐりノ種類

所謂すなむぐりト稱セラレ上述ノおほすなむぐりニ酷似シ臺灣ニ産スルモノ現在次ノ9種アリ。

1. *Mesomorphus villiger* BLANCHARD こがしらすなむぐり

分布　濠洲ヨリ阿弗利加ニ至ル廣範ナル分布區域ヲ有シ特ニ印度,馬來諸島ニ在ス。

2. *Scleron ferrugineum* FABRICIUS さびすなむぐり(第三圖版第14圖)

分布　印度,ビルマ,馬來,南支那,印度支那,馬來諸島比律賓等ニ廣ク分布ス。

3. *Trigonotoma crassipes* GEBIEN ひらあしすなむぐり

分布　臺灣特産。

4. *Gonocephalum aequatoriale* BLANCHARD こがたのすなむぐり(第三圖版第13圖)

分布　ボルネオ,比律賓,プラタス,海南島。

5. *Gonocephalum elongatum* GUERIN-MENEVILLE ながすなむぐり

分布　北部印度,南支那。

6. *Gonocephalum formosanum* GEBIEN たかさごすなむぐり

分布　臺灣特産。

7. *Gonocephalum planatum* WALKER ひらたすなむぐり

分布　錫蘭,印度。

8. *Gonocephalum pubens* MARSEUL おほすなむぐり

分布　日本内地,印度。

9. *Gonocephalum subspinosum* FAIRMAIRE だいこくすなむぐり

分布　印度(ベンガル)。

(猶從前 *Gonocephalum coriaceum* MOTSCHULSKY トシテ發表セラレタモノハ *G. planatum* ノ事デアリ、*G. depressum* ト認メタモノハ *G. aequatoriale* ノ事デアツタ。)

52. おほはむしだまし *Lagria formosensis* BORCHMANN

所　属　鞘翅目　はむしだまし科

標　徴　成蟲、體ハ褪黃褐色ヲ呈スルガ、頭、觸角及肢部ハ黑褐色、頭、胸及翅鞘ニハ小點刻ヲ密布シ且ツ灰白色纖毛ヲ被ル。捕獲スルトキハ腹部ヨリ赤色ノ突起物ヲ現ハス。體長12 mm 內外。

生　態　成蟲ハ普通蓖麻ノ葉裏ニ存スルガ、之ヲ喰害セズ葉ノ蜜槽ヨリ蜜ヲ攝取スル爲メニ來ルモノノ如シ、卽チ本種ハ蓖麻ニ直接加害スルモノデナイガ、圃場デ屢々見受ケラルヽノデ茲ニ便宜記シテ置ク。

53. あをこふきざうむし *Hypomeces squamosus* FABRICIUS

所　属　鞘翅目　ざうむし科

標　徴　成蟲、口吻ハ短大ニシテ象鼻狀ニ伸長シナイ。前胸背ノ後緣ハ前緣ヨリモ著シク廣イ、黑褐色ニシテ少シク光澤アリ、灰白色ノ短毛ヲ密布シ、紫灰色或ハ淡桃紅色ノ鱗片ヲ以テ蔽ハレテ居ルモノト、一面光澤アル青綠色ノ鱗片ヲ以テ蔽ルモノトガアル。口吻ノ先端ハ廣ク且ツ長キ灰白色毛ヲ密生シ、頭部ニハ中央ニ1條ノ大ナル縱溝ト其兩側ニ多數ノ短縱溝がアリ、前胸背ノ中央ニハ1條ノ大ナル縱溝トソレニ接シ3～4條ノ橫溝ガアル。翅鞘ノ先端ハ突出シ、肢ハ堅牢デ一面灰白色纖毛ト紫灰色ノ鱗片毛トヲ以テ蔽ハレテ居ル。體長13 mm 內外。本種ニ似テ居ルモノニはいいろざうむし *Tanymecus circumdatus* WIEDEMAN ト稱スルモノガアル、ガ蓖麻ニハ加害セズ甘蔗園ニハ普通ニ見ラレル。

生　態　成蟲ハ葉ヲ喰害シ之ニ孔ヲ穿ツガ其害ハ至ツテ輕少デ考慮スル程ノモノデナイ。而シ柑橘ニアツテハ苗時代ニ葉ヲ喰害シ、玉蜀黍ニアツテモ葉ヲ喰害シ大害ヲ與ヘルコトガアル。成蟲ハ接觸スルト轉落擬死ヲ裝フ習性ガアル。茶樹、甘蔗、棉、桑等ノ葉ヲモ喰害スル。

分　布　臺灣、支那、比律賓、泰國、爪哇、スマトラ、印度。

防除法　1. 蓖麻ニ對シ未ダ大害ヲシタコトガナイ。成蟲ハ發見次第捕殺スル程度ニテ充分デアル。若シ大發生ヲナシタ場合ハ捕殺ヲ行フト同時ニ砒酸鉛又ハ砒酸石灰液ヲ撒布スレバヨイ。

54. しなちやいろこがね *Adoretus sinicus* BURMEISTER (第一圖版第1～2圖)

所　属　鞘翅目　こがねむし科

異　名　ながこがね

標　徴　成蟲、體、暗褐色ニシテ灰白色ノ短鱗狀毛ヲ密布シ其密度ノ程度ニヨリ灰白色ノ小斑點ヲ表ハス、頭楯ノ前緣ハ弧狀ヲナシ、緣線ハ反上スル上唇ノ先端ハ截斷狀ヲナシ中央ニ1條ノ縱隆起線ヲ具ヘ兩側ハ鋸齒狀ヲナス。體長10 mm 內外。

生　態　成蟲ハ晝間ハ枯葉ノ中又ハ土中ニ隱レテ、夕刻ヨリ出現シテ葉ヲ喰害スル、昭和13年夏新竹州下ニ於テ人家又ハ竹籔近クノ風當リノ少ナイ所ノ蓖麻ノ葉ヲ殆ン

ド喰盡サレタノヲ觀察シ、又昭和14年4月ニ高雄州鳳山郡下ニ於テ街路ノ兩側ニ並木ニ植ヘラレタ數千本ノ蓖麻ガ平均10枚以上本種ノ害ヲ受ケ、甚ダシキモノハ全葉網目狀ニ喰害サレ成長停止ノ狀ヲ呈セルノヲ見タ。幼蟲ハ土中ニ棲息シテ居ルガ其害ハ甚ダ輕少デ殆ド認メラレナイ。本種ハ布哇ニテChinese beetleト稱セラレ、支那ヨリ浸入シテ各種作物ニ大害ヲ及ボス樣ニナツタト考ヘラレ其天敵輸入ノ目的ヲ以テ大正15年ヨリ昭和3年ニ亘リ本島ニ布哇ヨリ昆蟲學者ガ渡來シくろつちばち(*Tiphia sp.*)其他寄生蠅ノ1種ヲ輸入シタガ其效果ハ良好デナカツタラシイ。蓖麻ノ他、棉、薔薇、葡萄、柑橘、「マンゴー」、「セイロンオリーブ」等ノ葉ヲ喰スルコトガ知ラレテキル。

分　布

防除法　1.成蟲ハ夕刻ヨリ出現シ葉ニ集來スルカラ其ノ頃成蟲ヲ捕殺スルヲ良策トスル、又夜間蓖麻ノ葉ニ多數靜止シテ加害シテ居ルカラ之ヲ搜索シテ捕殺スル。2.藥劑ヲ用ヒル場合ハ砒酸鉛液或ハ砒酸石灰液ヲ撒布スル。(注意)本種ハ土中殊ニ堆肥等ノ腐植質ニ富ンダ場所ニ産卵スル習性ガアルカラ蓖麻栽培地附近ニ斯樣ナ場所ノアル事ハ自然發生ヲ誘致シ加害ヲ致スモノデアルカラヨク此ノ點ニ注意スル。

55 たいわんちやいろこがね ***Adoretus formosanus*** OHAUS

所　屬　鞘翅目　こがねむし科

標　徵　成蟲、長楕圓、淡褐色ニシテ灰黃色ノ短毛ヲ以テ稍粗ニ被ハレ頭ハ少シク暗褐色ヲ呈スル、頭楯ノ前緣ハ弧狀ヲナシ緣線ハ反上ス、上唇ノ光端ハ截斷狀ヲナシ、中央ニ縱隆起線ヲ缺キ、兩側ハ鋸齒狀ヲ呈シ、之ニ沿ヒ1列ノ小齒アリ。體長10mm內外。

生　態　上記しなちやいろこがねト混ジ同樣ノ加害ヲナスガ、前種ヨリモ其個體數ハ遙ニ少イ。

分　布　臺灣、沖繩、支那、印度、小スンダ列島、布哇。

防除法　前種ニ準ズル。

56. たかさごびろうどかみきり ***Dihammus formosanus*** BREUNING

所　屬　鞘翅目　かみきりむし科

標　徵　成蟲ノ體ハ暗褐色ニシテ全面ニ黃灰色毛ヲ密生シ天鵞絨樣ノ光澤アリ、頭ノ正中線ニ細キ縱溝アリ、點刻ハ額及前背板ニハ甚ダ僅ニ存シ、頭頂ニハ之ヲ缺キ、翅鞘ニハ稍密ニ存スル。觸角ハ體ト同色ニシテ黃灰色毛ヲ密布シ、雄ハ體ノ2倍半、雌ハ1倍半ノ長サアリ、前胸側ノ中央ニハ1箇ノ銳キ刺狀突起アリ、肢ハ體ト同色ニシテ黃灰色毛ヲ密生スル、體長32mm內外。幼蟲ノ體ハ乳白色、頭ハ黃褐色小形ニシテ前緣ハ弧狀ヲナス上顎ハ彎曲セズ横皺ヲ有シ、先端ハ鈍シ、前胸背ハ大ニシテ3條ノ縱皺アリ、各胸下ニハ退化セル微小ノ不完全ナ胸脚アリ。體長33mm內外ニ達ス。蛹ハ裸蛹ニシテ殆ド成蟲ノ形ヲナシ、觸角ハ體側ヨリ下降シ其先端ハ環狀ニ1回卷旋スル。體長30mm內外。

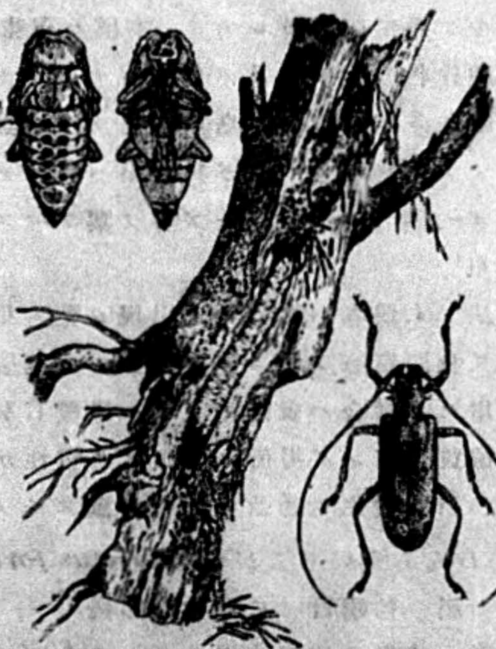
生　態　世代年1回ノ如ク、成蟲ハ3月ヨリ出現スル、幼蟲ハ樹幹ノ地際ヨリ喰入リ隧道ヲ造ツテ木質部ヲ喰シ、越年シ2月頃樹幹ニテ蛹化シ蛹化後約1ケ月內外ニシテ

羽化スル。現在臺東地方ノミニ於テ其害ガ發見セラレ主トシテ株出シ又ハ野生狀態ニアルモノヲ加害スル。本種ノ加害ヲ受ケタルモノハ樹勢劣ヘ枯死スルガ、赤坂靜雄ノ談ニヨルト地際近クヨリ風ノ爲メ折レルモノハ殆ド本種ノ被害莖デアルトノコトデアル。

分　布　臺灣固有.

防除法　1.本蟲ノ被害ハ主トシテ株出シニ見ラレルカラ株出ヲナス場合ハ特ニ注意ヲ要スル。2.刺殺法、幼蟲ノ喰入シタトキハ針金ヲ蟲孔內ニ挿入シテ幼蟲ヲ引出スコト。3.毒殺法、百部根ヲ蟲孔內ニ挿入シテ幼蟲ヲ殺ス、又くろーるぴくりんヲ脫脂綿ノ小片ニ漬ケテ之ヲ蟲孔內ニ挿入シテ粘土ヲ以テ蟲孔ヲ塞グ。(注意)本種ノ幼蟲ノ若イ時分ニ、蓖麻ハ旣ニ充分ニ成長シ5～6月頃ハ其ノ收穫期デアル。從ツテ斯樣ナ場合此ノ蟲ノ蕃殖ニハアマリ都合ハヨクナイガ更ニ株出シヲナス場合其年ノ秋頃ニハ幼蟲ハ充分ニ成長ヲナシ被害モ亦顯著ニアラハレル。故ニ上述ノ如ク本蟲ノ被害ハ特ニ株出シノ場合ノミニ顯著ニ認メラレルノデアル。

たかさごびろうどかみきり



莖ノ中ハ幼蟲。上ノ右蛹腹面。上ノ左蛹背面、右ノ下成蟲

57. わたかみきり ***Sybra punctatostriata*** BATES

所　屬　鞘翅目　かみきりむし科

標　徵　成蟲、小形ノ天牛ニシテ體ハ暗褐色ヲ呈スルガ、暗灰褐色ノ細毛ヲ以テ蔽ハレテキル。頭頂ハ陷凹シヘ字形ノ細溝ヲナシ一面小點刻ヲ散布スル。觸角ハ體長ヨリ長ク暗褐色ヲ呈シ、微毛ヲ被ルカラ稍々灰色ヲ帶ビ胸背ハ小點刻ヲ撒布シ灰色ノ微毛ヲ被ル外兩側ニ近ク各五列ノ太イ汚黃色毛塊ヨリナル太イ縱線ヲ有シ、中央ニハ後緣ヨリ同樣ノ縱線ヲ走ラス、翅鞘ノ各末端ハ斜ニ切斷サレ各外緣端ハ尖ル、表面ニハ10列ノ小點刻縱溝ヲ有シ、各間室ニハ交互ニ黃褐色及ビ灰白色ノ微毛ヨリナル縱線ヲ裝フ、肢ニハ黃金色ノ微毛ヲ粗生シ多少扁壓サル。體長約10mm內外。幼蟲、體乳白色ヲ呈シ頭部ハ小ニシテ褐色ヨク發達シタ同色ノ上顎ヲ有ス、胴部ハ少シク膨大スルモ顯著ナラズ、腹環節ニハ各氣門線ヲ全通シテ龍骨突起ヲ有ス。胸脚ハ全ク退化シ唯痕跡ヲ止ムルノミ、體長約20mmニ達ス。蛹ハ黃乳色ニシテ褐色ノ細毛ヲ粗生ス大半固有ノ形ヲ呈ス、眼ハ紫褐色上顎ハ褐色、腹部ハ肥大シ背中線ニ沿ヒ暗黃色ノヘ線ヲ具ヘ尾端ハ丸ク、黃褐色ヲ呈シ微毛ヲ粗生スル、體長約15mmアリ。

生　態　世代ハ年1回ノ如ク、本種ハ最初臺東廳下ニ於テ棉ノ蒴果ニ加害シテヰタ幼蟲ニ就キ調査セラレわたかみきりト命名セラレタモノデアルガ、幼蟲ハ棉ノ蒴果ノ内容物ヲ喰害シ、充分老熟シ其儘蛹化シ次イデ羽化スルモノデアルガ、株出シタ棉ニ於テ其莖ニ喰入ル事モアル、成蟲ハ6～7月頃出現スル、蓖麻ニ於テハ莖幹ニ喰入シ加害シ未ダ蒴果ニ加害スル例ヲ見ズ。

分　布　臺灣、沖繩、九州、中部支那。

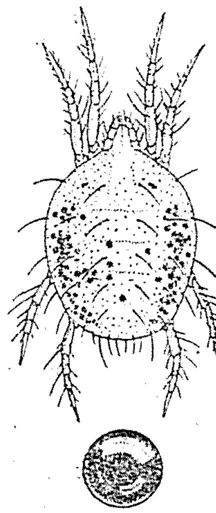
防除法　前種ニ準ズル

58. ひまはだに *Tetranychus telarius* LINNÉ (第一圖版第5圖)

所　屬　蜘蛛綱　だに目　はだに科

標　徵　成蟲ノ體ハ淡赤色デアルガ、時ニ淡黃褐色、稀ニ暗褐色ヲ呈スルモノガアル。背面ノ兩側ニハ黑褐色ノ縱紋ヲ有スルガ、之ヲ缺クモノモアル。眼ハ赤色、肢及口器ハ淡黃褐色ヲ呈ス、體ハ楕圓形ニシテ肥太シ、背面ニ1條ノ横溝及細毛ヲ有シ、肢ノ被毛ハ體ヨリモ密デアル。上顎板ヲ具ヘ、下顎鬚ハ短大、體ノ前部ニハ2列、3對、後部ニハ5列5行内外ノ剛毛アリ、觸鬚ニハ多數ノ感覺毛ヲ有ス、肢ノ褥盤爪ハ4分ス。體長0.5 mm内外。卵ハ球形ニシテ表面平滑淡黃褐色ヲ呈シテ被害部ノ葉面ニ點々1粒宛産下サレル。直徑0.15 mm内外アリ。幼蟲、形狀成蟲ニ似テ居ルガ、淡褐色デ肢ハ3對デアル。

生　態　主トシテ葉ノ裏面ニアツテ之ヲ喰害シ、其加害痕ハ無數ノ白色斑點トナツテ葉ノ表面カラ認メラレルノデ直チニ其被害ヲ發見スルコトガ出來ル、被害ノ甚ダシイ時ハ落葉スル、又新葉及古葉共ニ被害ヲ受ケルガ新葉ヨリモ古葉ニ多イ、葉ノ裏面ノ網狀脈ノ間ニ絹糸ヲ以テ薄イ網ヲ張リ、其ノ中ニテ生活加害シ、卵ハ網内ノ葉面ニ點々離レテ産下サレ、又小數ノモノハ網上ニモ産下サレル。雌ハ1日ニ10數粒ヲ産卵シ卵ハ夏季ニテハ3～4日ニテ孵化シ、幼蟲ハ5～7日ヲ經テ成蟲トナル、孵化シタ卵殼ハ白色ヲ呈シテ葉面上ニ殘リ、幼蟲ハ3回ノ脫皮ヲ經テ成蟲トナリ、脫皮殼ハ白色ヲ呈シ卵殼ト同樣葉面上ニ殘存ス。本島ニアリテハ年中加害シ周年成蟲、卵、幼蟲、存シ各々ノ狀態デ發見セラレル、蓖麻ニ於テハ夏季ニ其ノ害ガ甚ダシイ、風當リノ少ナイ所ニ多イガ蓖麻デハ未ダ大面積ニ大發生シタ例ガナイ、多數ノ作物ヲ加害スルガ殊ニ黃麻、クサイチゴ、メロン、虹豆、大豆等ニ其ノ害ガ甚ダシイ。



ひまはだにノ成蟲と卵(下)

分　布　世界ニ廣ク分布シ、温帶地方ノ温室並ニ野外ニ大害シ、歐洲ニテハ Linden-mite ト呼バレ爪哇ニテハきやつさばノ大害蟲デ Tapioca-mite トシテ有名デアル。*T. bimaculatus* HARVEY ト混同サレテ居ルガ、此ノ兩者ハ全ク別種デアルト云フ、(E. A. McGREGOR, Proc. U.S.Nat. Mus.56,pp.664～679) 岸田久吉(日本動物圖鑑977頁1881圖、1927 (昭和2年)ハ其ノ和名ヲ單ニはだにトセラレタガ、他ノはだにト混同ノ懼レガアルノデひまはだにトシテ用フルコトニシタ。

防除法「デリス」剤撒布,使用量ハ「デリス」乾根40～60g(10～15匁)石鹸80g(20匁),水20l(1斗)ノ割合ニテ製スル。

主要參考文獻

ABE, T.(安倍輝吉),1930,臺灣ニ於ケル蓖麻(臺灣農事報XXIII, no.8 (no. 285) pp. 658～669; no.9 (no. 286), pp. 763～776).

DAMMERMAN, K.W.,1929, The Agricultural Zoology of the Malay Archipelago.

FLETCHER, T. B., 1914, Some south Indian insects.

— 1917, Report of the Proceeding of the second Entomological meeting held at Pusa.

— 1920, ibid. 3rd.

— 1924, ibid. 5th.

KUWAYAMA, S,(桑山覺), 1939,滿洲國主要農作物害蟲分布相及被害狀況調査報告(滿洲國農務司農産科農産部資料(33),pp.46～47).

MAXWELL-LEFROY, H., 1908, The castor semi-looper (*Ophiusa melicerta* DR.) (Mem. Dept. Agr. India, II, pp. 57～77, pl. 6～7).

— & HOWLETT, F. M, 1909, Indian insect life.

RAMAKRISHNA AYYAR, T. V. ,1936 The important insect pests of the Castor Oil plant in S. India, with suggestions for their control (The Tropical Agriculturist LXXXVI, no. 2, pp. 113～117).

SAKURAI, Y.(櫻井芳次郎), 1929,蓖麻(臺灣總督府殖産局出版no. 539).

SHIBUYA, T.(澁谷常紀), 1934,臺灣ノ蓖麻(臺灣總督府中央研究所農業部彙報no. 100).

SONAN, J. (楚南仁博), 1927,茶樹害蟲ニ關スル調査報告(二)(臺灣總督府中央研究所農業部報告第29號).

— 1937,はすもんよたうニ關スル調査(臺灣總督府中央研究所農業部報告第70號).

SWEZEY, OTTO H., 1909, The Hawaiian sugar cane bud moth (*Ereunetis flavistriata*), with an account of some allied species and Natural enemies (Honolulu Experimental Station, Hawaiian suger planters' Association, Division of Entomology, Bull. no. 6. pp, 1～40, pls. 1～4).

TAKAHASHI, R. (高橋良一), 1938,臺灣ニ於テ農作物ニ加害スルだに類ニ就テ(臺灣總督府中央研究所農業部彙報no. 144).

TAKIZAWA, M. (瀧澤求), 1937,滿洲國園藝作物害蟲目錄(南滿洲鐵道株式會社農事試驗場報告第40號p. 5).

TSUCHIYAMA, T.(土山哲夫), 1936,蓖麻攝取ニ依ルひめびろうどこがね *Serica orientalis* MOTSCHULSKY ノ中毒死ニ就テ(應用動物學雜誌VIII, no. 4. pp202～207).

Anonymous, 1932.臺灣農家便覽增訂第五版,pp. 525～526.

— 1923, A Preliminary list on the Pest of cultivated plants in Ceylon (Dept. of Agric. Ceylon, Bull. no.67).

海外に於ける蓖麻害蟲目錄(※印ハ本邦ニモ産スル種類デアル)

(A list of insects and mites injurious to castor plant in abroad.)

直翅目 *Orthoptera*

ばった科 Fam. *Locustidae* (*Acridiidae*)

1. *Calliptamus italicus* L.
   Turkestan (DVORNITCHENKO, 1916). 苗床ニテ葉ヲ害ス.
2. *Cyrtacanthacris ranacea* STOLL
   India (FLETCHER, 1914, 1917). 葉
3. *C. tatarica* L.
   Italian Somaliland (CHIARMONTE, 1934). 葉
4. *Dociostaurus* (*Stauronotus*) *maroccanus* THUNBELG
   Turkestan (DVORNITCHENKO, 1916). 苗床ニテ葉ヲ害ス.
5. *D.*(*S.*) *kraussi* INGEN
   Turkestan (DVORNITCHENKO, 1916). 苗床ニテ葉ヲ害ス.
6. *Oedaleus nigrofasciatus* DE GEER
   Turkestan (DVORNITCHENKO, 1916). 苗床ニテ葉ヲ害ス.
7. *Orthacanthacris* (*Acridium*) *aegypticus* L.
   Turkestan (DVORNITCHENKO, 1916). 苗床ニテ葉ヲ害ス.
8. *Schistocerca paranensis* BURM. (South American migratory locust)
   Trinidad and Tobago (Urich, F. W. 1916). 葉

半翅目 *Hemiptera*

同翅亜目 *Homoptera*

かひがらむし科 *Coccidae*

※ 9. *Aspidiotus destructor* SIGN. うすいろまるかひがら
   Zanzibar (NEWSTEAD, 1917), India (FLETCHER, 1919).

10. *Chionaspis citri* COMSTOCK
   British Guiana (BODKIN, 1914).

※ 11. *Chrysomphalus aurantii* MASKELL あかまるかひがら
   India (FLETCHER, 1916).

※ 12. *Coccus viridis* GREEN みどりかひがら
   India (FLETCHER, 1916).

※ 13. *Diaspis* (*Aulacaspis*) *pentagona* TARGIONI くはのかひがら
   West Indies (WILSON, 1921); Ceylon (Dept. Agr. Bull. no. 67, 1923).

14. *Lichtensia viburni* SIGN.
Britain (HODSON, 1929).

※ 15. *Pinnaspis minor* MASK. ひめながかひがら
=(*Hemichionaspis minor*)
Seychelles (DUPONT, 1934); Peru (FOWNSEND,1913).

※ 16. *Pseudococcus virgatus* COCKERELL おほをながこなかひがら
Java (DAMMERMAN,1929); India (RAMAKRISHNA, 1936).

17. *Pulvinaria grabhami* CKLL.
Seychelles (DUPONT, 1934).

※ 18. *Saissetia nigra* NIETN. くろかたかひがら
India (FLETCHER, 1919, RAMAKRISHNA, 1936); Seychelles (DUPONT, 1934),

こなじらみ科 *Aleyrodidae*

19. *Trialeurodes ricini* MISRA
India (FLETCHER, 1914; MOSRA, 1924; RAMAKRISHNA, 1936; GRUNWALD,1931);
Ceylon (Dept. Agr. Bull. no. 67. 1923).

20. *Trialeurodes sp.*
Siam (PEINKING, 1929).

よこばひ科 *Jassidae*

21. *Empoasca fasciallis* JAC.
Sudan (BEDFORD, 1931; Italian Samaliland (PAOLI, 1930).

※ 22. *E. flavescens* F. みどりひめよこばひ
India, Ceylon (FLETCHER, 1914, 1919; HUTSON, 1933; RAMAKRISHNA, 1936); Java (DAMMERMAN, 1918).

23. *E. notata MEL.*
India, Ceylon (MAXWELL-LEFROY, 1909; GRUNWALD, 1931).

24. *E. mali* LE BARON
U. S. A. (BEYER, 1922).

25. *E. solana* DE LONG
Hawaii (CARTER, 1936).

異翅亜目 *Heteroptera*

ぐんばいむし科 *Tingidae*

26. *Corythaica monacha* STÅL
West Indies (GIBSON, 1919).

27. *Corythuca gossypii* F. (Cotton Lace-bug)

Cuba (BRUNER, 1932); Mexico (FERRIS, 1920); Florida (WATSON, 1925); West Indies (WILSON, 1921); India, Cylon (GRUNWALD, 1931).

28. *Corythuca* sp.

Barbados (Rept. Agr. Dept. St Vincent, 1919).

めくらかめむし科 *MIRIDAE*

29. *Eurystylus kivuensis* SCHOUTEDEN

Belgian Congo (SCHOUTEDEN, 1937)

30. *Helopeltis bergrothi* REUT.

Belgian Congo (MAYNE 1917).

31. *Poeciloscytus cognatus* FIEB.

Caucasus (ARKHANGEL'SKII and ROMANOVA, 1931).

ながかめむし科 *Lygaeidae*

32. *Dieuches annulatus* SIGN

Madagascar (FRAPPA, 1931).

33. *Tropidothorax* sp.

Madagascar (FRAPPA, 1931).

かめむし科 *Pentatomidae*

34. *Nezara robusta* DISTANT

Nyasaland (SMEE, 1930).

35. *N. pallidoconspersa* STÅL

Nyasaland (FRAPPA 1931).

※ 36. *N. viridula* L. あをかめむし

India (FLETCHER, 1914, 1919; RAMAKRISHNA, 1936); Nyasaland (SMEE, 1930).

37. *Scutellera nobilis* F.

India (FLETCHER, 1919).

38. *Stenozygum madagascariense* SIGN.

Madagascar (FRAPPA, 1931).

總翅目 *Thysanoptera*

あざみうま科 *Thripidae*

※ 39. *Scirtothrips dorsalis* HOOD きいろちびあざみうま

India (HOOD, 1919; RAMAKRISHNA, 1929).

※ 40. *Thrips tabaci* L. ねぎのあざみうま

Manchukuo (桑山覺,1939).

鱗翅目 *Lepidoptera*

異脈亜目 *Heteroneura*

かざりが科 *Cosmopterygidae*

※ 41. *Anatrachyntis simplex* WALSINGHAM わたのとがりほそが
India (FLETCHER, 1920).

わたみが科 *Oecophoridae*

42. *Depressaria ricini* STAUD.
India (MAXWAELL-LEFROY, 1909).

ひめはまきが科 *Eucosmidae*

43. *Argyroploce leucotreta* MEYR. (False codling moth)
Uganda (HARGREAVES, 1924; GRUNWALD, 1931).

ほそが科 *Gracillariidae*

44. *Acrocercops serriformis* MEYR.
Java (MEYRICK, 1930).

めいが科 *Pyralidae*

※ 45. *Cryptoblabes aliena* SWEZEY とびいろまだらめいが
Hawaii (SWEZEY, 1909). 果實及花房ヲ害ス。

46. *C. ephestialis* HAMPSON
Ceylon (HAMPSON, 1919; FLETCHER, 1919). 果實ヲ害ス。

47. *Diaprepes (Exophthalmus) esuriens* GYLL.
Barbados (Agr. News Barbados, 12, 1913).

※ 48. *Dichocrocis punctiferalis* GUEN. もものめいが
India (MAXWELL-LEFROY, 1909; FLETCHER, 1914, 1916; RAMAKRISHNA, 1936); Ceylon (Trop. Agr. 1,1918); Dutch Indies (DAMMERMAN, 1929; KALSHOVEN, 1922; GRUNWALD, 1931), Papua (BALLARD, 1927); Queensland (Agr. Jl. Brisbane, 1913).

49. *Loxostege sticticalis* L.
Caucassus (LAPPIN, 1927).

50. *Phycita clientella* ZELL.
India (FLETCHER, 1919).

51. *P. diaphana* STGR.
Algeria (GRUNWALD, 1931).

52. *P. fuscopilella* CHRÉT.
Rome (KRUGER, 1932).

53. *P. poteriella* ZELL.

Victoria (DUPONT, 1933); Seychelles (DUPONT, 1934); Rome (KRUGER, 1933); Caucasus (MANONOY, 1931). Russia (OLCHROVSKY. 1917).

ぼくとうが科 *Cossidae*

54. *Duomitus ca[illegible]sis* BAKER

Zanzibar (ADERS, 1918).

※ 55. *Zeuzera coffeae* NIETN. こーひーごまふぼくとう

Ceylon (HUTSON, 1937).

みのが科 *Psychidae*

56. *Clania crameri* WESTWOOD

India (FLETCHER, 1914, 1916, 1919; RAMAKRISHNA, 1936)

いらが科 *Cochlidionidae* (*Limacodidae*)

57. *Altha nivea* WALKER

India (FLETCHER, 1914, 1917, 1919).

58. *Belippa laleana* MOORE

Java (DAMMERMAN, 1929).

59. *Miresa argentifera* WALKER

Ceylon (Dept. Agric. Ceylon, Buil. no. 67, 1923).

60. *Parasa lepida* CRAMER

India (MAXWELL-LEFROY, 1909; Trop. Agr., 1914; FLETCHER, 1914; RAMAKRI-SHMA, 1936); Java (DAMMERMAN, 1929).

61. *P. vivida* WALKER

Nyasaland (GRUNWALD, 1931; SMEE, 1928).

62. *Thosena cana* WALKER

India (MAXWELL-LEFROY, 1909).

63. *T. recta* HAMPSON

India (Trop. Agr., 1914).

かれはが科 *Lasiocampidae*

※ 64. *Trabala vishnu* LEFEBVRE きいろかれは(あをかれは)

India (MAXWELL-LEFROY, 1909; FLETCHER, 1917, 1919; ANSTEAD, 1919); Java (DAMMERMAN, 1929).

おびが科 Fam. *Eupterotidae*

65. *Eupterote geminata* WALKER

Ceylon (Dept. Agric. Ceylon, Bull. no. 67, 1923; HUSTON, 1937).

やままゆが科 *Saturniidae*

66. *Nudaurelia dione* FAB.
Uganda (HARGREAVES, 1923).

※ 67. *Philosamia cynthia* DRURY しんじゆさん
India (MAXW LL-LEFROY, 1909;) Java (DAMMERMAN, 1929); Egypt (MOSSERI, 1917).

かのこが科 *Syntomidae*

68. *Ceryx imaon* CRAMER =(*Symtomoides imaon* CRAMER)
Ceylon (HUTSON, 1923).

やが科 *Noctuidae*

※ 69. *Achaea janata* L. (Castor semi-looper) みつてんあしぶと(ひまあしぶと)
=(*Ophiusa melicerta* DRURY)
India, Ceylon (MAXWELL-LEFROY, 1909; FLETCHER, 1914, 1917, 1919; LEN DOOP, 1918; GRUNWALD, 1931; RAMAKRISHNA, 1931; HUTSON, 1937); Java, Sumatra (DAMMERMAN, 1929; van HALL, 1921, 1922); Malaya (SUSAINATHAN, 1924); Micronesia (江崎, 1940).

70. *A. catella* GUENEE
Italian Somaliland (CHIARAMANTE, 1934); Sudan (BEDFORD, 1931); Transvaal (GRUNWALD, 1931).

※ 71. *Anua triphaenoides* WALKER=(*Ophiodes cuprea* MOORE=*Achaea cuprea*)へりぐろしたば
Micronesia (江崎, 1940).

72. *Barathra brassicae* L. よとうが
Caucasus (LAPPIN, 1927; MAMONOV,1931).

73. *Blapstinus sp.*
U. S. A (DE ONG, 1919).

74. *Eublemma brachygonia* HAMPSON
Sudan (BEDFORD, 1931).

75. *E. silicula* SWINHOE
India (FLETEHER, 1919).

※ 76. *Euxoa segetum* SCHIFF. かぶらやが
Caucasus (LAPPIN, 1927; MAMONOV, 1931).

※ 77. *Grammodes geometrica* FAB. なかぐろくちば
Sicily (DE STEFANI, 1927).

78. *Heliothis dipsacea* L. つめくさが
Caucasus (SHCHEGOLEV, 1929).

※ 79. *H. obsoleta* FAB. おほたばこがもどき

Rusia (OLCHROVSKY, 1917); Caucasus (MAMONOV, 1931); India (FLETCHER, 1919).

80. *H. peltigera* SCHIFF.

Russia (C CHROVSKY, 1917).

81. *H. sp.*

Caucasus (LAPPIN, 1927).

※ 82. *Laphygma exigua* HUB. しろなよたう

Sicily (De STEFANI, 1919); India (FLETCHER, 1919).

83. *L. flavimaculata* HORV. (Beat army-worm)

U. S. A. (DE ONG, 1919).

※ 84. *Parallelia algira* L. あしぶとが

India (FLETCHER, 1919); Ceylon (Dept. Agric. Ceylon, Bull. no. 67, 1923).

85. *Phyrometra confusa* STEPH.

Caucasus (SHCHEGOLEV, 1930). (HAMPSON. (HAMPSON Cat. Lep. Phil. 13 ＝ 據レバ日本＝モ產ス).

86. *P. gamma* L.

Caucasus (LAPPIN, 1927; MAMONOV, 1931). 同上＝據レバ日本＝モ產ス)

※ 87. *Prodenia litura* FAB. はすもんよたう

India, Ceylon (MAXWELL-LEFROY, 1907; FLETCHER, 1914, 1917, 1919, HUTSON, 1921; ISAAC, 1933; RAMAKRISHNA, 193, GRUNWALD, 1931; PILLAI, 1921); Philippines (JONES, 1913; EDROZO, 1918); Malaya (CORBERTT, 1922); Java, Sumatra DAMMERMAN, 1929); Burma (GHOSH, 1923-24); China (NG,1937); Indochina (CARESCHE, 1938); New South Wales (GRUNEY, 1923); Egypt (BISHARA, 1934); Travancore (PILLAI, 1921).

※ 88. *Tiracola plagiata* WALKER みかんくちば

＝(*Arcilasisa plagiata* WALKER)

Malaya (GREENSTREET and LAMBOURNE, 1933; SUSAINATHAN, 1924); Java, Sumatra (DAMMERMAN, 1929); Ceylon (HUTSON, 1937).

89. *Xylomyges eridania* CRAM. (Semi-tropical army-worm)

U. S. A. (NEWELL, 1921). 栗＝大害ス。

ひとりが科 *Arctiidae*

90. *Amsacta albistriga* WALKER

India (FLETCHER, 1914. 1919).

※ 91. *Amsacta lactinea* CRAM. (*Estigmene*) まへあかひとり

India (FLETCHER, 1919).

92. *A. moorei* BUTL.

India (FLETCHER, 1917).

※ 93. *Diacrisia obliqua* WALK. うすすぢもんひとり

India, Ceylon (FLETCHER, 1917, 1919, 1923; GRUNWALD, 1931; RAMAKRISHNA, 1936).

94. *Hypsa ficus* FAB.

India (FLETCHER, 1919) 蓖麻ヲ喰スル事ハ誤リナラントノ附記アリ。

95. *Pericallia ricini* F.

=(*Arctia ricini* F.).

India, Ceylon (MAXWELL-LEFROY, 1909, FLETCHER, 1914, 1917, 1919; PILLAI, 1922; RAMAKRISHNA, 1936; GRUNWALD, 1931).

どくが科 *Liparidae* (*Lymantriidae*)

※ 96. *Dasychira mendosa* HUB. みかんどくが

=(*Olene mendosa* HUB).

India (FLETCHER, 1914, 1917, 1919; RAMAKRISHNA, 1936); Java; Sumatra (DAMMERMAN, 1929).

※ 97. *Euproctis flava* BREMER どくが

Ceylon (Dept. Agric. Ceylon Bull. no. 67. 1923; HUTSON, 1937).

98 *E. fraterna* MOORE

India (MAXWELL-LEFROY, 1909; FLETCHER, 1914, 1917, 1919; RAMAKRISHNA, 1936; PILLARI, 1921).

99. *E. lunata* WALK.

India (FLETCHER, 1919; HUSAIN and LAI 1919~20; GRUNWALD, 1931).

※100. *E. subfasciata* WALK. しろきどくが

India (FLETCHER, 1919).

101. *Notolophus georgianus* FAW.

Uganda (HARGREAVES, 1922).

※102. *N. australis posticus* WALK. こしろもんどくが

=(*Orgyia postica* WALK.)

India, Ceylon (FLETCHER, 1914, 1917, 1919; RUTHERFORD, 1914; RAMAKRISHNA, 1936; GRUNWALD, 1931; De ALWIS, 1926); Malaya (SUSAINATHAN, 1928).

103 *Porthesia producta* WALKER

=(*Arctornis producta* WALK.; *Euproctis rubricosta* FAWCETT; *E. producta* WLK.)

Java (ANDERS, 1915); Uganda (HARGREAVES, 1923, 1924; GRUNWALD, 1931); Sudan (BEDFORD, 1936).

※104. *P. scintillans* WALK. (*Euproctis*) はぐろきどくが(へりみつもんどくが)

India (FLETCHER, 1914, 1917, 1919; ANDREWS, 1918); Java. Sumatra (DAMMERMAN, 1929).

105. *P. xanthorrhoea* KOLL.

India (FLETCHER, 1919).

たてはてふ科 *Nymphalidae*

106. *Erygolis merione* CRAMER

India (MAXWELL-LEFROY, 1909; FLETCHER, 1917, 1919; RAMAKRISHNA, 1936; ISAAC, 1936; GHOSH, 1914, 1924).

106A. *E. merione taprobana* WESTW.

Ceylon (Trop. Agr. 11, no. 5, 1918).

107. *Eurytela dryope* CRAM.

E. Africa (MORSTATT, 1913).

※108. *Pyrameis cardui* L. ひめあかたては

Caucasus (LAPPIN, 1927).

せせりてふ科 *Hesperiidae*

※109. *Hasora alexis* FAB. たいわんびろうどせせり

=(*Parata alexis* FAB.)

India (FLETCHER, 1919).

鞘翅目 *Coleoptera*

たまむし科 *Buprestidae*

110 *Sphenoptera arabica* GORY

Sudan (BEDFORD, 1930). 幼蟲ハ往々根ヲ害ス。

111. *S. fulgens* GORY

Sudan (BEDFORD, 1930). 幼蟲ハ屢々根ヲ害シ成蟲ハ花及葉ヲ害ス。

112. *Psiloptera fastuosa* FAB.

India (FLETCHER, 1919).

ごみむしだまし科 *Tenebrionidae*

113. *Gonocephalum pusillum* FAB.

Caucasus (LAPPIN, 1927). 苗ヲ害ス。

114. *Hopatroides seriatoporus* FAIRM.

India (FLETCHER, 1919).

115. *Opatrum sabulosum* L. あみめすなむぐり

Russia (STEPANTZEV, 1933); Caucasus (ARKHANGEL'SKII and ROMANOVA, 1931; LAPPIN, 1927). 苗床及幼莖根ニ大害ス。

116. *Pedinus femoralis* L.

Russia (STEPANTZEV, 1933); Caucasus (LAPPIN, 1927).

117. *Platyscelis gages* F [illegible]CH

Caucasus (LAPPIN, 1927)

まめざう科 *Bruchidae*

118. Bruchus *pruininus* HORN

Hawaii (BRIDWELL, 1917). 種子ヲ害ス。

はむし科 *Chrysomelidae*

119. *Diabrotica graminea* BALY (green beetle)

Port Rico (WOLCOTT, 1917).

120. *Epitrix atropae* FOUDER

Crimia (PARFENTJEV, 1921).

121. *Hermaeophaga ruficollis* L.

India (RAMAKRISHNA, 1936).

122. *Monolepta bifasciata* HORST.

=(*M. quadrinotata* F.)

Philippines, Malaya (DAMMERMAN, 1929).

123. *Phytorus dilatatus* JAC.

Sumatra (DAMMERMAN, 1929; Java (GRUNWALD, 1931). 成蟲ハ葉ヲ喰害シ1921年ニSumatraニテ葉ニ大害セリ。

かみきり科 *Cerambycidae*

124. *Monohammus fistulator* GERM.

Dutch Indies (DAMMERMAN, 1913, 1929).

ざうむし科 *Curculionidae*

125. *Bothynoderes* (*Cleonus*) *punctiventris* GERM.

Rumania (GRINBERG, 1933).

126. *Diaprepes abbreviatus* L.

=(*D. spengleri* L.)

Port Rico (GONZÁLEZ and MAYORAL, 1931; WOLCOTT, 1922).

127. *Eutinops mongolicus* FAUST. こまるへうたんざうむし

Manchoukuo (土山, 1936).

※128. *Hypomeces squamosus* FAB. わたおほあをざう(あをこふきざう)

Indochina (CARESCHE, 1937).

129. *Mecistocerus ricini* MARSHALL

India (MARSHALL, 1934)

130. *Myllocerus viridanus* FAB.

India (FL TCHER, 1917, 1919).

131. *Psalidium maxillosum* FAB.

Caucasus (ARKHANGEL'SKII and ROMANOVA, 1931) 成蟲ガ葉ヲ喰害ス。

132. *Xanthotrachelus perlatus* FAB.

India (FLETCHER, 1919).

きくひむし科 *Ipidae*

133. *Stephanoderus seriatus* EICHH.

ALGERIA (GRUNWALD, 1931). 果實ヲ害ス。

※134. *Xyleborus fornicatus* EICHH. ちびむねまるきくひむし(ちやのきくひむし)

India, Ceylon (FLETCHER, 1914, 1919; ANSTEAD, 1919; RUTHERFORD, 1914; SPEYER 1918, 1923; JEPSON, 1923; HUTSON, 1924; BEESON, 1925; GRUNWALD, 1931; GARDNER, 1934; RAMAKRISHNA, 1936). 莖ニ穿孔ス。

135 *X. parvalus* EICHH

Ceylon (Dept. Agr Bull. no. 67. 1923). 莖ニ穿孔ス。

こがねむし科 *Scarabaeidae*

136 *Amphimallus solstitialis* L.

Caucasus (ARKHANGEL'SKII and ROMANOVA, 1931).

137. *Anomala spp.*

Italian Samaliland (CHIAROMONTE, 1934). 幼蟲ガ根ヲ害ス。

138 *Apogonia amida* LEWIS ひめかんしよこがね

Manchoukuo (土山, 1936).

139. *Holotrichina diomphalia* BATS. てふせんくろこがね

Manchoukuo (瀧澤, 1937; 桑山, 1939).

※140. *H. kiotoensis* BRENSKE くろこがね

Manchoukuo (土山, 1936).

141. *H. morosa* WATERHOUSE おほくろこがね

Manchoukuo (瀧澤, 1937; 桑山, 1939).

142. *Rhizotrogus aequinoctialis* HBST.

Caucasus (ARKHANGEL'SKII and ROMANOVA, 1931).

※143. *Serica orientalis* MOTSCHULSKY ひめびろうどこがね

Manchoukuo (土山, 1936; 桑山, 1939).

144. *Trematodes tenebriodes* PALLAS ごみむしもどきまめこがね

Manchoukuo (瀧澤, 1937; 桑山, 1939).

双翅目 *Diptera*

たまばへ科 *Cecidomyiidae* (*Itonididae*)

145. *Camptomyia ricini* FELT

India (FELT, 1921). 乾燥シタ蓖麻ノ莖ヨリ羽化ス。

みばへ科 *Trypetidae*

146. *Chaetodacus correctus* BEZZI

India (BEZZI, 1916). 葉上ニテ成蟲ヲ採集スト記サル。蓖麻ノ害蟲デハナイガ便宜上登載シテ置ク。

もぐりばへ科 *Agromyzidae*

147 *Melanagromyza ricini* MEIJERE

Java (MEIJERE, 1922; GRUNWALD, 1931). 幼果ヲ害ス。

148 *Gn. sp.* ?

Manchoukuo (桑山, 1939).

蜱目 *Acarina*

はだに科 *Tetranychidae*

149. *Anychus orientalis* ZACHER

Palestine (KLEIN, 1936).

150. *Tetranychus coffeae* NIETN.

Java (DAMMERMAN, 1929); India (MISRA, 1913)(T. *bioculatus* WOOD-MASON).

※151. *T. telarius* L. ひまはだに

Java (DAMMERMAN, 1929; BERNARD and KERBOSCH, 1918); Sudan (BEDFORD, 1931); India (CHERIAN, 1937, 1938); Palestine (KLEIN, 1936).

151A. *T. telarius* var. *russeolus*.

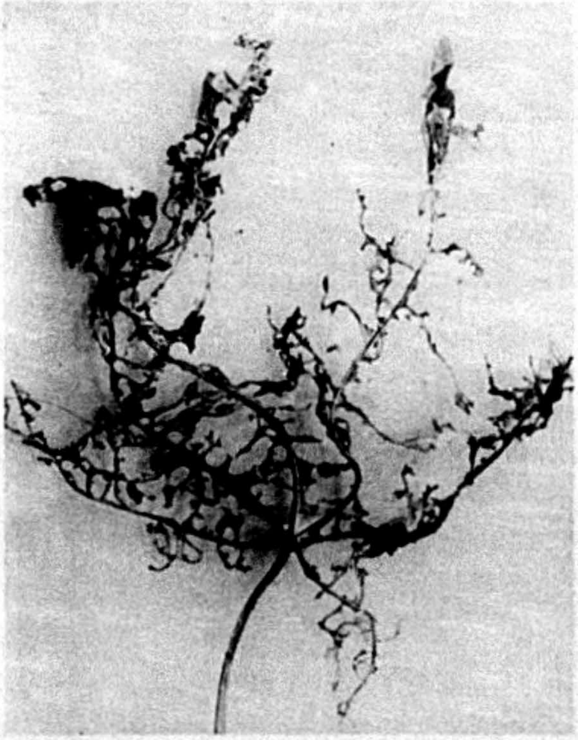
Sicily (DE STEFANI, 1919).

第　一　圖

第一圖版說明

1. しならやいろこがね成蟲の加害痕
2. 同成蟲 (*Adoretus sinicus* BURMEISTER)
3. おほみのが幼蟲ト共加害狀況 (*Clania pryeri* LEECH)
4. たいわんくだまきもどき成蟲 (*Sympaestria truncato-lobata* BRUMER von WATTENWYL)
5. ひまはだにノ加害痕 (*Tetranychus telarius* LINNÉ)

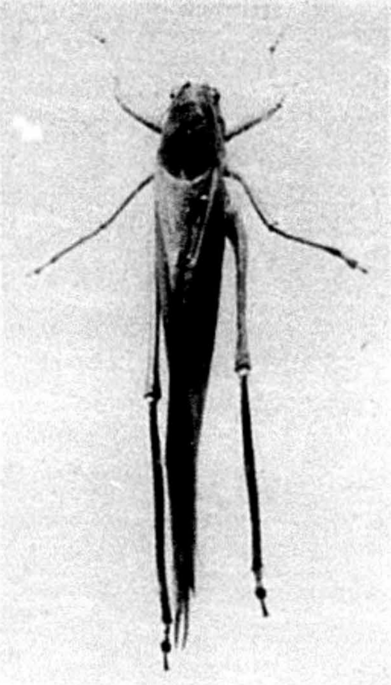
1



3

2

4



5

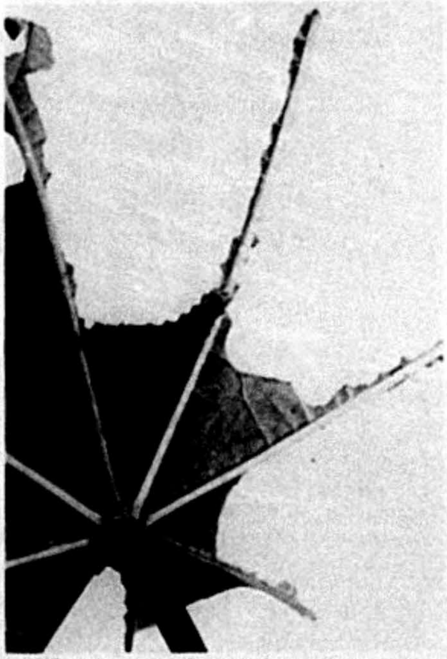
第　二　圖

第二圖版說明

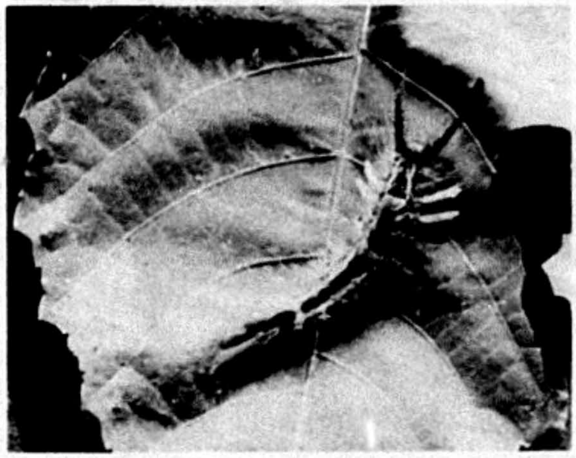
1. たいわんきどくが幼蟲ト共加害狀況 (*Porthesia taiwana* SHIRAKI)
2. こしろもんどくが幼蟲ト共加害狀況 (*Notolophus australis posticus* WALKER)
3. みつてんあしぶと成蟲 (*Achaea janata* LINNÉ)
4. 同幼蟲ト共加害狀況
5. はすもんよたう幼蟲ト共加害狀況 (*Prodenia litura* FABRICIUS)
6. みかんどくが幼蟲 (*Dasychira mendosa* HÜBNER)

第二圖版

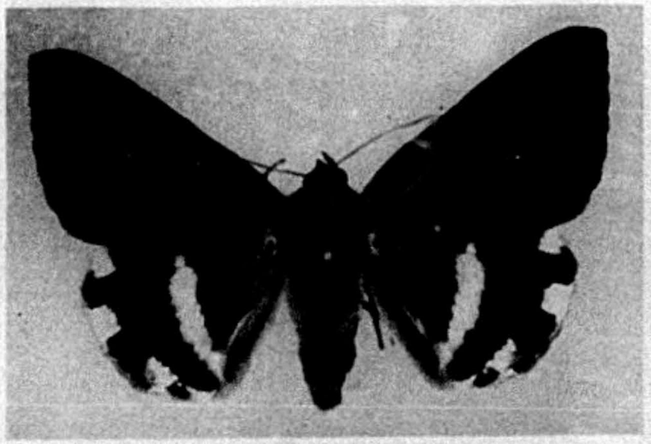
1



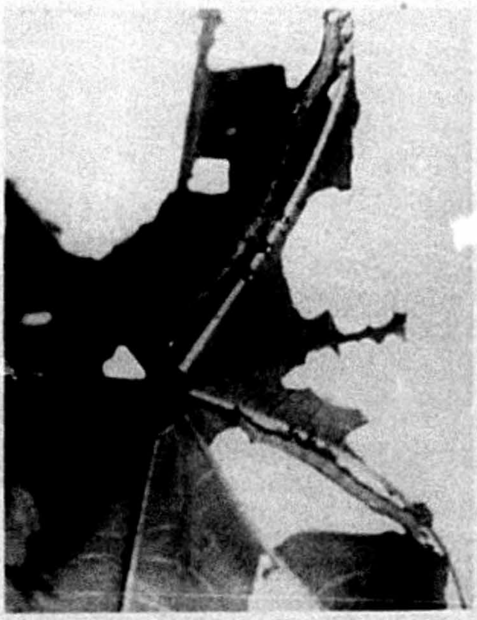
2



3

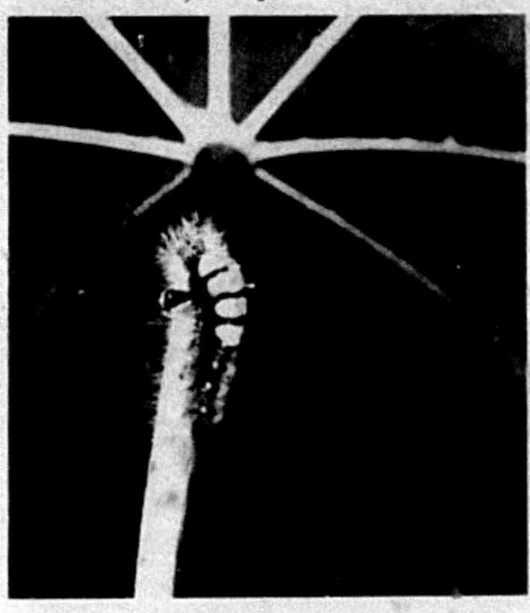


4



5

6

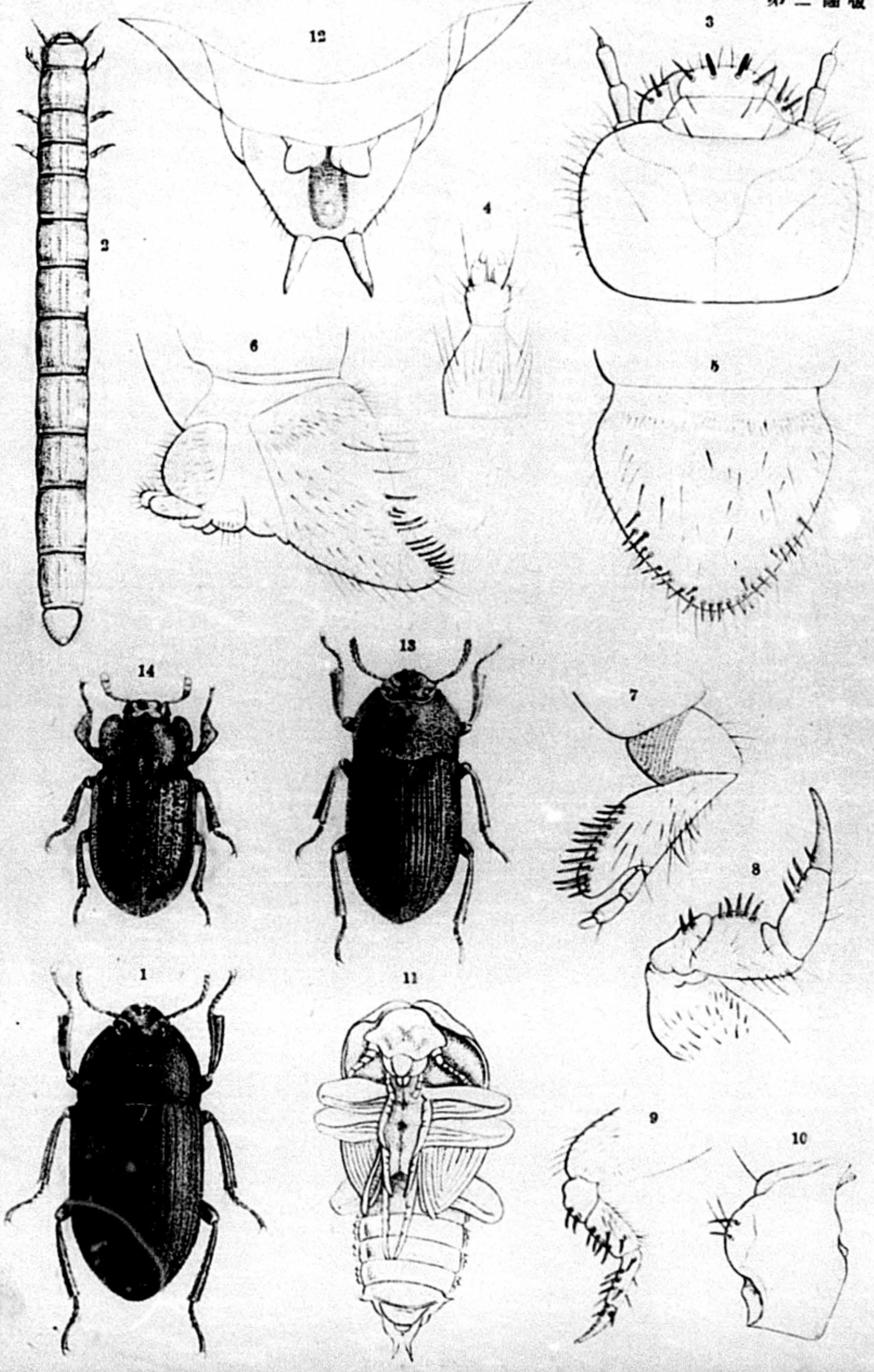


第　三　圖

第三圖版說明

1. おほすなむぐり成蟲 (*Gonocephalum pubens* MARSEUL)
2. 同幼蟲
3. 同幼蟲ノ頭部上面
4. 同幼蟲ノ下唇腹面
5. 同幼蟲ノ尾端節上面
6. 同幼蟲ノ尾端節側面
7. 同幼蟲ノ左小腮ノ上面
8. 同幼蟲ノ左前肢ノ上面
9. 同幼蟲ノ右中肢ノ上面
10. 同幼蟲ノ左大腮
11. 同蛹
12. 同蛹ノ尾端節腹面
13. こがたすなむぐり成蟲 (*Gonocephalum aequatoriale* BLANCHARD)
14. さびすなむぐり成蟲 (*Scleron ferrugineum* FARICIUS)

第三圖版



昭和十七年七月二十五日印刷
昭和十七年七月三十日發行

臺灣總督府農業試驗所

臺北市本町一丁目一〇番地
印刷人　江里口秀一

臺北市上奎府町三丁目一番地
印刷所　合資會社　江里口商會印刷工場